



マドリモ

内窓 プラマードU

【現場調査編】



- 戸先錠仕様にテラス・ランマ通しタイプを追加しました。
- 窓タイプの戸先錠を変更しました。

本マニュアルは専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください!

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。
シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- シーリング材は、シリコーン系シーリング材をご使用ください。
(オプション品)
ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので
使用しないでください。



シーリングマーク

目次	P.1
商品概要	
ブラマードU 商品概要	P.4
 ブラマードU 各アイテムの説明と各部の名称	P.5
事前確認	
現調時確認手順	P.12
現調に使用する工具	P.13
施工に使用する工具	P.14
開口調整に使用する工具・材料／オプション品	P.15
現場調査	
取付場所の確認	P.18
開口部の確認（一般納まり）	P.19
 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）	P.48
開口部の確認（浴室納まり）	P.66
開口寸法の測定・発注寸法の決定（浴室納まり）	P.68
その他	
 各アイテム操作部品位置	P.72
開口部の調整方法	P.74
 干渉確認ツール	P.77
ブラマードU 現場調査シート	P.93

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

商品概要

	ブラマード U 商品概要	P.4
	ブラマード U 各アイテムの説明と各部の名称	P.5

4 プラマードU 商品概要

プラマードU 商品概要

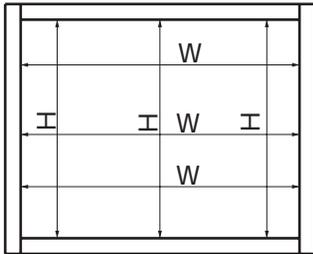
プラマードUとは

※1
今ある窓の内側に取付け、二重窓にすることで開口部の断熱性、遮音性を高める樹脂製内窓です。

※1: 木額縁には必要見込寸法があります。

商品概要

発注方法



開口のWおよびHそれぞれ3箇所計測し、それぞれの最小のW、H寸法で発注します。

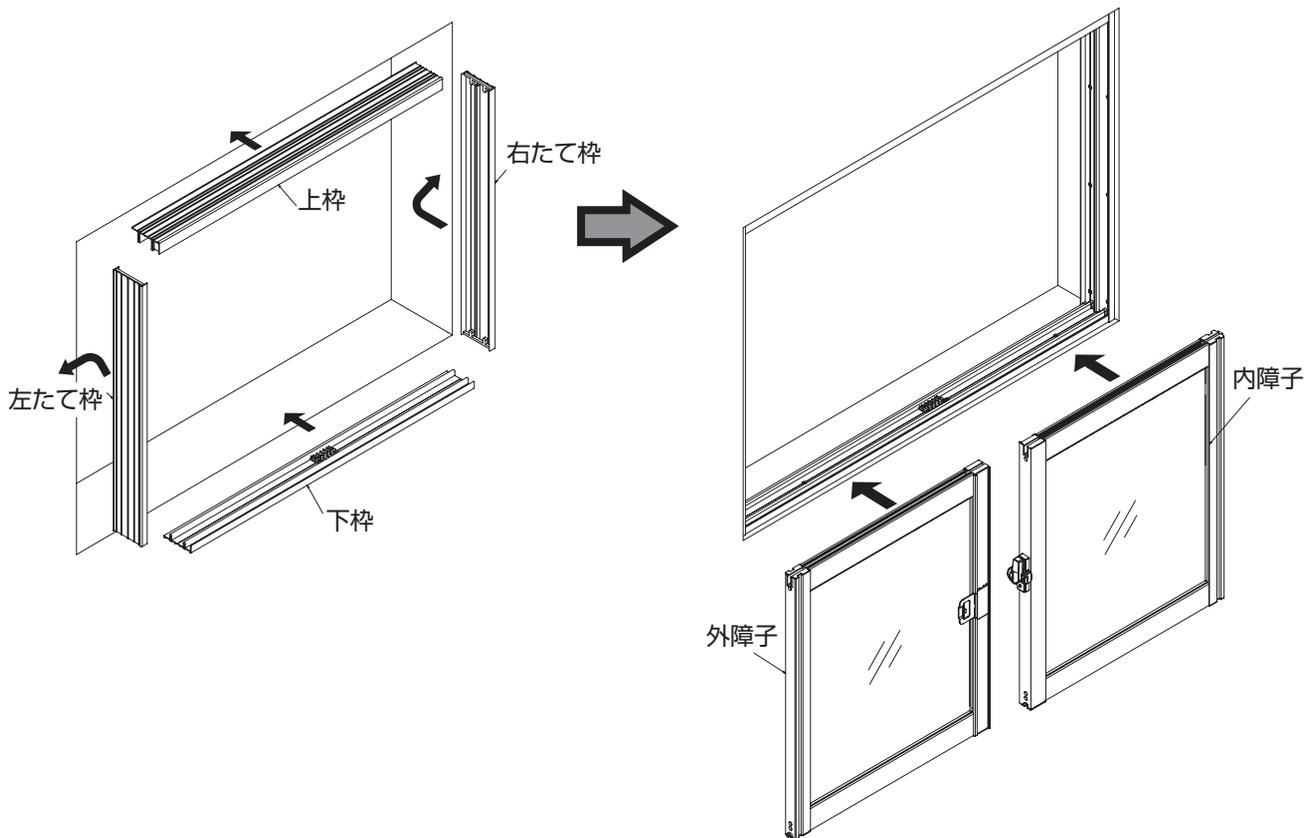
事前確認

取付方法

木額縁に枠をねじ留めして障子を吊込み、建付調整を行えば終了です。

※施工・調整については、プラマードUマニュアル【施工・調整編】を参照してください。

現場調査



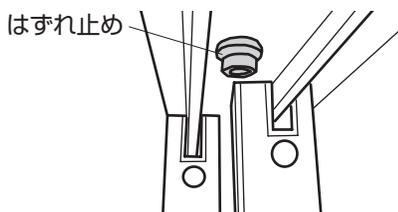
その他

引違い窓

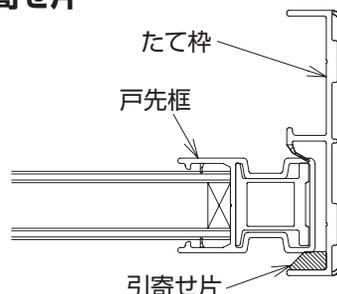
■引違い窓

<窓タイプ>

はずれ止め
障子が外れないようにする部品です。



引寄せ片



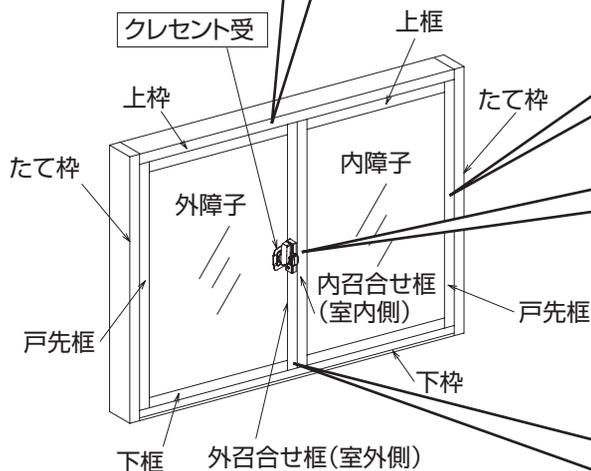
気密・遮音性能担保のための部品です。

空かけ防止クレセント

障子が完全に閉まった状態でないと施錠できないクレセント(鍵)です。

補助錠(オプション)

防犯合わせガラス完成品仕様には補助錠が付きません。
※ CPラベルの対象ではありません。
※ 補助錠のみの発注はできません。
※ テラス・ランマ通しタイプにも取付可能です。



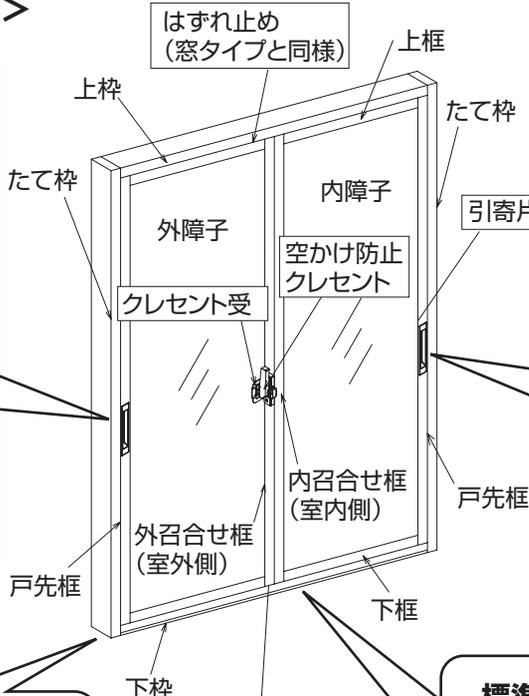
<テラス・ランマ通しタイプ>

後付L型引手(オプション)

標準の舟底引手より、手かかりが大きくさらに開閉操作しやすい後付可能な引手です。
※ オプションの障子ストッパーと必ず併用してください。
※ 窓タイプにも取付可能です。



はずれ止め
(窓タイプと同様)

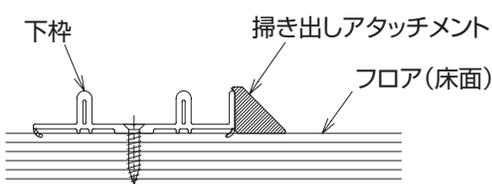


舟底引手(標準装備)

開閉操作をサポートする舟底型の引手です。
※ 左右の戸先框の室内外両方につきます。

掃き出しアタッチメント(オプション)

つまずき防止に有効なアタッチメントです。



標準の下桎



間仕切り下桎



間仕切り用の引戸として納める場合などに使用する下桎です。

商品概要

事前確認

現場調査

その他

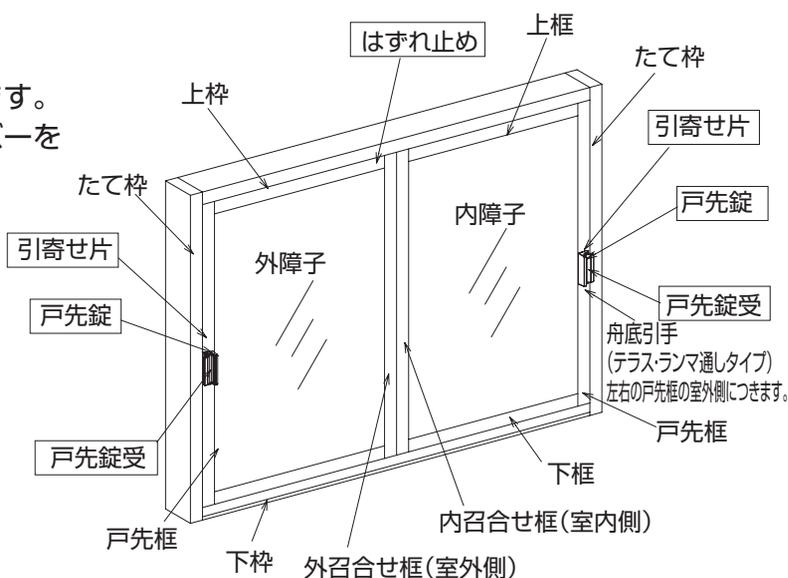
6 プラマードU各アイテムの説明と各部の名称

引違い窓 先錠仕様・引違い窓 浴室仕様

■引違い窓 戸先錠仕様



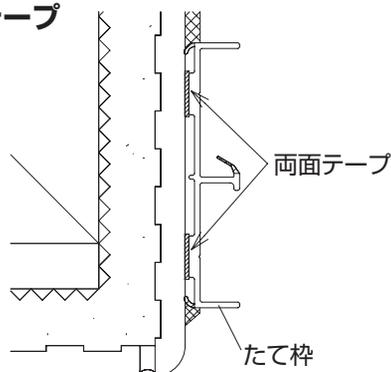
引手と鍵が一体化になっています。
 窓タイプ：窓を閉めると自動的に施錠します。
 テラス・ランマ通しタイプ：戸先錠のレバーを押すと施錠します。
 ※本商品は、侵入、盗難防止など、防犯を保証するものではありません。
 必ず外窓の鍵も閉めてください。



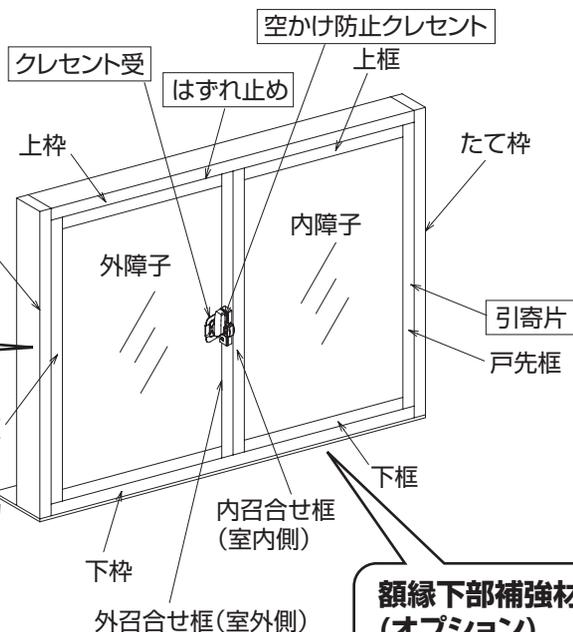
■引違い窓 浴室仕様

浴室に取付可能な仕様です。
 ※アイテムは引違い窓のみです。
 ※色はホワイト(YW)色のみです。

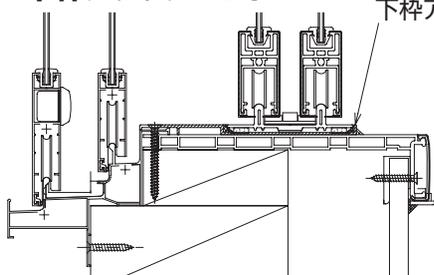
両面テープ



ねじを極力使わずに両面テープで枠を固定することで、漏水の危険性を減らしています。



下枠アタッチメント



<ユニットバス納まり用>

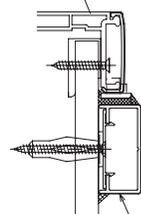
<タイル納まり用>

下枠アタッチメントの役割

- ※プラマードUの荷重を下枠アタッチメント全体で受けて、樹脂額縁への荷重を分散させます。
- ※外窓とプラマードUとの間の段差をなくしフラットにすることで水が溜りにくくします。
- ※万が一、枠固定用の両面テープが劣化したとしても、下枠が室内側に落ちにくくします。

額縁下部補強材 (オプション)

樹脂額縁



額縁下部補強材

ユニットバス納まりで樹脂額縁の強度が不足している場合に使用する補強材です。ユニットバス納まり発注時に、下部補強材の有無で指示してください。

商品概要

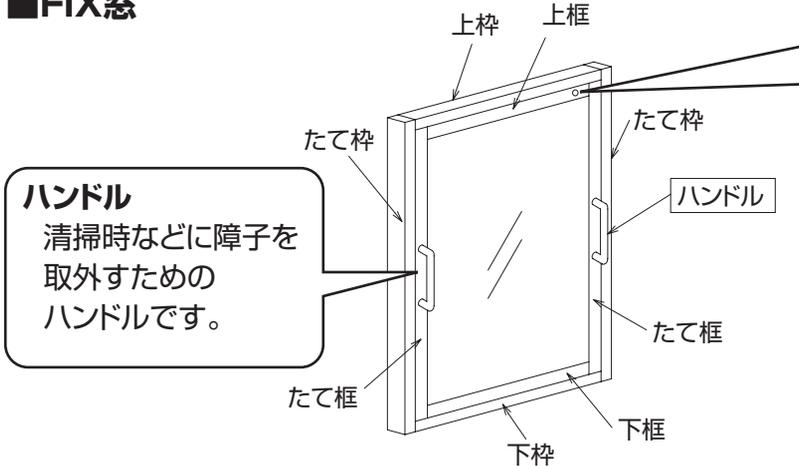
事前確認

現場調査

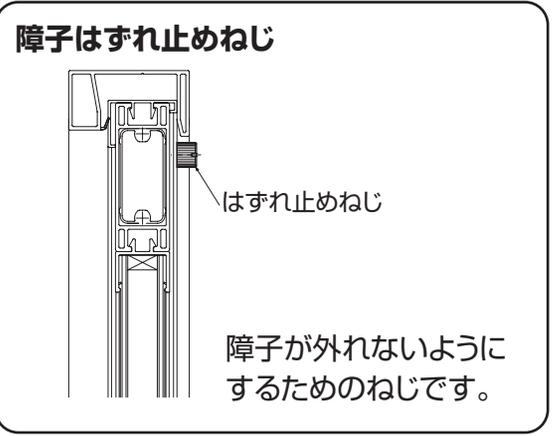
その他

FIX 窓・内開き窓・開き窓テラス

■FIX窓



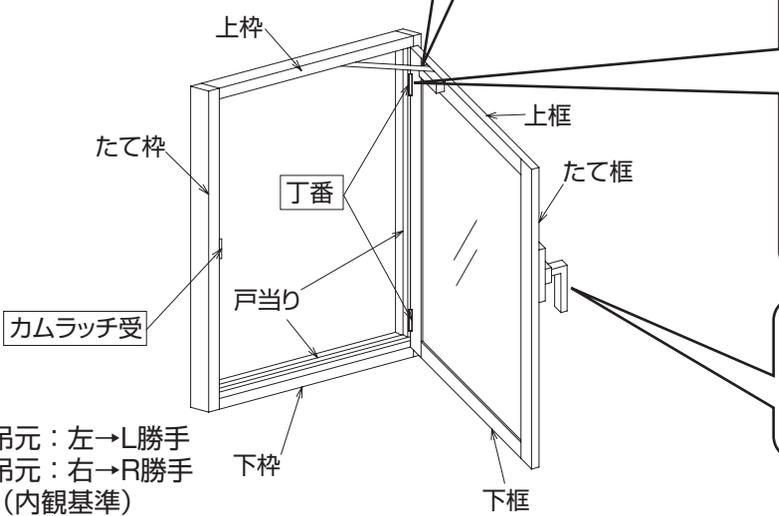
ハンドル
清掃時などに障子を取外すためのハンドルです。



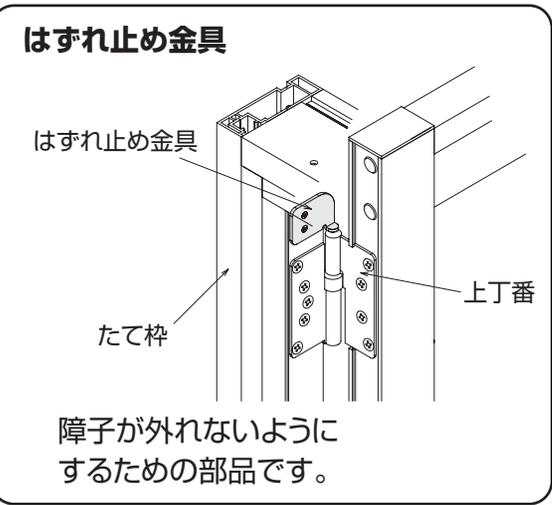
障子が外れないようにするためのねじです。

■内開き窓

アームストッパー(オプション)
扉を90°以上開かないようにするストッパーで、扉のバタツキ防止に有効、扉の開閉力を調整できます。



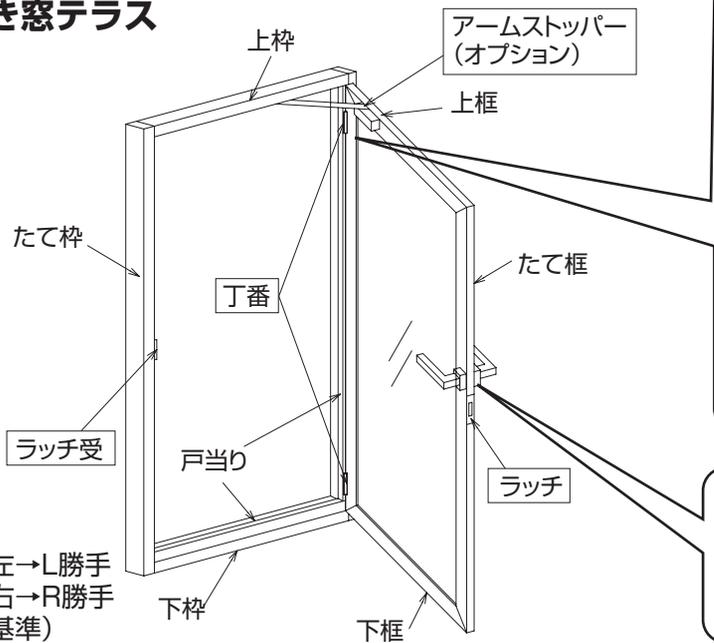
吊元：左→L勝手
吊元：右→R勝手
(内観基準)



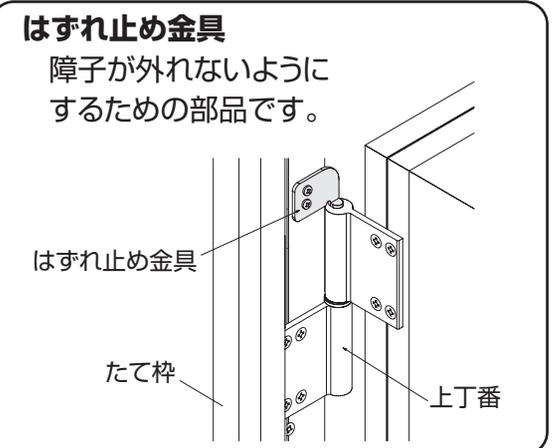
障子が外れないようにするための部品です。

カムラッチハンドル
室内側からのみ操作できるハンドルです。

■開き窓テラス



吊元：左→L勝手
吊元：右→R勝手
(内観基準)



障子が外れないようにするための部品です。

レバーハンドル
室内外側から操作できるハンドルです。
※ ロック機能はありません。

商品概要

事前確認

現場調査

その他

8 プラマードU各アイテムの説明と各部の名称

連窓方立・段窓無目・コーナー窓方立

商品概要

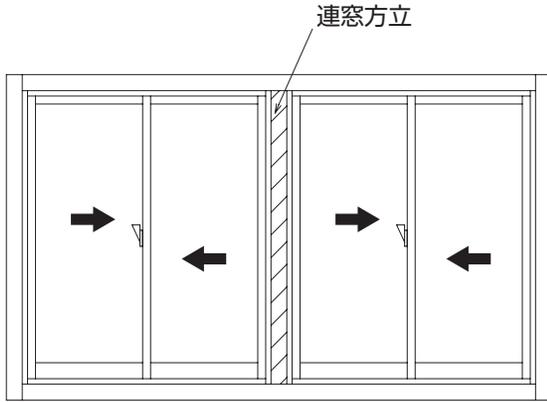
事前確認

現場調査

その他

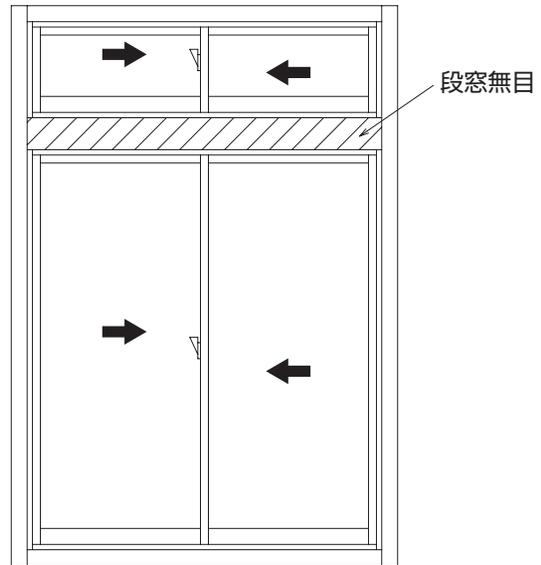
■連窓方立

外窓が連窓の時などに使用する方立(オプション)です。



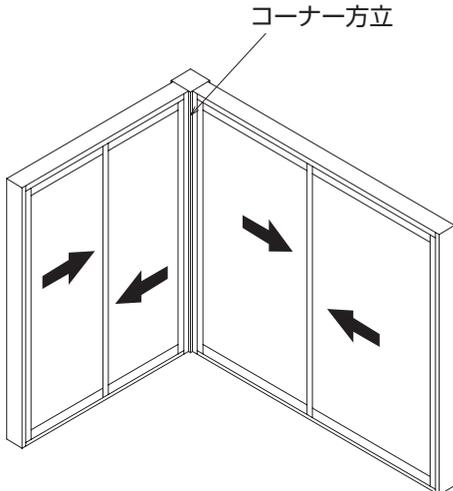
■段窓無目

外窓が段窓の時などに使用する無目(オプション)です。



■コーナー窓方立

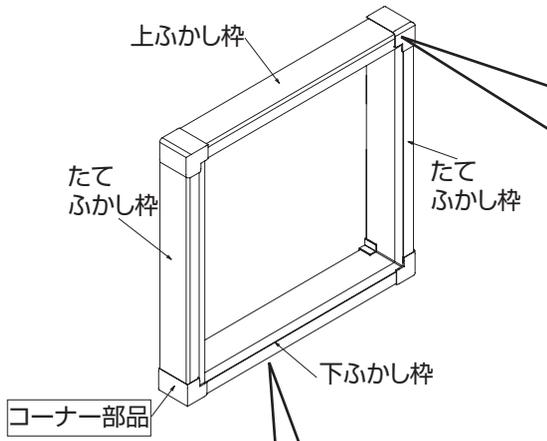
外窓がコーナー窓の時などに使用するコーナー方立(オプション)です。



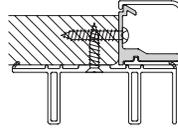
ふかし枠 25・40・70

■ふかし枠25・40・70

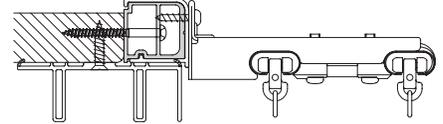
窓台見込寸法が不足している場合などに使用するふかし枠(オプション)です。



<ふかし枠>



<カーテンレール対応 ふかし枠>

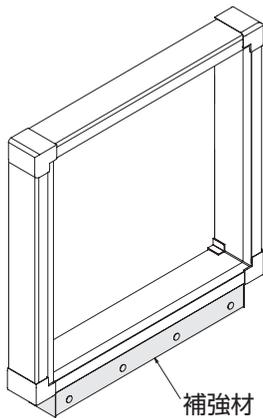


カーテンレールの取付けが可能です。

- 木額縁の状態や、ふかし枠の種類によって下枠垂下り防止用の補強が必要になります。
- 補強が必要な場合は、補強部品(補強角パイプ仕様・ブラケット仕様・束仕様)や、造作材での補強を行ってください。

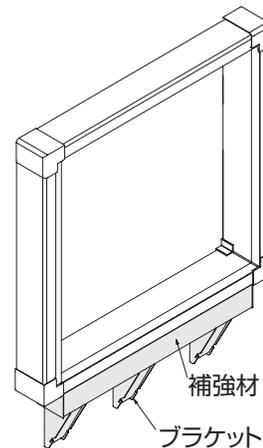
<補強部品(補強角パイプ仕様)>

壁面内に下地材がある場合に使用できる補強部品です。
壁面内の下地(窓台)で荷重を支えます。



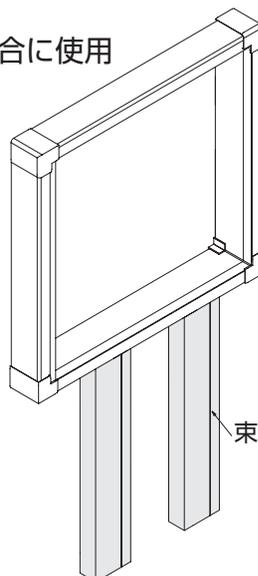
<補強部品(ブラケット仕様)>

壁面内に下地材がある場合に使用できる補強部品です。
壁面内の下地(間柱など)で荷重を支えます。



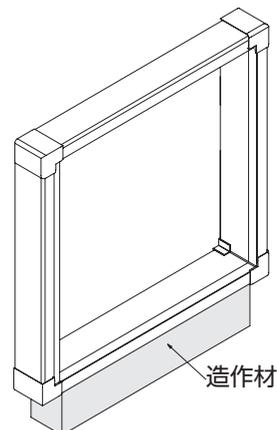
<補強部品(束仕様)>

床で荷重を支えられる場合に使用できる補強部品です。
壁面内に下地材が無い場合や、不明な場合でも使用できます。



<造作材での補強>

別途準備した造作材で補強します。



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

事前確認

現調時確認手順	P.12
現調に使用する工具	P.13
施工に使用する工具	P.14
開口調整に使用する工具・材料 / オプション品	P.15

12 現調時確認手順

現調時確認手順

1. 取付場所の確認 → P.18参照

商品概要

一般納まり

浴室納まり
(ユニットバス・タイル)

2. 開口部の確認
(一般納まりの場合) → P.19~30参照

2. 開口部の確認
(浴室納まりの場合) → P.66・67参照

事前確認

ふかし枠の要否確認
外窓との干渉確認
カーテンレール・ブラインドの有無確認
和室の場合

取付条件の確認
額縁下部補強材の要否の確認

3. 窓台強度の確認 → P.31・32参照

補強が必要

補強が不要

ふかし枠なしの場合

ふかし枠ありの場合

現場調査

4. 木額縁の補強
→ P.31参照

4. 補強方法の選定
→ P.35参照

その他

5. 開口寸法の測定 → P.48参照

3. 開口寸法の測定 → P.68参照

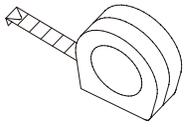
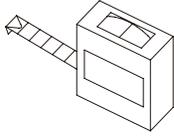
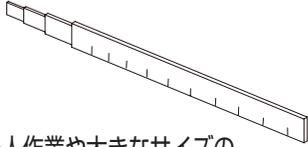
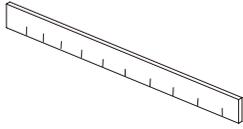
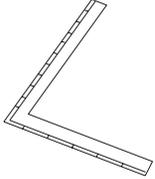
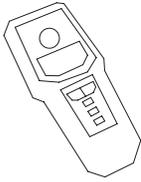
各窓種の注意事項

お施主様への説明

ふかし枠の必要性
補強の必要性
開口部の調整の必要性
特殊納まりなど

搬入口、室内側の出っ張り、作業スペースの確認

現調に使用する工具

スケール	内法スケール	アルミスタッフ	直尺
	 内法の測定に適したスケールです。	 一人作業や大きなサイズの 内法測定に適しています。	
差し金	下げ振り	水平器	レーザー測長器
	 既設枠の垂直を確認します。	 既設枠の水平・垂直を確認します。	
下地探し針	下地センサー		
			

商品概要

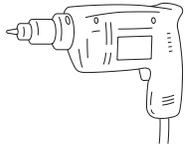
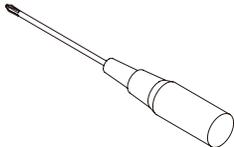
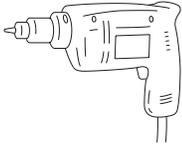
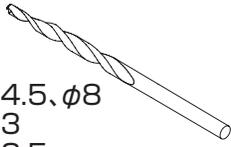
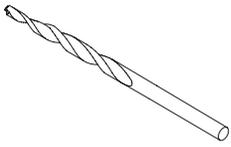
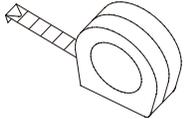
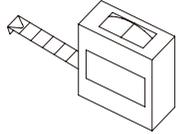
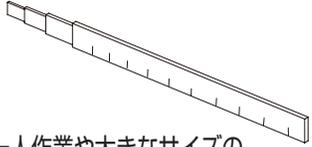
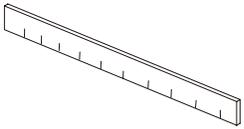
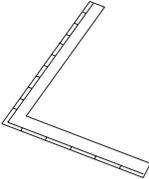
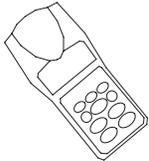
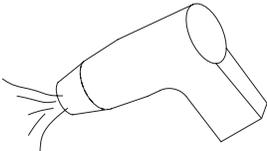
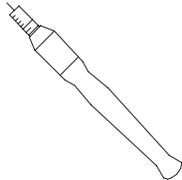
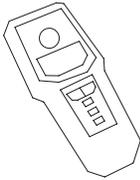
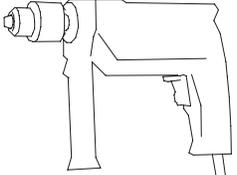
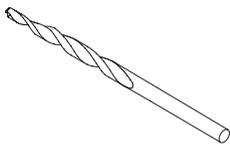
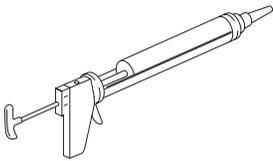
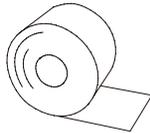
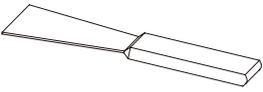
事前確認

現場調査

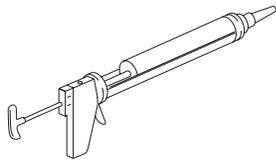
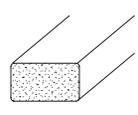
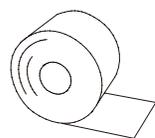
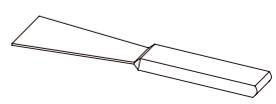
その他

14 施工に使用する工具

施工に使用する工具

商品概要	電動ドライバー	ドライバー(手回し)	電動ドリル	ドリル刃
			 トルク調整付	 ※1:φ4.5、φ8 ※2:φ3 ※3:φ3.5 ※4:φ4
事前確認	タイル用ドリル刃	スケール	内法スケール	アルミスタッフ
	 ※5:φ3、φ7		 内法の測定に適したスケールです。	 一人作業や大きなサイズの 内法測定に適しています。
現場調査	直尺	差し金	下げ振り	水平器
			 既設枠の垂直を確認します。	 既設枠の水平・垂直を確認します。
その他	レーザー測長器	ドライヤー	下地探し針	下地センサー
		 ※6	 ※7	 ※7
	コンクリートドリル	コンクリート用ドリル刃	シーリングガン	マスキングテープ
	 ※8	 ※8:φ10		
	ヘラ	※1：浴室仕様ユニットバス納まりの施工にのみ使用します。 ※2：方立・無目・コーナー方立の施工にのみ使用します。 ※3：カーテンレール対応ふかし枠の施工にのみ使用します。 ※4：ふかし枠70の施工にのみ使用します。 ※5：浴室仕様タイル納まりの施工にのみ使用します。 ※6：浴室仕様の施工にのみ使用します。 ※7：ふかし枠の施工にのみ使用します。 ※8：補強ふかし枠補強部品(ブラケット仕様 RC納まり)の施工にのみ使用します。		
				

開口調整に使用する工具・材料

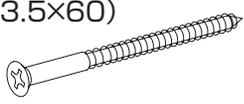
シーリングガン	バックアップ材	マスキングテープ	ヘラ
			

商品概要

施工・開口調整に使用するオプション品

和室用取付ねじ

皿木ねじ
(φ3.5×60)



BS-PUH-34

商品色	ねじ色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	DG
DC	YS
YW	YW

和室の鴨居にブラマードUを取付ける際に使用する長いねじです。
※記号の前の□にねじ色を指示してください。

方立・無目用ドリルねじ

引違い窓用
皿ドリルねじ
(φ4.2×19)



BS-PUH-35

内開き窓・開き窓テラス用
薄バインドドリルねじ
(φ4.2×19)



YSBS-PUH-36

商品色	ねじ色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	DG
DC	YS
YW	YW

方立や無目に本体を直接取付けるためのドリルねじです。
※記号の前の□にねじ色を指示してください。

シーリング材



K-49615

商品色	
YB	アンバー
YK	ブラック
H2	ライトグレイ2
S1	グレイ
YW	アイボリー

額縁とブラマードU枠とのすき間隠しにおすすめのシーリング材です。調整材と併用してご使用ください。
※記号の前の□に商品色を指示してください。

メンテチューブ

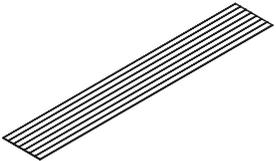


TY K-44578 -1E

商品色	
3	ホワイトウォールナット
8	プレーン
P	ブラウンノーチェ
T	ミディアムウォールナット
JN	白木色
6	クリアオーク
9	ナチュラルチェリー
R	キャメルチェリー
Y	ダークチーク

隠し釘跡の補修などちょっとしたすき間隠を埋めるのに便利なチューブタイプの補修剤です。
※記号の中の□に商品色を指示してください。

調整材

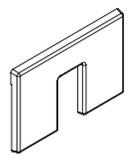


PK-51499-1000
 PK-51499-2000

商品色	
E2	木目クリア
E3	木目ナチュラル
E9	ミディアムオーク
CM	ダークブラウン
DC	グレイ
YW	ホワイト

厚さ1mm、ピッチ10mmでの切取溝が入っており、様々な用途に使用できる樹脂製部材です。
※記号の前の□に商品色を指示してください。

レール端部スペーサー

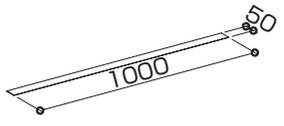


BS-PUH-40

商品色	部品色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	BB
DC	E5
YW	WM

施工調整時に障子のガタツキを抑えるため枠に貼付するスペーサーです。
※記号の前の□に部品色を指示してください。

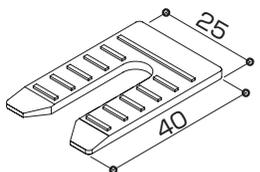
施工調整スペーサー



YS 2K-29658(t0.5)
YS 2K-29621(t1)
YS 2K-29622(t3)
YS 2K-29623(t5)

4種類の厚みを選べるポリプロピレン製のスペーサーです。

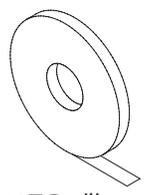
調整ライナー



厚み	色	記号
1	ホワイト	YSBS-PUH-41
2	ブラック	YKBS-PUH-42
3	ホワイト	YWBS-PUH-43
5	ブラック	YKBS-PUH-44

U字形で差込型のスペーサーです。

両面テープ



幅20mm×50m巻
YK 2K-49685

調整材を目板として使う場合の接着用両面テープです。

事前確認

現場調査

その他

現場調査



取付場所の確認	P.18
開口部の確認（一般納まり）	P.19
開口寸法の測定・発注寸法の測定（一般納まり）	P.48
開口部の確認（浴室納まり）	P.66
開口寸法の測定・発注寸法の測定（浴室納まり）	P.68

18 取付場所の確認

取付場所の確認

外窓の窓種の確認・納まりの確認（施工の可否判断）

●以下の窓には取付けできません。

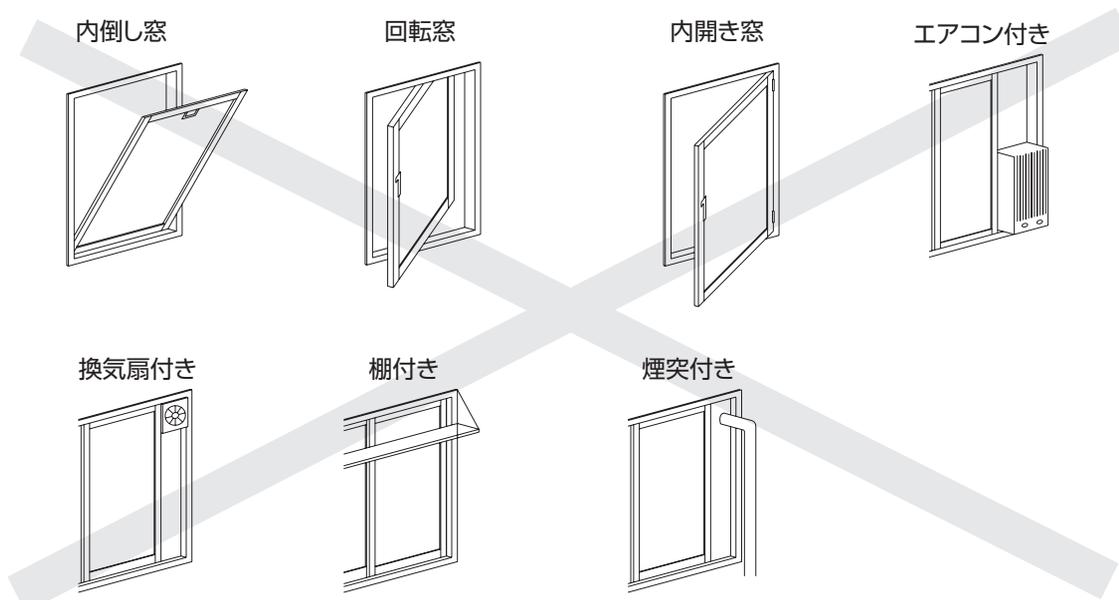
内側に倒れる窓
内側に開く窓
内側に造作を施してある窓

商品概要

事前確認

現場調査

その他

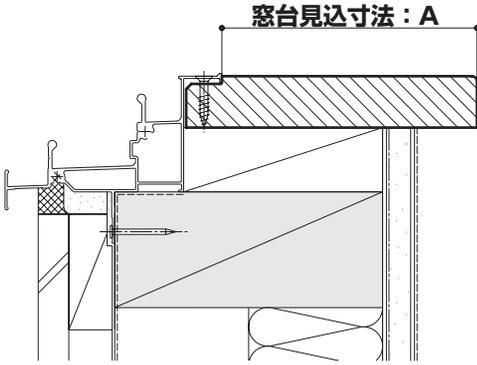


お願い

熱源に近い場所に取付けると、内窓が変形するおそれがありますので、現場調査時に熱源の位置を確認してください。

窓台見込寸法の確認：窓台見込寸法の測定

窓台見込寸法：Aを測定し、製品の取付可否およびふかし枠の要・不要を確認してください。浴室仕様の窓台見込寸法は、P.66、67を参照してください。



窓種	A(mm)	窓台部必要寸法が不足する場合
引違い窓	73 ※1	「ふかし枠」をご使用ください。 45≦A<73 → ふかし枠25を使用
内開き窓 開き窓テラス	73 ※2	30≦A<45 → ふかし枠40を使用 A<30 → ふかし枠70を使用
FIX窓	53	「ふかし枠」をご使用ください。 28≦A<53 → ふかし枠25を使用 13≦A<28 → ふかし枠40を使用 ※3
化粧額縁	85	部屋内側に造作材を取付けてください。
直線方立 直線方立+段窓無目	100	「ふかし枠」をご使用ください。 55≦A<100 → ふかし枠40を使用 25≦A<55 → ふかし枠70を使用 ※4
コーナー方立	132	「ふかし枠」をご使用ください。 92≦A<132 → ふかし枠40を使用 62≦A<92 → ふかし枠70を使用 ※4
段窓無目	95	「ふかし枠」をご使用ください。 53≦A<95 → ふかし枠40を使用 26≦A<53 → ふかし枠70を使用 ※4

- ※1：外窓のクレセントが内窓にあたらないように取付けてください。
または、外窓のクレセントが内窓にあたる場合、外窓のクレセントをノブの短いものに付け替えてください。
(クレセントの回転軌跡や、外窓の内召合せ框の見込み寸法によっては、窓台必要寸法が変わります。)
- ※2：外窓のハンドル、ドアクローザーの出幅によっては窓台必要寸法が変わります。
- ※3：ふかし枠70は、非対応です。
- ※4：ふかし枠25は、非対応です。

20 開口部の確認（一般納まり）

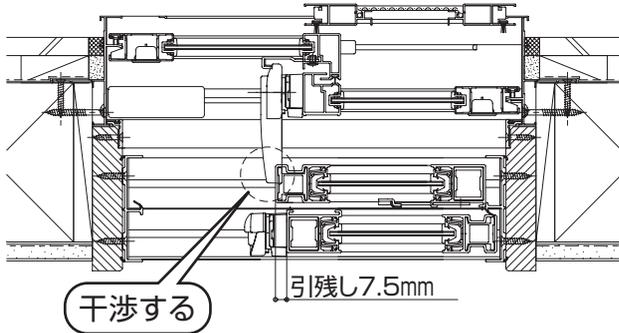
窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（標準仕様）

標準（クレセント）仕様は引残しがあるので、外窓クレセントと干渉しないか確認が必要です。
 内窓の取付け位置により、外窓のクレセントの柄が内窓と干渉し施解錠できない場合があります。
 以下のA,B,C,D寸法を採寸時に確認し、干渉を事前に回避してください。

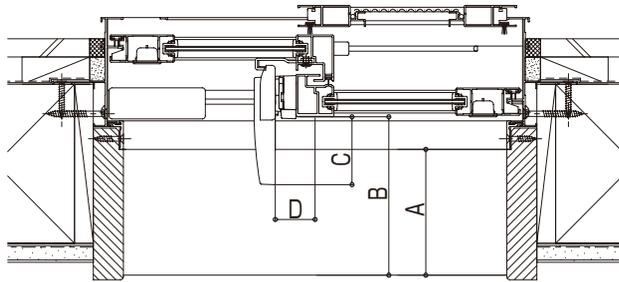
商品概要

事前確認

■外窓クレセントの柄が内窓と干渉



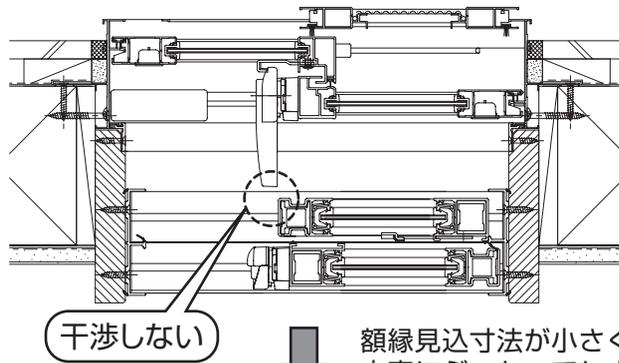
■外窓クレセントの干渉回避 確認のポイント



- A：木額縁の見込寸法
- B：内召合せ枠から木額縁室内面までの距離
- C：クレセント柄の内召合せ枠からの出寸法
- D：クレセント柄の側面から内召合せ枠中心までの距離

現場調査

正勝手の場合



A,B,Cを測定し、①②の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 73$

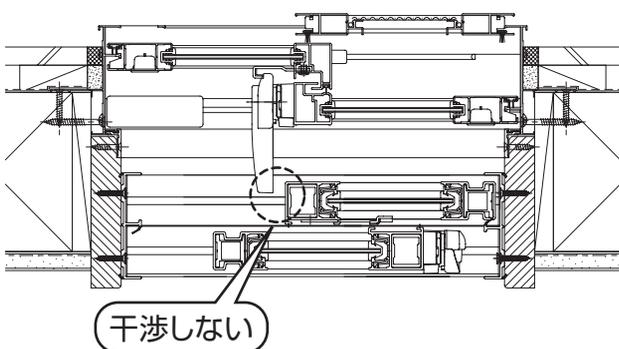
※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合
 ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 73$
 ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 73$
 ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 73$

その他



額縁見込寸法が小さく、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかってしまう場合、逆勝手にすると回避可能な場合があります。

逆勝手の場合



A,B,C,Dを測定し、①②③の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 35$

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合
 ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 35$
 ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 35$
 ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 35$

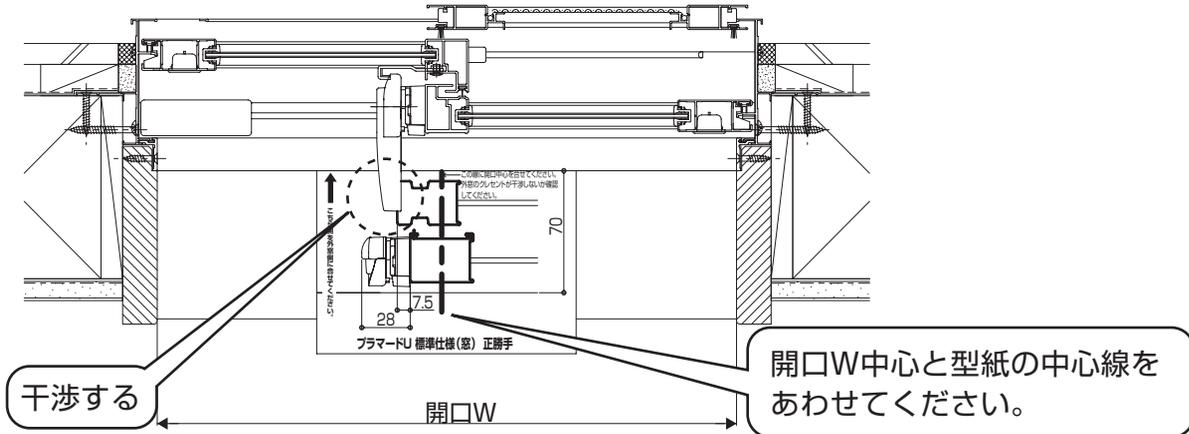
- ③窓タイプ：D ≥ 25
 テラス、ランマ通しタイプ：D ≥ 30

●ふかし枠を使用する場合は、P.33～47を参照してください。

窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（標準仕様）

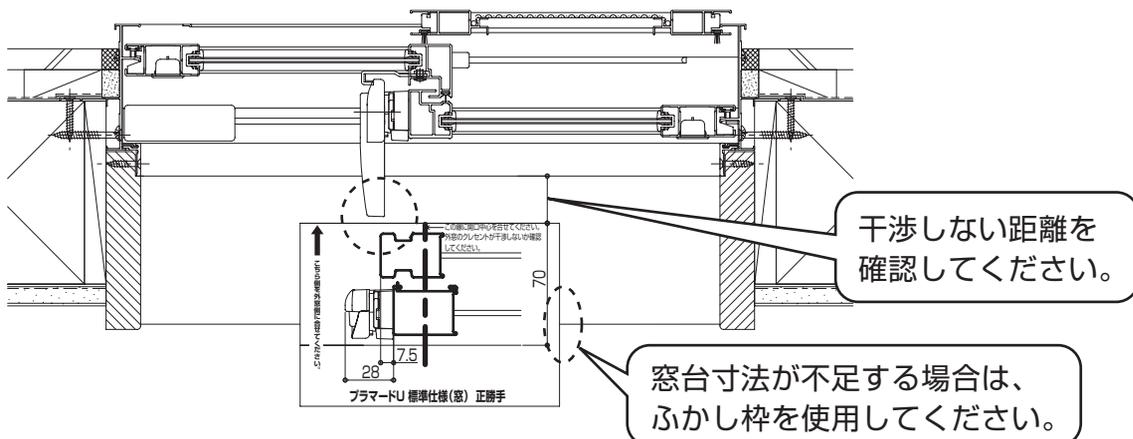
干渉確認ツール(P.77、79)を使用して、外窓のクレセントとの干渉を確認することができます。開口Wの中心と型紙の中心線をあわせ、外窓のクレセントが干渉しないか確認してください。

- ① プラマードU下枠を取付けようとする位置に干渉確認ツールをセットしてください。

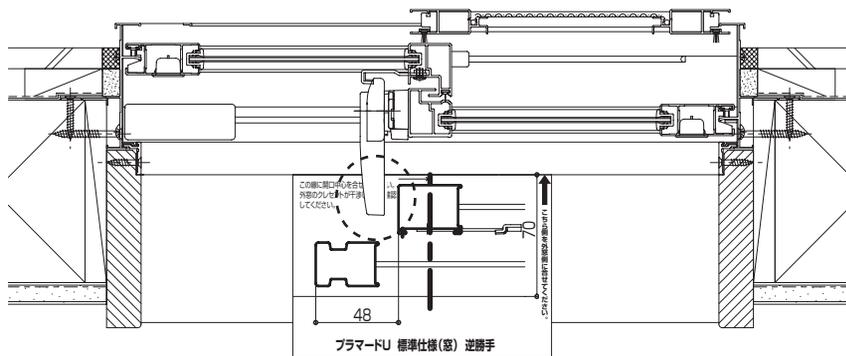


【外窓のクレセントが干渉する場合】

- ② 干渉確認ツールを離していき、何mm離せば干渉しないか確認してください。



- ③ 逆勝手で干渉しないか確認してください。



- ④ 測定結果をもとに、取付位置を決定してください。
※窓台寸法が不足する場合は、ふかし枠を使用してください。

ふかし枠70を使用しても外窓のクレセントと干渉する場合、標準(クレセント)仕様を納めることはできません。

- ふかし枠を使用する場合は、P.33~47を参照してください。



窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（戸先錠仕様）

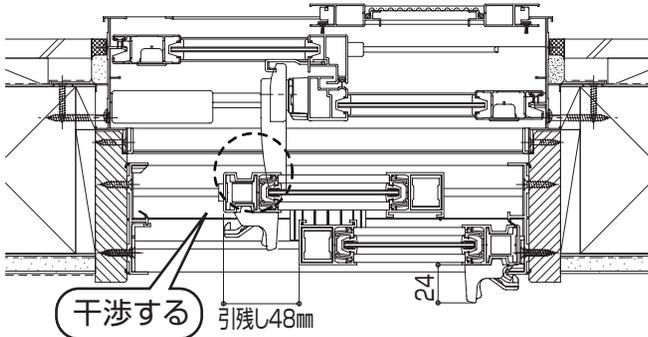
戸先錠仕様は引残しがあるので、外窓クレセントと干渉しないか確認が必要です。
 内窓の取付け位置により、外窓のクレセントの柄が内窓と干渉し施解錠できない場合があります。
 以下のA,B,C,D寸法を採寸時に確認し、干渉を事前に回避してください。
 偏芯2枚建の場合の引残し寸法は、P.24をご参照ください。

商品概要

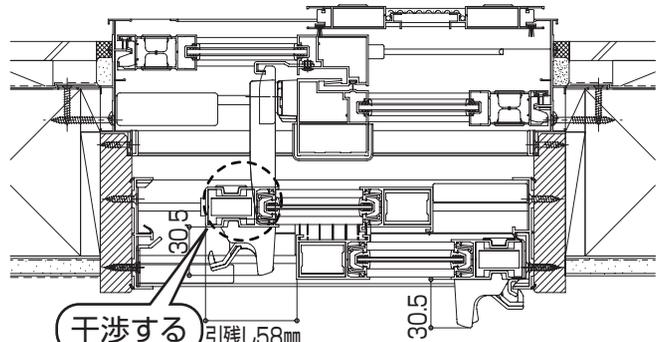
事前確認

■外窓クレセントの柄が内窓と干渉

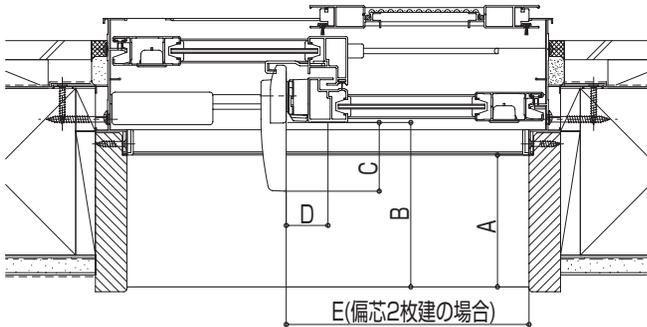
<窓タイプ>



<テラス・ランマ通しタイプ>



■外窓クレセントの干渉回避 確認のポイント

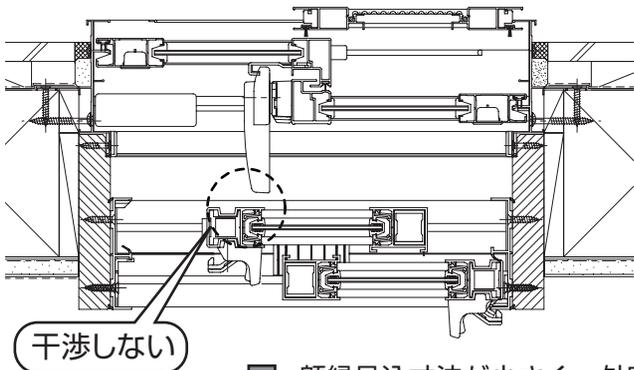


※図はテラスタイプです。
 ランマ通しタイプの引残し寸法はテラスタイプと同じです。

- A：木額縁の見込寸法
- B：内召合せ枠から木額縁室内面までの距離
- C：クレセント柄の内召合せ枠からの出寸法
- D：クレセント柄の側面から内召合せ枠中心までの距離
- E：クレセント柄の側面から開口の端までの距離（偏芯2枚建の場合のみ）

現場調査

正勝手の場合



A,B,Cを測定し、①②の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

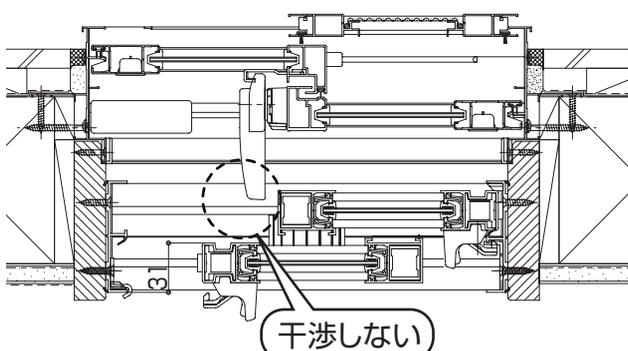
- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 73$

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

- ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 73$
- ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 73$
- ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 73$

↓ 額縁見込寸法が小さく、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかってしまう場合、逆勝手にすると回避可能な場合があります。

逆勝手の場合



A,B,C,Dを測定し、①②③の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 35$
- ③ 窓タイプ： $D \geq 25$
 テラス・ランマ通しタイプ： $D \geq 30$

※偏芯2枚建で、外窓と内窓の召合せの中心を揃えない場合は、P.24を参照しクレセントの柄が内窓の外召合せ枠に干渉しないか確認してください。

- ※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合
- ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 35$
- ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 35$
- ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 35$

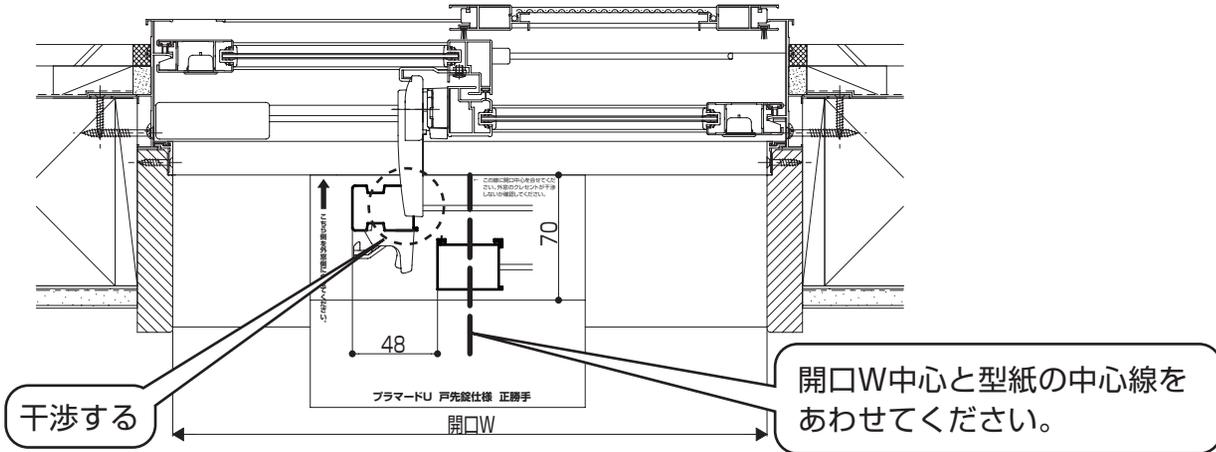
●ふかし枠を使用する場合は、P.33~47を参照してください。

その他

窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（戸先錠仕様）

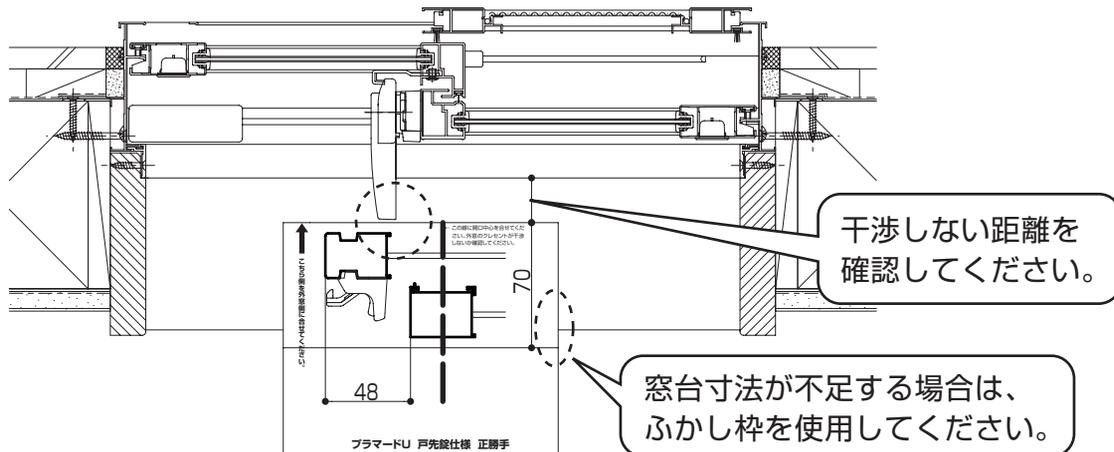
干渉確認ツール（P.81、83）を使用して、外窓のクレセントとの干渉を確認することができます。開口Wの中心と型紙の中心線を合わせ、外窓のクレセントが干渉しないか確認してください。

- ① プラマードU下枠を取付けようとする位置に干渉確認ツールをセットしてください。

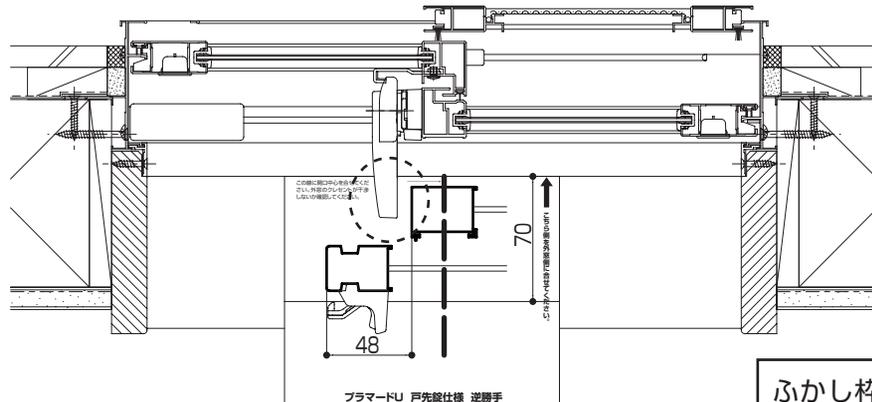


【外窓のクレセントが干渉する場合】

- ② 干渉確認ツールを離していき、何mm離せば干渉しないか確認してください。



- ③ 逆勝手で干渉しないか確認してください。



- ④ 測定結果をもとに、取付位置を決定してください。
※窓台寸法が不足する場合は、ふかし枠を使用してください。

- ふかし枠を使用する場合は、P.33～47を参照してください。

24 開口部の確認 (一般納まり)

窓台見込寸法の確認: 外窓との干渉確認 (戸先錠仕様)

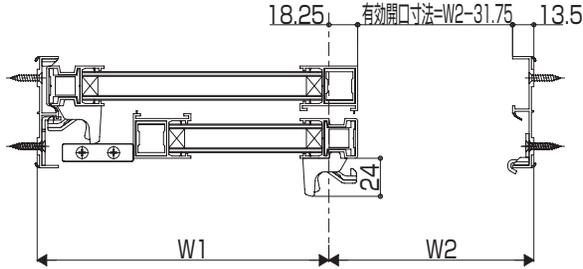


■ 戸先錠仕様 引残し 偏芯2枚建・正勝手の場合

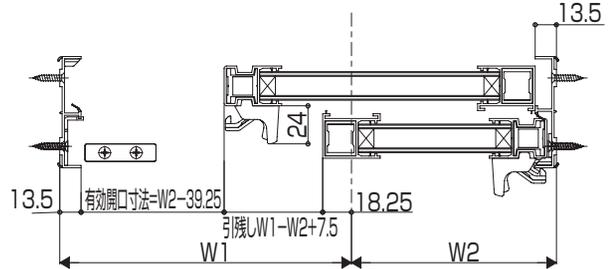
<窓タイプ>

● $W1 \geq W2 + 50$

左寄せ

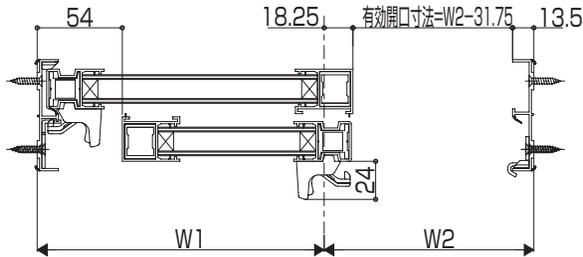


右寄せ

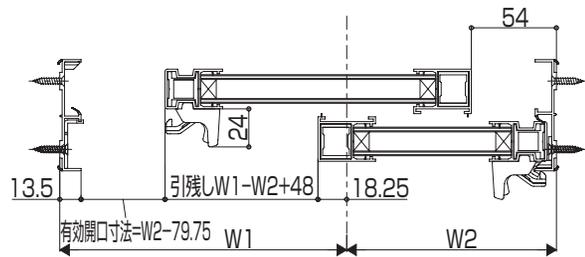


● $48 \leq W1 - W2 < 50$

左寄せ

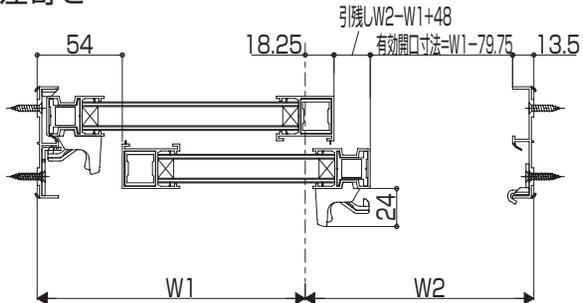


右寄せ

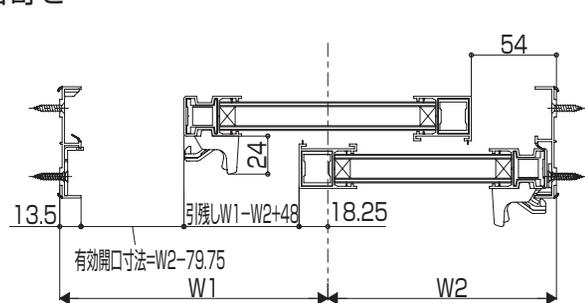


● $0 < W1 - W2 < 48$

左寄せ

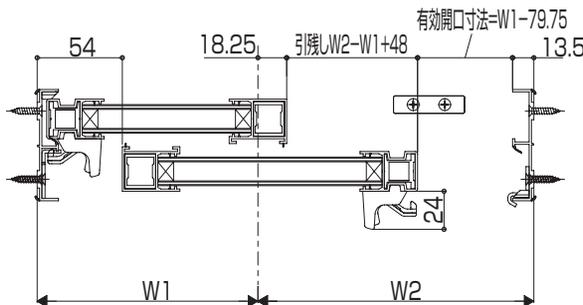


右寄せ

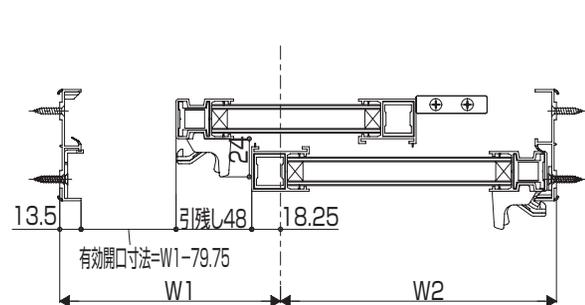


● $W1 < W2$

左寄せ



右寄せ



※引残しによる、外窓クレセントの干渉にご注意ください。(詳細はP.22を参照してください。)

商品概要

事前確認

現場調査

その他

窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（戸先錠仕様）



■戸先錠仕様 引残し 偏芯2枚建・正勝手の場合
 <テラスタイプ>

商品概要

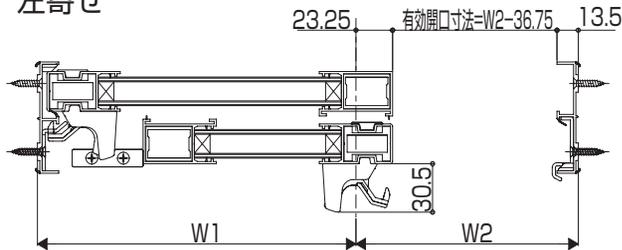
事前確認

現場調査

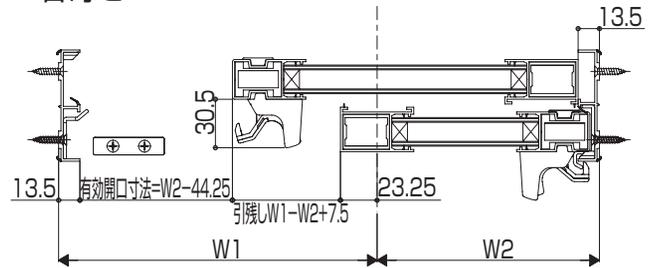
その他

● $W1 \geq W2 + 50$

左寄せ

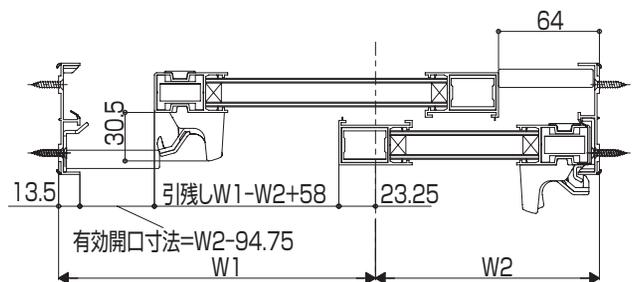
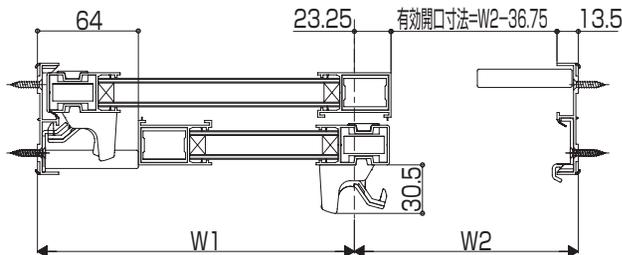


右寄せ



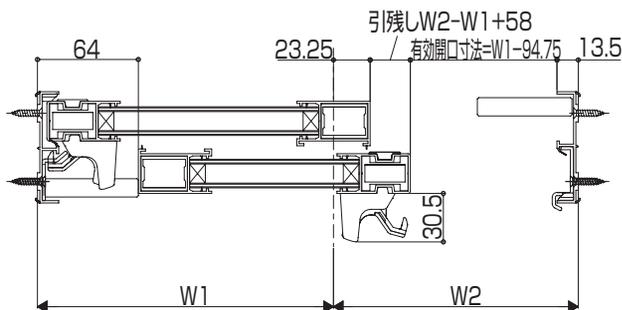
● $58 \leq W1 - W2 < 60$

左寄せ

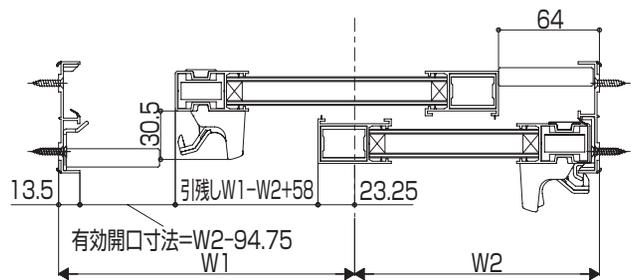


● $0 < W1 - W2 < 58$

左寄せ

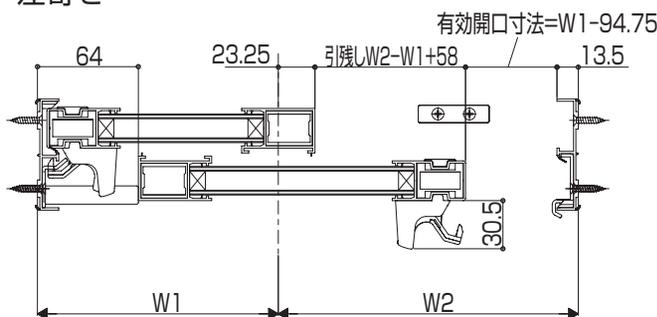


右寄せ

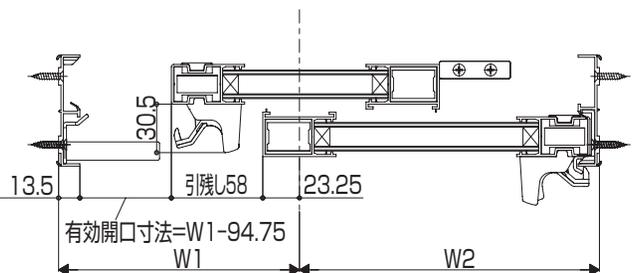


● $W1 < W2$

左寄せ



右寄せ



テラスタイプとランマ通しタイプの引残し寸法、及び有効開口寸法は同じです。
 引残しによる、外窓クレセントの干渉にご注意ください。（詳細はP.22を参照してください。）

26 開口部の確認 (一般納まり)

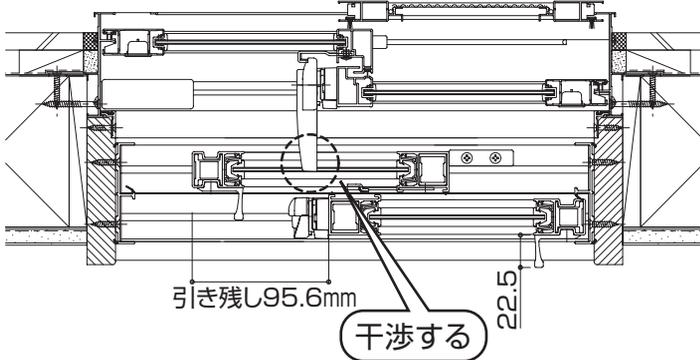
窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認(後付L型引手)

後付L型引手を取付けると引残しができるので、外窓クレセントと干渉しないか確認が必要です。内窓の取付け位置により、外窓のクレセントの柄が内窓と干渉し施解錠できない場合があります。以下のA,B,C,D寸法を採寸時に確認し、干渉を事前に回避してください。

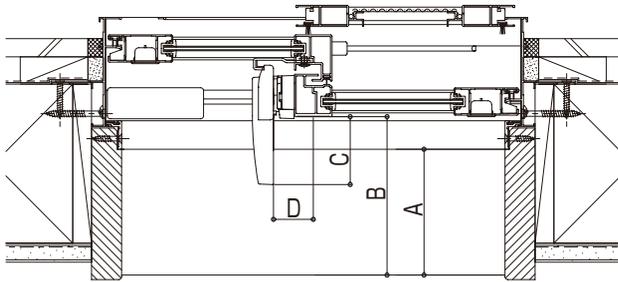
商品概要

事前確認

■外窓クレセントの柄が内窓と干渉



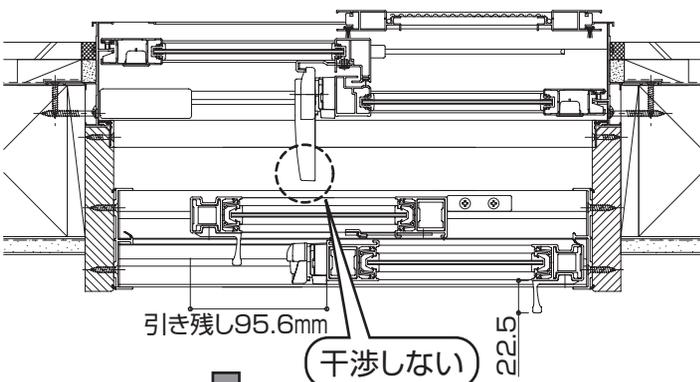
■外窓クレセントの干渉回避 確認のポイント



- A：木額縁の見込寸法
- B：内召合せ框から木額縁室内面までの距離
- C：クレセント柄の内召合せ框からの出寸法
- D：クレセント柄の側面から内召合せ框中心までの距離

現場調査

正勝手の場合



A,B,Cを測定し、①②の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 73$

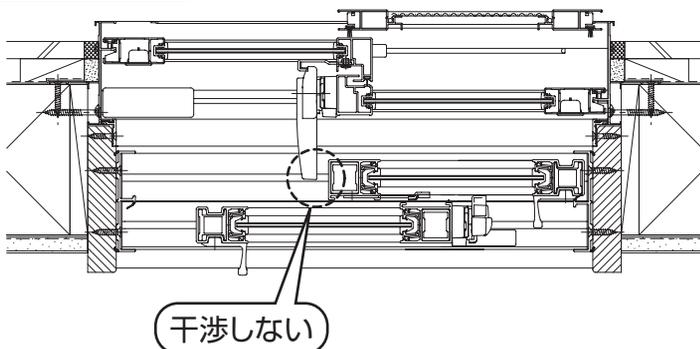
※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

- ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 73$
- ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 73$
- ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 73$

その他

↓
額縁見込寸法が小さく、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかってしまう場合、逆勝手にすると回避可能な場合があります。

逆勝手の場合



A,B,C,Dを測定し、①②③の条件を満たしていればクレセント施解錠時に、外窓クレセントの柄が内窓にぶつかることはありません。

- ① $A \geq 73$
- ② $B - C \geq 35$

※①で木額縁の見込が足りず、ふかし枠を使用した場合

- ふかし枠25： $(B+25) - C \geq 35$
- ふかし枠40： $(B+40) - C \geq 35$
- ふかし枠70： $(B+70) - C \geq 35$

③窓タイプ：D ≥ 25

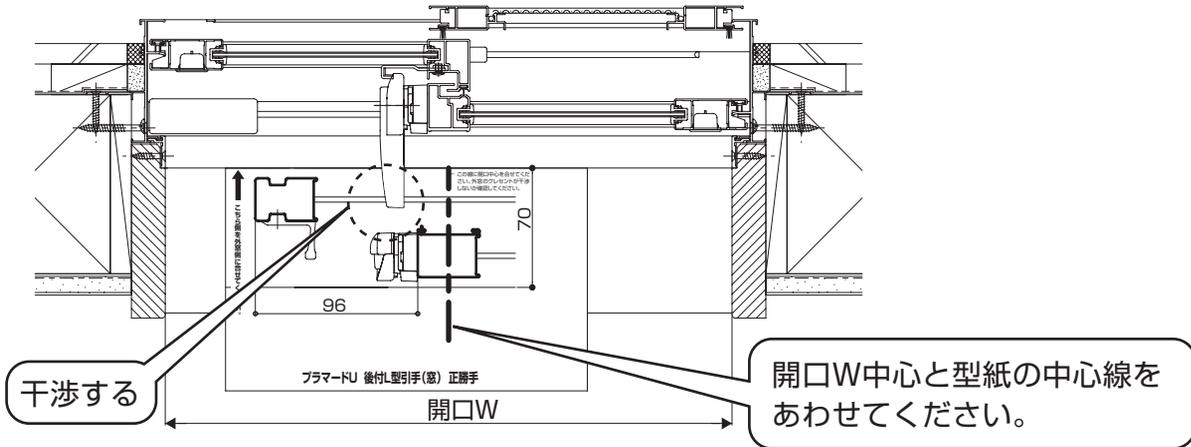
テラス、ランマ通しタイプ：D ≥ 30

●ふかし枠を使用する場合は、P.33~47を参照してください。

窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（後付L型引手）

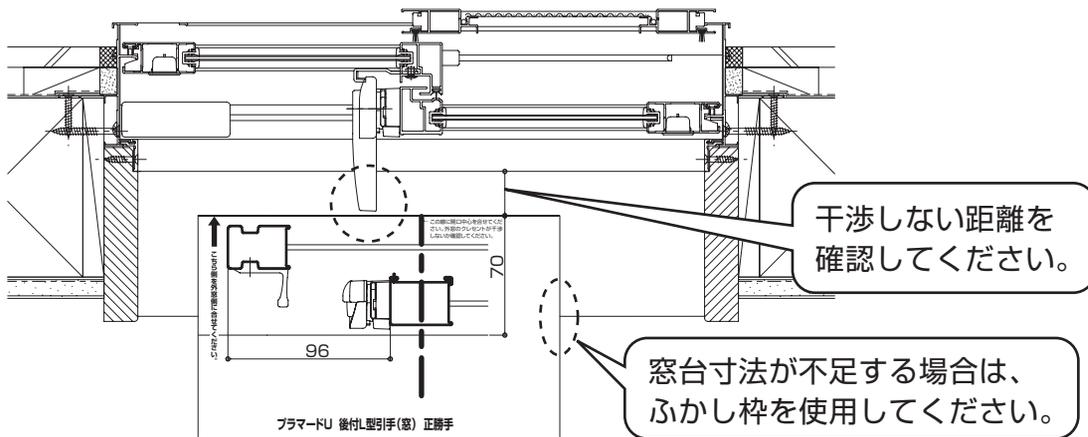
干渉確認ツール（P.89、91）を使用して、外窓のクレセントとの干渉を確認することができます。開口Wの中心と型紙の中心線をあわせ、外窓のクレセントが干渉しないか確認してください。

- ① プラマードU下枠を取付けようとする位置に干渉確認ツールをセットしてください。

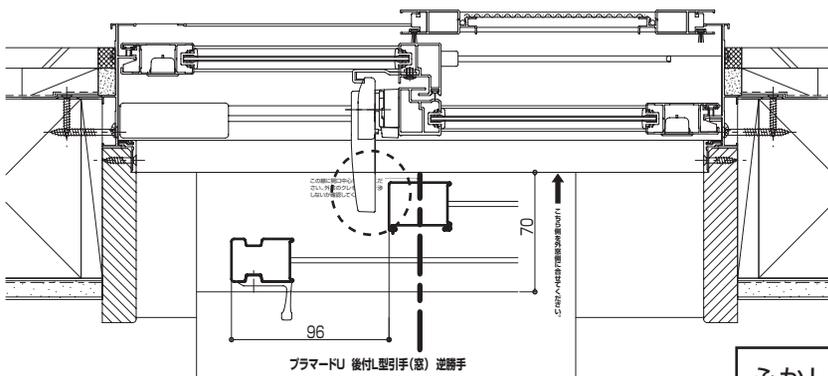


【外窓のクレセントが干渉する場合】

- ② 干渉確認ツールを離していき、何mm離せば干渉しないか確認してください。



- ③ 逆勝手で干渉しないか確認してください。



- ④ 測定結果をもとに、取付位置を決定してください。
※窓台寸法が不足する場合は、ふかし枠を使用してください。

- ふかし枠を使用する場合は、P.33～47を参照してください。

28 開口部の確認（一般納まり）

窓台見込寸法の確認：外窓との干渉確認（開き窓テラス）

開き窓テラスと既存のドアクローザー、およびハンドルが干渉しないことを確認して発注・施工してください。

ハンドルの枠からの出寸法は32mmです。

既存ドアのハンドルと35mm以上となるように開き窓テラスの枠を取付けければ干渉しません。

木額縁の見込み寸法が小さく、干渉する場合は図のようにふかし枠をご使用いただくか、

ハンドル可動域を考慮したハンドル位置の指定をお願いします。

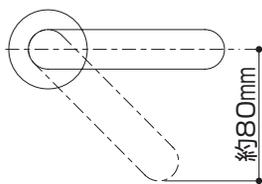
商品概要

事前確認

現場調査

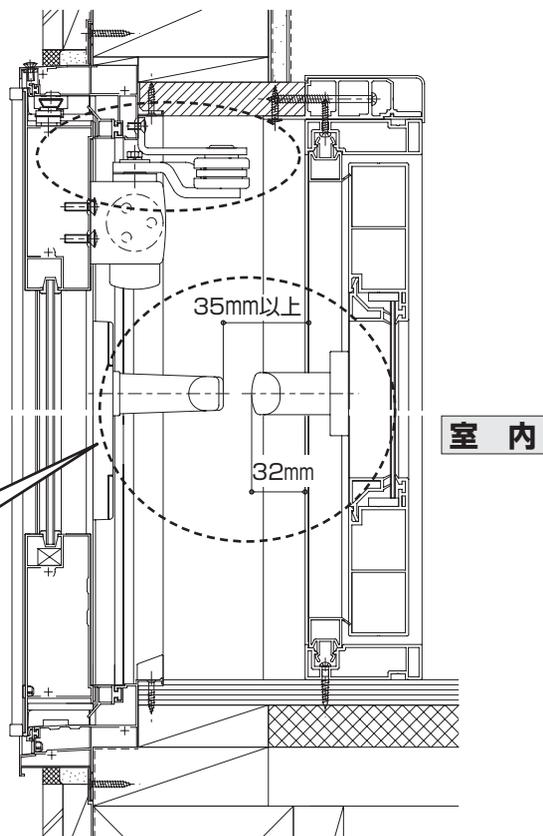
その他

ハンドル可動域



外窓の出寸法を確認してください。

<例：ふかし枠を使用>



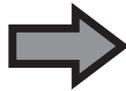
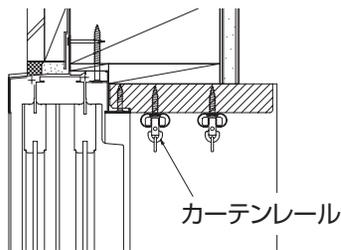
窓台見込寸法の確認：カーテンレール・ブラインドの有無確認

注意

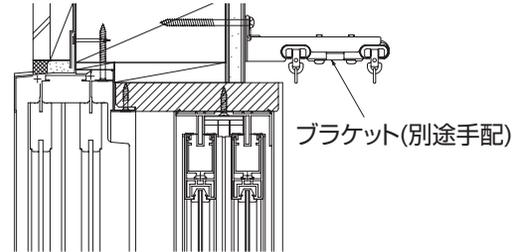
カーテンレール、カーテンボックスの取付状況は、現場により異なります。移設の際は、下地有無などを確認してください。また、移設により既存カーテンの長さの不足・調整が発生する場合がありますので、確認してください。

●カーテンレールが木額縁内にある場合

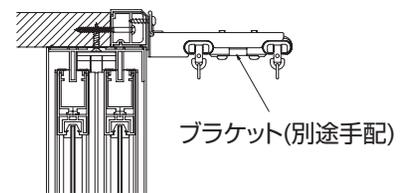
カーテンレールと干渉する場合は、お施主様に相談の上、カーテンレールの位置を移動してください。



<例:カーテンレールを移設>



<例:カーテンレール対応ふかし枠を使用>

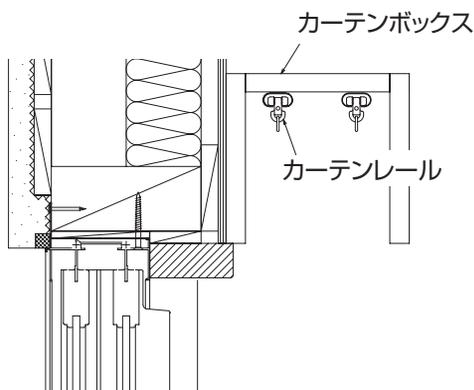


お願い

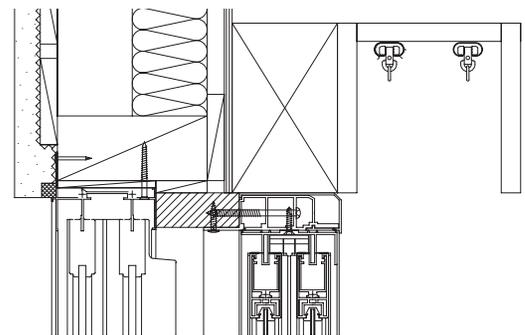
カーテンレール移設後、既存のねじ穴が残る場合は、メンテチューブ(オプション品P.13参照)などを別途手配し補修してください。

●カーテンボックスがついている場合

カーテンボックスと干渉する場合は、お施主様に相談の上、取付位置を決めてください。



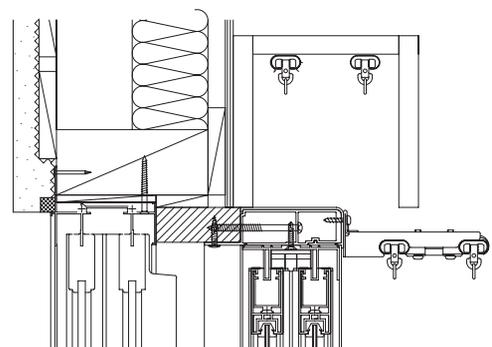
<例:カーテンボックスを移設>



注意

別途、木造作工事・内装工事が必要となります。

<例:カーテンレール対応ふかし枠を使用>



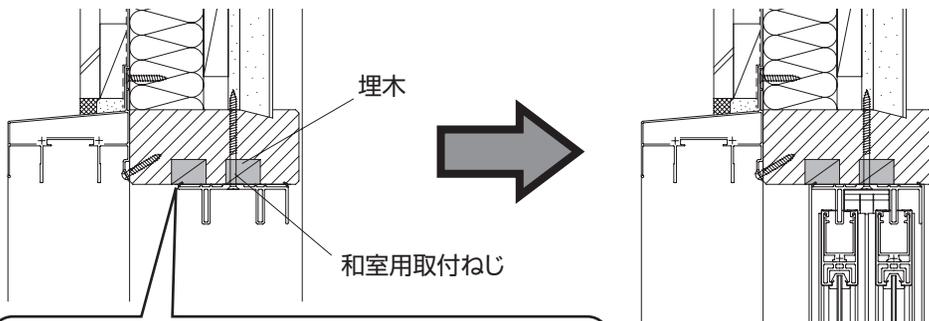
※ふかし枠を使用する場合は、P.33~47を参照してください。

30 開口部の確認（一般納まり）

窓台見込寸法の確認：和室に取付ける場合

●和室障子を使用しない場合

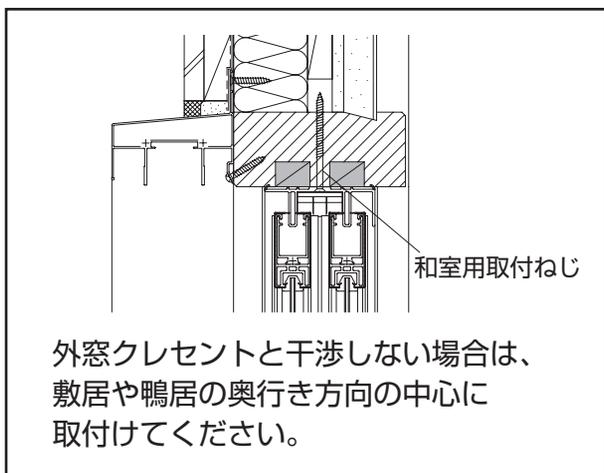
商品概要



事前確認

鴨居や敷居のレール溝を現地で埋め、和室取付用ねじ(オプション品P.13参照)を使用して上枠を取付けてください。

現場調査

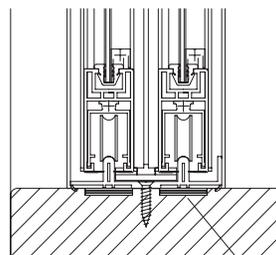


外窓クレセントと干渉しない場合は、敷居や鴨居の奥行き方向の中心に取付けてください。

その他

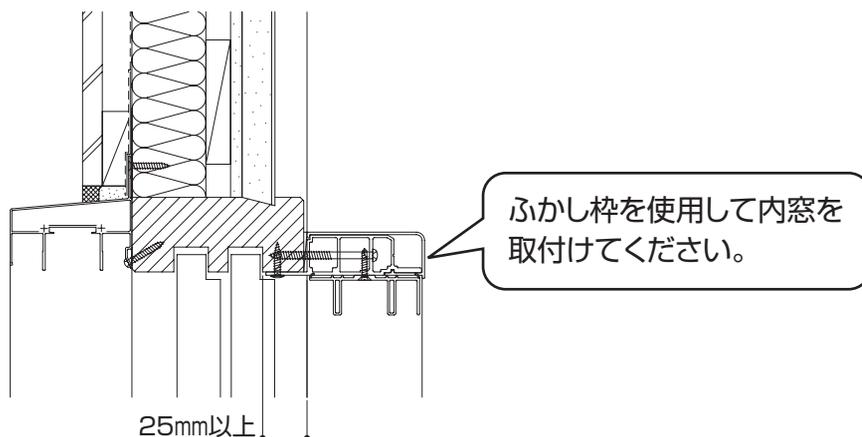
●下枠部

敷居レール溝を調整材や調整スペーサー(オプション品P.13参照)で埋め、必ず平らな部分に取付けてください。



調整材

●和室障子をそのまま使用する場合



※ふかし枠を使用する場合は、P.33～47を参照してください。

窓台強度の確認

窓台の強度を確認してください。

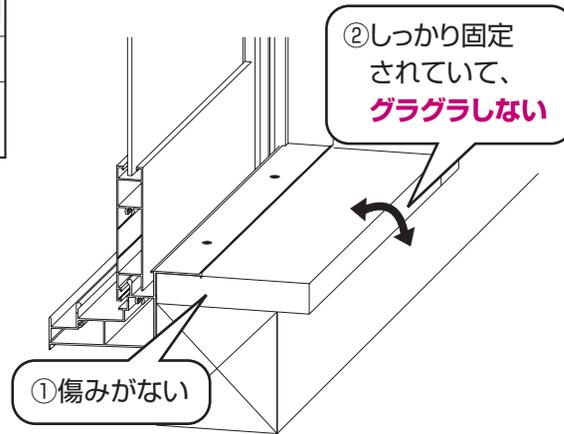
<ふかし枠なしの場合>

本商品の障子最大重量は約45kgです。

取付面の木額縁が商品重量を支えられるか、下記の①、②の項目について確認してください。

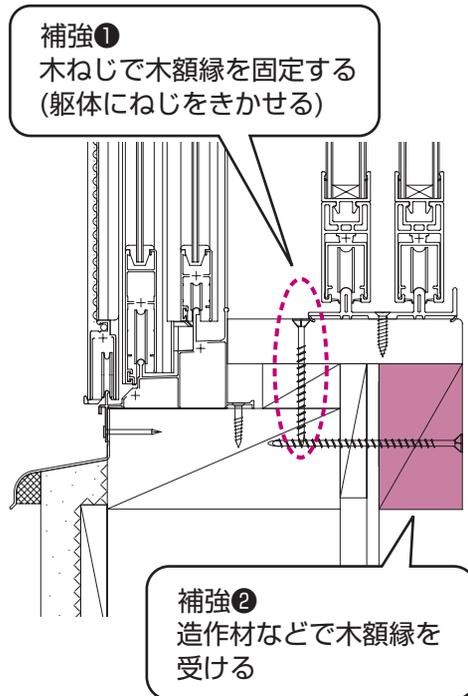
ひとつでもあてはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、木額縁を木ねじや造作材などで補強してください。

No.	項目	チェック欄
①	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
②	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	



補強が必要な場合、下記の補強例を参考に木額縁の補強を行ってください。

補強例



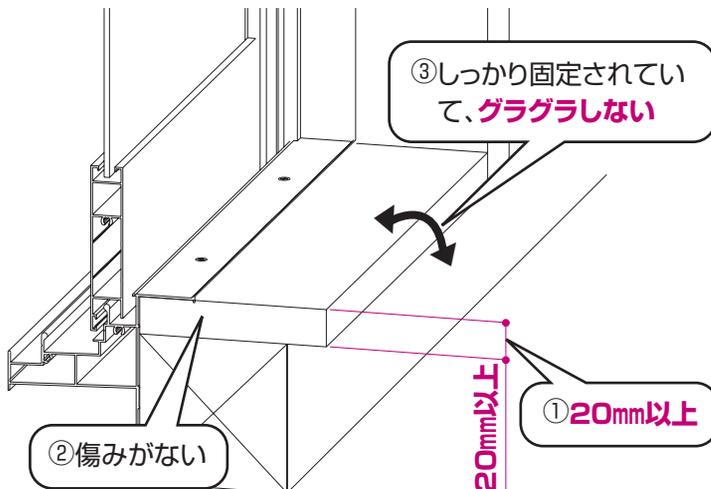
窓台強度の確認

<ふかし枠ありの場合>

■ふかし枠の確認事項

下記の項目について確認してください。あてはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、ふかし枠を使用することができません。額縁の新設が必要となります。

No.	項目	チェック欄
①	木額縁の四方すべてが見付20mm以上あること	



■ふかし枠25四方の確認事項

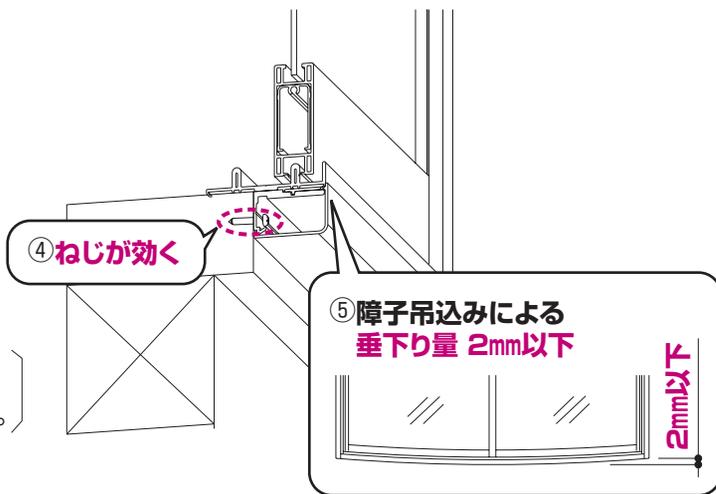
下記の②～⑤の項目について確認してください。ひとつでもあてはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、**必ず商品施工時の補強が必要**となります。ふかし枠補強方法(P.33～47)を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

採寸時

No.	項目	チェック欄
②	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
③	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	

施工時

No.	項目	チェック欄
④	木額縁にねじがきくこと	
⑤	障子吊込みによる下枠垂下り量2mm以下であること	



〔W1600×H1300で、障子重量は
単板：約10kg/枚、複層：約16kg/枚となります。〕

■ふかし枠40・70四方での確認事項

障子脱落のおそれがあるため、**必ず補強が必要**となります。

ふかし枠補強方法(P.33～47)を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

注意

カーテンレール対応ふかし枠の場合は、下枠部と同様に上枠部にも荷重がかかりますので、同様に額縁の強度を確認してください。
額縁の強度が不足している場合は、カーテンレールをふかし枠に取付けできません。
カーテンレールの移設(P.29参照)を実施してください。

商品概要

事前確認

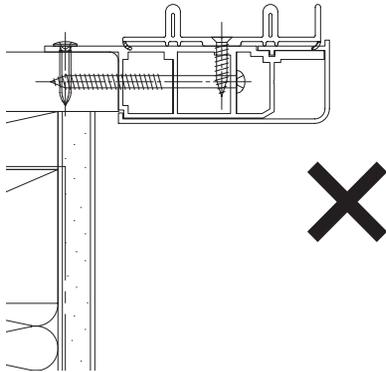
現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：脱落の可能性のある納まり例

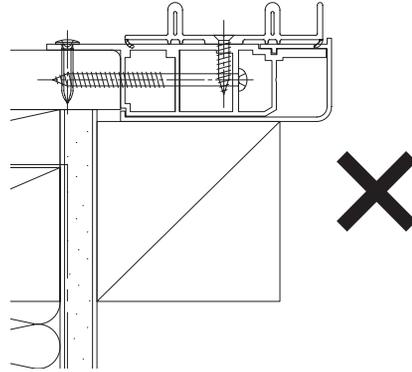
下記のような納まりでは **障子脱落** のおそれがあります。

●補強していない。



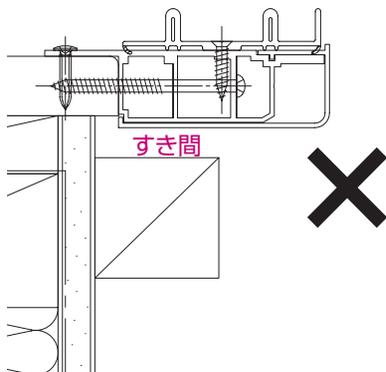
・補強が必要だったが補強しなかった。

●補強材がしっかりと躯体に固定されていない。



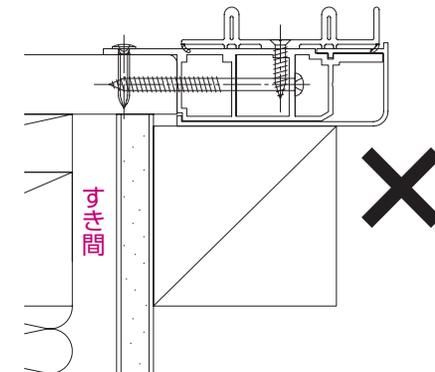
- ・下地がない所にねじを打った。
- ・短いねじで固定したため、躯体にねじがきいていない。
- ・指定の取付ピッチを守らずに固定した。
- ・下地がなかったため、接着剤で補強材を固定した。

●補強材が効いていない。



- ・指定された補強材よりも小さいものを使用した。
- ・補強材とふかし枠の間にすき間があるまま固定した。

●壁がしっかりしていない。



- ・壁と躯体の間にすき間がある。

商品概要

事前確認

現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：下地の確認方法

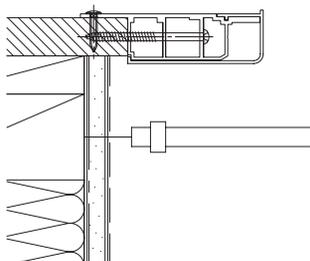
補強部品(補強角パイプ仕様・ブラケット仕様)や壁面に造作材を取付けて補強をする場合、壁面内の下地の確認が必要です。

壁面内の下地有無の確認は下地探し針、下地センサー、建築図面などによって確認してください。

●下地探し針で確認する場合

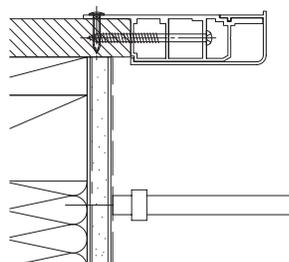
〈下地がある場所〉

窓台・胴縁・間柱にあたり、手ごたえがあります。

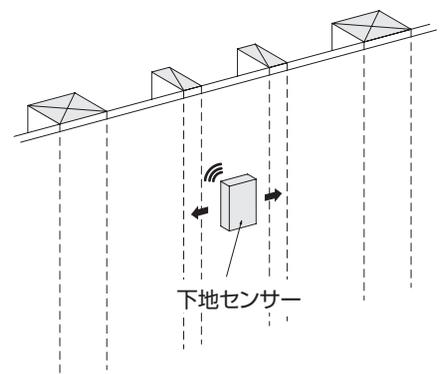


〈下地がない場所〉

手ごたえがありません。



●下地センサーで確認する場合



34 開口部の確認（一般納まり）

ふかし枠の補強方法：ふかし枠補強方法の選定

商品概要

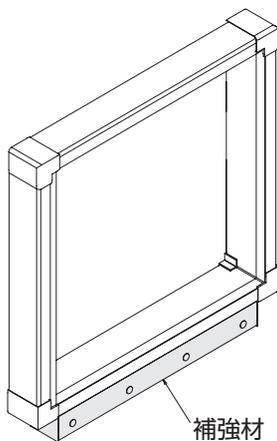
事前確認

現場調査

その他

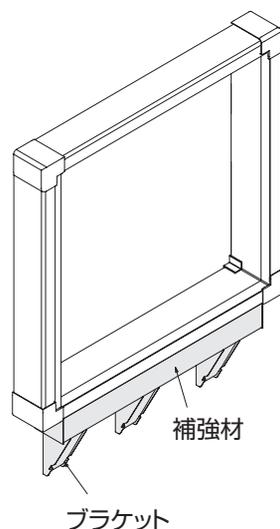
■補強部品（補強角パイプ仕様）

- 壁面内に下地材がある場合に使用できるオプションの補強部品です。
- 壁面内の下地（窓台）で荷重を支えます。



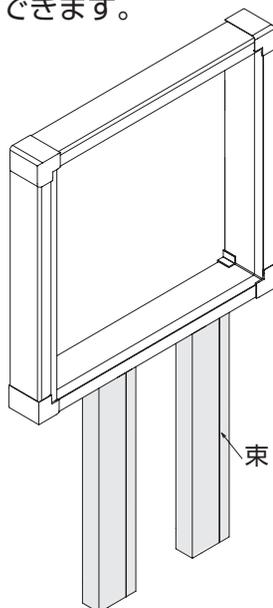
■補強部品（ブラケット仕様）

- 壁面内に下地材がある場合に使用できるオプションの補強部品です。
- 壁面内の下地（間柱など）で荷重を支えます。



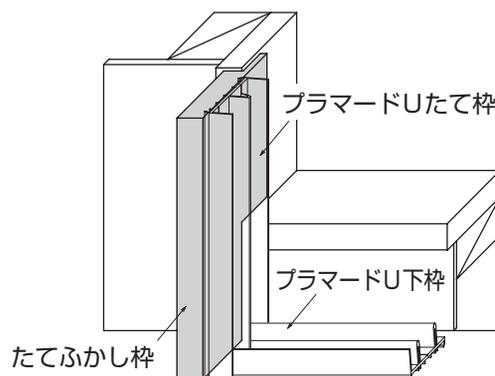
■補強部品（束仕様）

- 床で荷重を支えられる場合に使用できるオプションの補強部品です。
- 壁面内に下地材がない場合や、不明な場合でも使用できます。



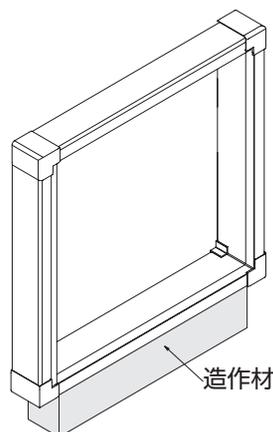
■またぎ段差ふかし枠

- 額縁高さが200mm以下のまたぎ段差納まりの時などに下枠以外の3方枠で納めるふかし枠です。



■造作材での補強

別途準備した造作材で補強します。

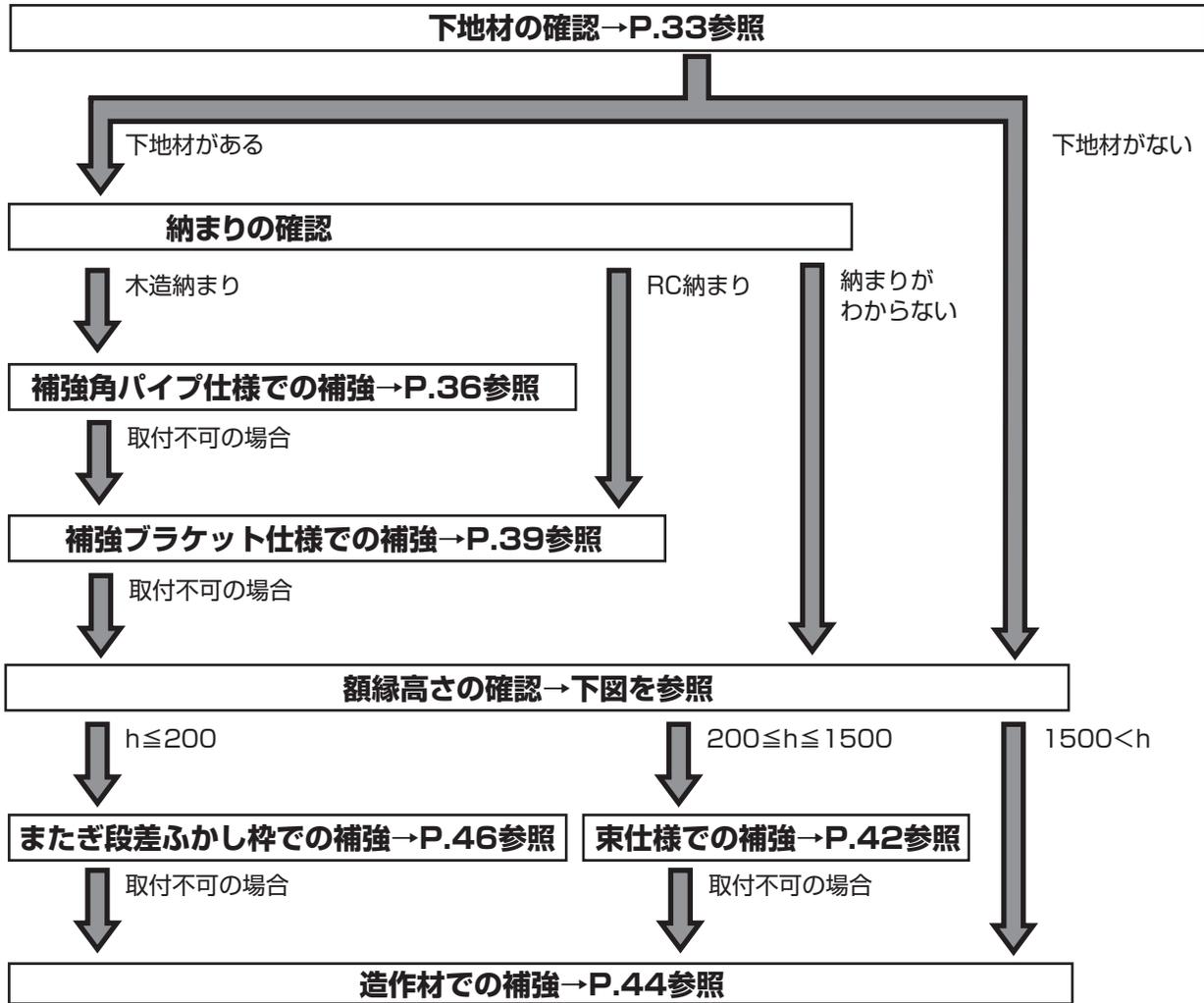


ふかし枠の補強方法：ふかし枠補強方法の選定

ふかし枠の補強が必要な場合、下記の選択フローに沿って補強方法を選定してください。
補強方法によって納まりに条件がありますので、早見表にて取付可能か確認してください。

※詳細は、各参照先ページを確認してください。

※すべての補強方法が納まり条件上できない場合は、ふかし枠を使用することができません。
額縁の新設が必要となります。



■早見表

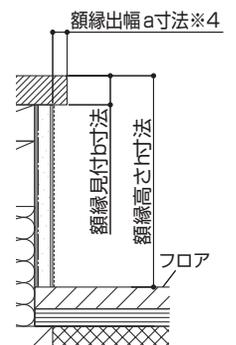
	対応構造		対応ふかし枠			額縁出幅 a寸法(mm)	額縁見付 b寸法(mm)	額縁高さ h寸法(mm)	床面 の強度	壁面内 の下地
	木造	RC	25	40	70					
補強部品(補強角パイプ仕様)	○	×	○	○	○	$0 \leq a \leq 23^{*1}$	$20 \leq b \leq 26^{*3}$	$100 \leq h$	—	必要
補強部品(ブラケット仕様)	○	○	○	○	○	$0 \leq a \leq 23^{*2}$	$20 \leq b$	$230 \leq h$	—	必要
補強部品(束仕様)	○	○	×	○	○	—	$20 \leq b$	$200 \leq h \leq 1500$	必要	—
造作材で補強	壁面で支える	○	○	○	○	—	$20 \leq b$	—	—	必要
	床面で支える	○	○	○	○	—	$20 \leq b$	—	必要	—
またぎ段差ふかし枠	○	○	×	×	○	—	$20 \leq b$	$h \leq 200$	—	—

※1 ふかし枠25の場合は $5 \leq a \leq 17$

※2 ふかし枠25の場合は $12 \leq a \leq 23$

※3 ふかし枠70の場合は $20 \leq b \leq 24$

※4 たて額縁と横額縁が面違いの場合は、出幅の大きい方で採寸してください。



商品概要

事前確認

現場調査

その他

36 開口部の確認（一般納まり）

ふかし枠の補強方法：補強部品（補強角パイプ仕様）での補強

確認事項

■製作範囲の確認

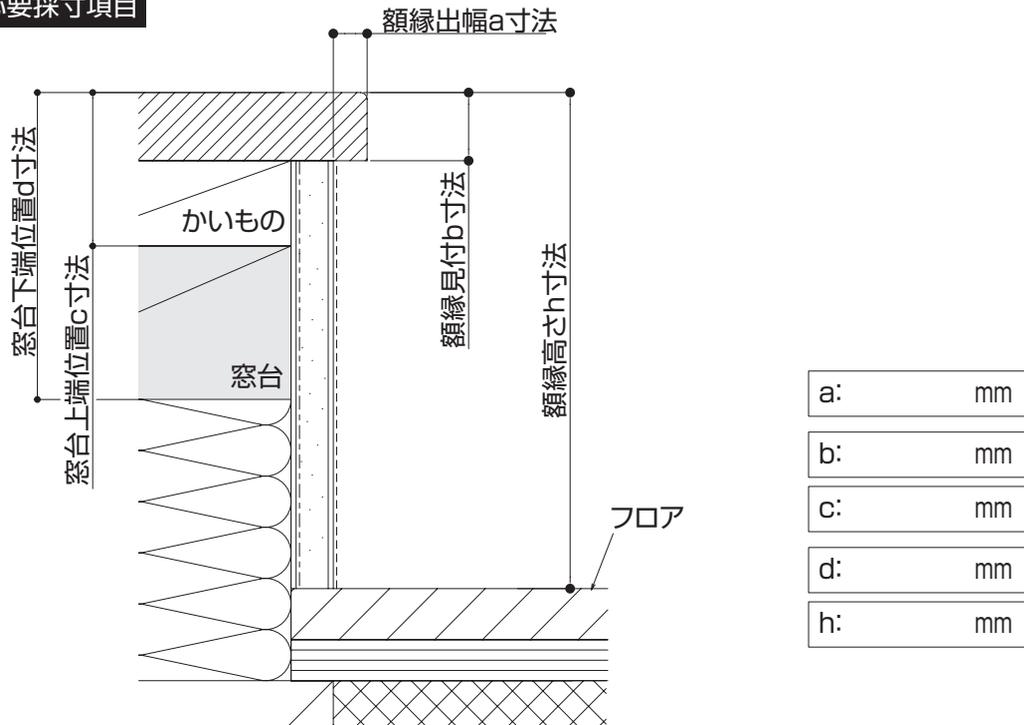
補強角パイプ仕様は、内窓の製品重量に制限があります。

商品仕様、ガラス種によって製作範囲が異なりますので、詳しくは商品カタログを参照してください。ただし、[引違い窓2枚建(偏芯含む) 窓タイプ(H≤1400)]、[FIX窓]、[内開き窓]、[開き窓テラス]の場合は、ガラス種に関わらず全サイズ対応可能です。

■納まりの確認

- ① 下記の必要採寸項目を採寸してください。
下地の確認方法は、P.33を参照してください。

必要採寸項目



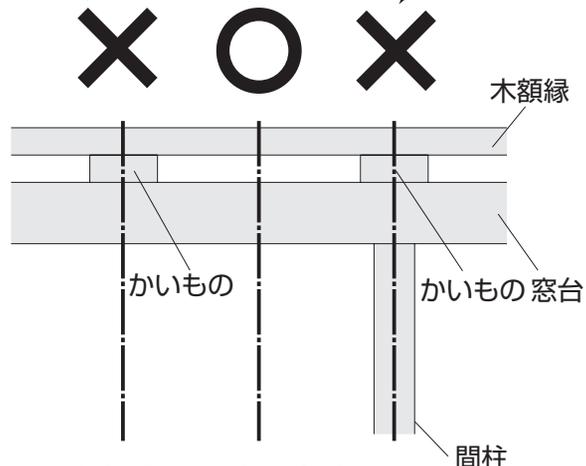
注意

窓台位置を確認する際は、窓台を、かいものや間柱などと混合しないように、図のようにかいものや間柱などの入っていない位置で確認してください。

窓台位置が確認できません

窓台位置が確認できます

窓台位置が確認できません



窓台位置の確認方法

商品概要

事前確認

現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：補強部品(補強角パイプ仕様)での補強

商品概要

事前確認

現場調査

その他

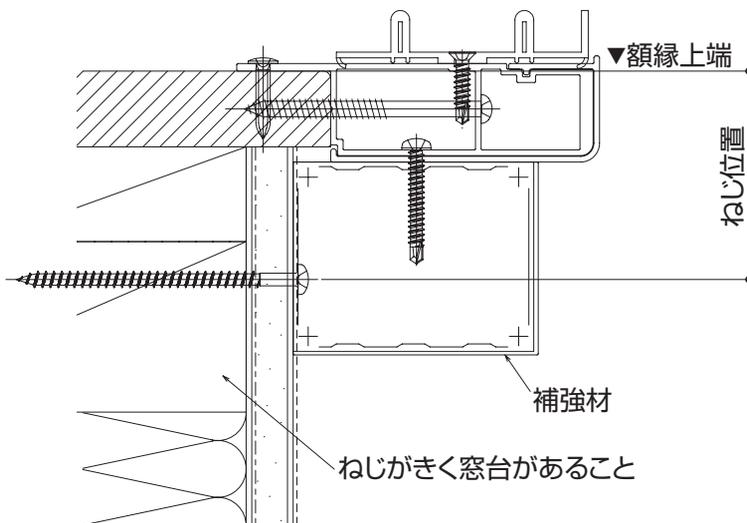
② ①で確認した採寸結果をもとに、下記の①～⑤の項目をすべて満たしているか確認してください。

ひとつでもあてはまらない場合は、補強部品(補強角パイプ仕様)が取付けできなったり、障子脱落のおそれがあるため、補強部品(補強角パイプ仕様)での補強ができません。

他の補強方法(P.35)で補強してください。

単位：mm

No.	項目	チェック欄
①	木造納まりであること	
②	額縁出幅(a寸法)が $0 \leq a \leq 23$ であること ※ふかし枠25は $5 \leq a \leq 17$	
③	額縁見付(b寸法)が $20 \leq b \leq 26$ であること ※ふかし枠70は $20 \leq b \leq 24$	
④	額縁高さ(h寸法)が $h \geq 100$ であり、補強部品が取付可能な内壁面があること	
⑤	下地材と内壁の間にすき間が無いこと	
⑥	窓台位置(c寸法、d寸法)が、補強材が窓台に取付可能な条件(窓台位置条件表参照)を満たしていること	



●窓台位置条件表

窓台上端位置c寸法(mm)	窓台下端位置d寸法(mm)	判定
$c \leq 30$	$d < 50$	× 対応不可
	$d \geq 50$	○ 対応可 [ねじ位置40mm]の一覧表の中から必ず選択してください。
$30 < c \leq 45$	$d < 65$	× 対応不可
	$d \geq 65$	○ 対応可 [ねじ位置55mm]の一覧表の中から必ず選択してください。
$45 < c$	—	× 対応不可

注意

- 窓台位置が確認できない場合や窓台位置(c、d寸法)が、表の条件を満たさない場合は補強材が窓台にしっかりと固定されず、障子脱落のおそれがありますので、本商品を使用しないでください。
- 補強材をねじ留めする際に、工具などがフロアなどに干渉しないかを事前に確認してください。

38 開口部の確認 (一般納まり)

ふかし枠の補強方法：補強部品(補強角パイプ仕様)での補強

発注方法

①ねじ位置の確認

窓台位置(c, d寸法)を確認し、対応するねじ位置を窓台位置条件表(P.37)にて確認してください。

②補強角パイプ仕様の種類選択

ふかし枠の種類(25・40・70)、額縁出幅(a寸法)を確認し、①で確認したねじ位置の一覧表より、対応する種類を選択してください。

注意

窓台位置条件表(P.37)にて指定されたねじ位置と異なるねじ位置を選択すると、補強材がしっかり固定されずに **障子脱落** のおそれがあるため、必ず指定のねじ位置の補強材を選択してください。

ねじ位置40mm

単位:mm

額縁出幅a	ふかし枠25	額縁出幅a	ふかし枠40 補強材②	額縁出幅a	ふかし枠70 補強材④
5mm未満	補強材①	10mm未満	補強材③	23mm以下	
5mm以上 17mm以下		10mm以上 23mm以下			

ねじ位置55mm

単位:mm

額縁出幅a	ふかし枠25	額縁出幅a	ふかし枠40 補強材⑥	額縁出幅a	ふかし枠70 補強材⑧
5mm未満	補強材⑤	10mm未満	補強材⑦	23mm以下	
5mm以上 17mm以下		10mm以上 23mm以下			

必要発注品

ブラマードU本体
(引違い窓/FIX窓/内開き窓/開き窓テラス)

+

補強ふかし枠、または
カーテンレール対応補強ふかし枠
(ふかし枠出幅25・40・70)

+

補強材
(①~⑧)

(例)引違い窓ふかし枠出幅40(カーテンレール対応無)
額縁出幅15mmビス位置55mmの場合
「引違い窓」+「補強ふかし枠40⑦」

補強部品(補強角パイプ仕様)を発注する場合、補強ふかし枠とセットでの発注となります。「補強ふかし枠 40 ⑦」という形式で発注します。

ふかし枠の種類 ふかし枠出幅 補強材記号

商品概要

事前確認

現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：補強部品(ブラケット仕様)での補強

商品概要

事前確認

現場調査

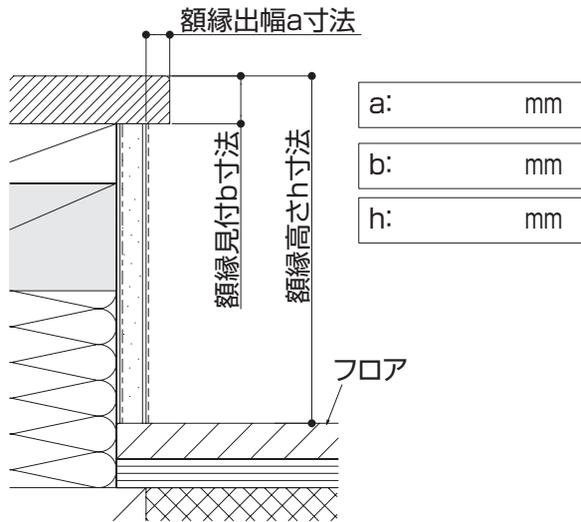
その他

確認事項

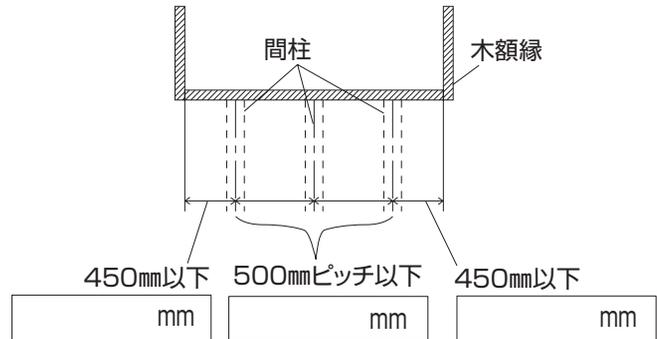
■納まりの確認

① 下記の必要採寸項目を採寸してください。

必要採寸項目



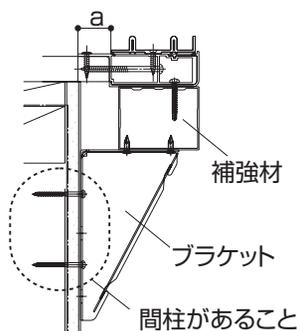
●間柱間隔条件(木造納まりの場合)



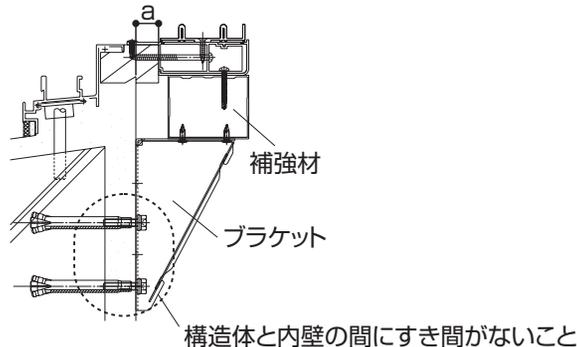
② ①で確認した採寸結果をもとに、下記の①～⑥の項目をすべて満たしているか確認してください。
ひとつでもあてはまらない場合は、補強部品(ブラケット仕様)が取付けできなかつたり、障子脱落のおそれがあるため、補強部品(ブラケット仕様)での補強ができません。
 他の補強方法(P.35)で補強してください。

No.	項目	チェック欄
①	木造納まり、またはRC納まりであること	
②	額縁出幅(a寸法)が $0 \leq a \leq 23$ であること ※ふかし枠25は $12 \leq a \leq 23$	
③	額縁見付(b寸法)が $b \geq 20$ であること	
④	額縁高さ(h寸法)が $h \geq 230$ であり、補強部品が取付可能な内壁面があること	
⑤	下地材、または構造体と内壁の間にすき間がないこと	
⑥	<木造納まりの場合> 間柱間隔条件にあった間柱があること	

木造納まり用



RC納まり用



注意

ブラケットを施工する際に、工具などがフロアなどに干渉しないかを事前に確認してください。

40 開口部の確認（一般納まり）

ふかし枠の補強方法：補強部品（ブラケット仕様）での補強

発注方法

① ブラケット仕様の種類選択

ふかし枠の種類（25・40・70）、額縁出幅（a寸法）、納まり（木造・RC造）を確認し、対応する種類を一覧から選択してください。

木造納まり用

額縁出幅a	ふかし枠25	ふかし枠40	ふかし枠70
10mm未満	X	補強部品B 	補強部品D
10mm以上23mm以下 ※ふかし枠25は 12mm以上23mm以下	補強部品A 	補強部品C 	補強部品E

RC納まり用

額縁出幅a	ふかし枠25	ふかし枠40	ふかし枠70
10mm未満	X	補強部品G 	補強部品I
10mm以上23mm以下 ※ふかし枠25は 12mm以上23mm以下	補強部品F 	補強部品H 	補強部品J

商品概要

事前確認

現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：補強部品(ブラケット仕様)での補強

②ブラケット個数を確認(木造納まりの場合)

ブラケットは下記の個数を同梱しています。

間柱本数に対しブラケットの個数が不足している場合、ブラケット間の距離が大きくなり、

障子脱落のおそれがあります。

ブラケットの個数が不足している場合は、必要に応じて別途手配してください。

ブラケット同梱個数表

W(mm)	ブラケット同梱個数
200≦W≦740	1
740<W≦1195	2
1195<W≦1650	3
1650<W≦2105	4
2105<W≦2560	5
2560<W≦3015	6
3015<W≦3470	7
3470<W≦3925	8
3925<W≦4380	9
4380<W≦4835	10
4835<W≦5000	11

必要部品一覧表

	ブラケット	キャップ	取付ねじ(補強材側)	取付ねじ(躯体側)
補強部品A・B	5K-16491	3K-21038	4K-18048	WR-3850(※)
補強部品C	5K-16492	3K-21038	4K-18048	WR-3850(※)
補強部品D	5K-16493	3K-21039	4K-18048(※)	WR-3850(※)
補強部品E	5K-16494	3K-21039	4K-18048(※)	WR-3850(※)

(※)はブラケット1個に対して2本必要です。

必要発注品

プラマードU本体
(引違い窓/FIX窓/内開き窓/開き窓テラス)

(例)引違い窓ふかし枠出幅70
(カーテンレール対応無)
額縁出幅15mmRC造の場合
「引違い窓」+「補強ふかし枠70J」

+

補強ふかし枠、または
カーテンレール対応補強ふかし枠
(ふかし枠出幅25・40・70)

+

補強部品
(A~J)

補強部品(ブラケット仕様)を発注する場合、
自動的に補強ふかし枠とセットでの発注となります。
「**補強ふかし枠 70 J**」という形式で発注します。

ふかし枠の種類

ふかし枠出幅

補強部品記号

42 開口部の確認（一般納まり）

ふかし枠の補強方法：補強部品(束仕様)での補強

確認事項

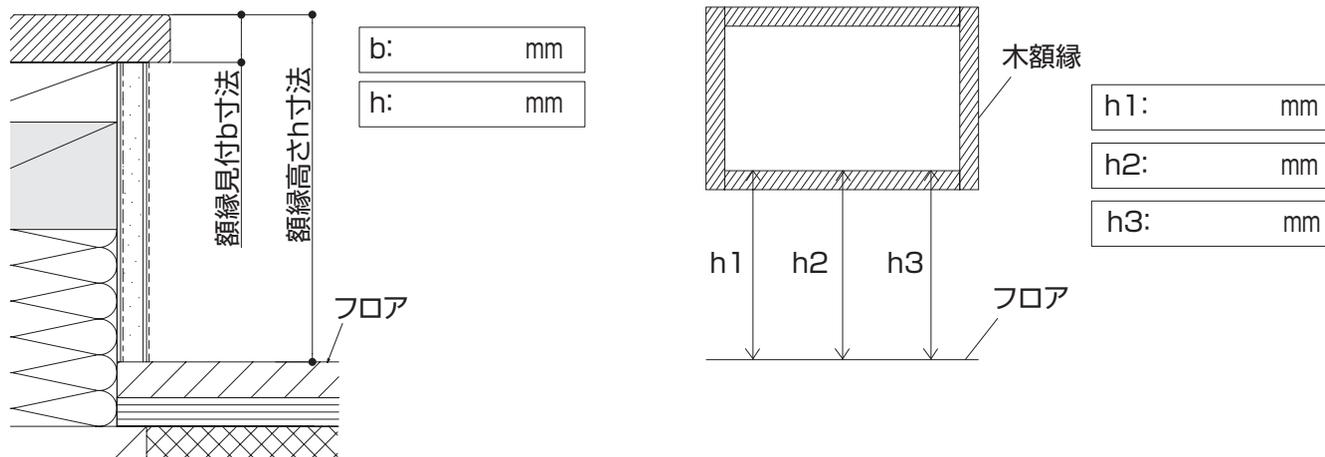
■ふかし枠の確認

ふかし枠25には対応していません。ふかし枠40・70のみ使用できます。

■納まりの確認

- ① 下記の必要採寸項目を採寸してください。
額縁高さ(h寸法)は、図のように3箇所採寸してください。

必要採寸項目

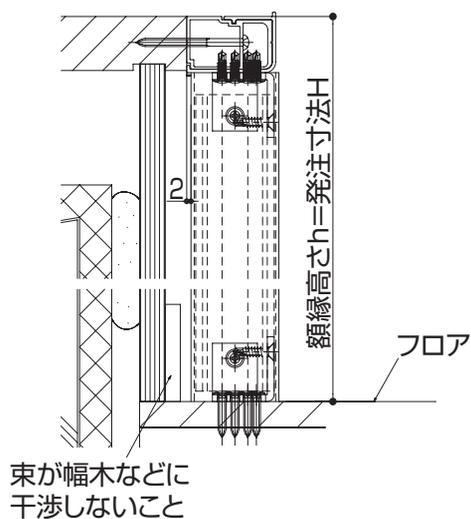


- ② ①で確認した採寸結果をもとに、下記の①～⑤の項目をすべて満たしているか確認してください。
ひとつでもあてはまらない場合は、補強部品(束仕様)が取り付けできなかつたり、障子脱落のおそれがあるため、補強部品(束仕様)での補強ができません。
他の補強方法(P.35)で補強してください。

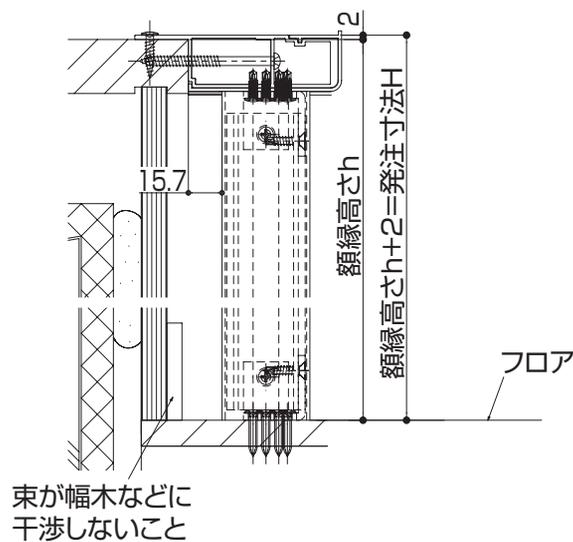
単位：mm

No.	項目	チェック欄
①	額縁見付(b寸法)が $b \geq 20$ であること	
②	額縁高さ(h寸法)が3箇所ともすべて $200 \leq h \leq 1500$ であること	
③	床が商品の荷重を支えられること	
④	床にねじがきくこと	
⑤	束が幅木などに干渉しないこと	

ふかし枠40



ふかし枠70



商品概要

事前確認

現場調査

その他

ふかし枠の補強方法：補強部品(束仕様)での補強

発注方法

①束の発注寸法の確認

3箇所採寸した額縁高さ(h寸法)のうち、**最大h寸法**で発注してください。

ふかし枠70の場合、最大h寸法に2mm足した寸法で発注してください。

②束の必要本数の確認

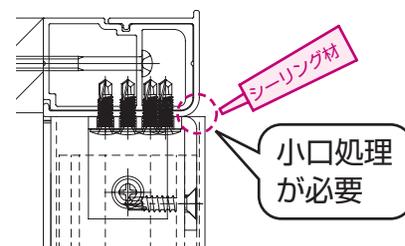
表よりプラマードU本体のW寸法に応じた束の必要本数を発注してください。

束の本数が不足している場合、束間の距離が大きくなり、障子脱落のおそれがあるため、必ず必要本数を確認してください。

W(mm)	束必要本数
200≦W≦420	1
420<W≦1100	2
1100<W≦1850	3
1850<W≦2600	4
2600<W≦3350	5
3350<W≦4100	6
4100<W≦4850	7
4850<W≦5000	8

注意

- ふかし枠は、必ず「補強ふかし枠」を発注してください。
- ふかし枠40の場合は、束の小口が露出するため、シーリング材またはメンテチューブで小口を塞ぐ必要があります。
- 現場の開口の状態によって、束カバーの上下端部にすき間ができる場合があります。
その場合は、シーリング材またはメンテチューブ(オプション品P.15参照)で塞ぐ必要があります。



必要発注品

プラマードU本体
(引違い窓/FIX窓/内開き窓/開き窓テラス)

+

補強ふかし枠、または
カーテンレール対応補強ふかし枠
(ふかし枠出幅40・70)

+

束
(必要本数分)

(例)引違い窓ふかし枠出幅70

(カーテンレール対応無)

補強部品(束仕様)でW=1600mmの場合

「引違い窓」+「補強ふかし枠70」+「束(3本)」

※ 束カバーのすき間塞ぎとふかし枠40の場合の小口処理のため、シーリング材またはメンテチューブ(オプション品P.15参照)が必ず必要です。

44 開口部の確認（一般納まり）

ふかし枠の補強方法：造作材での補強

納まりに応じて以下のような補強ができるように手配してください。

●内壁面に造作材を取付ける場合

下記①～③の項目をすべて満たしているか確認してください。

ひとつでもあてはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがありますので、**この補強方法では補強できません。**

その場合は、必ずふかし枠を床で支える補強(P.45)をしてください。

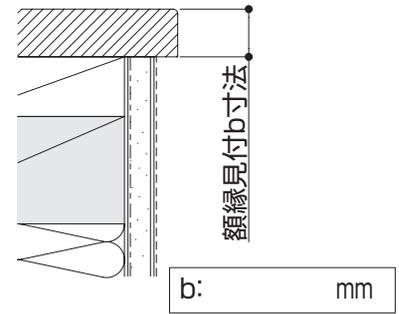
商品概要

事前確認

現場調査

その他

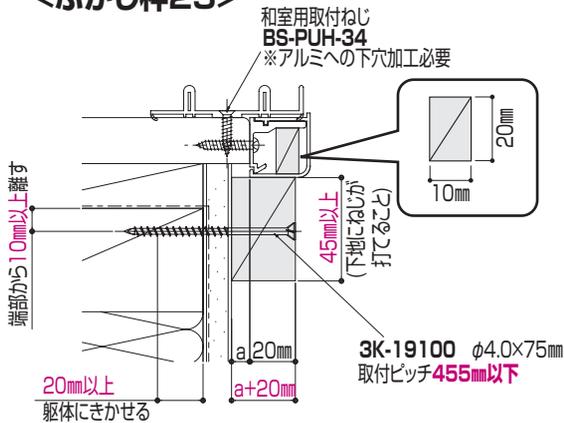
必要採寸項目



No.	項目	チェック欄
①	額縁見付(b寸法)が $b \geq 20$ であること	
②	造作材が固定できる下地材、または構造体があること	
③	下地材、または、構造体と内壁の間にすき間がないこと	

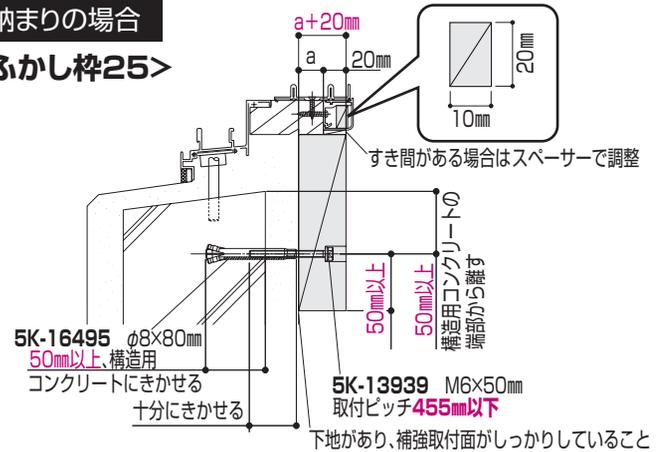
木造納まりの場合

<ふかし枠25>

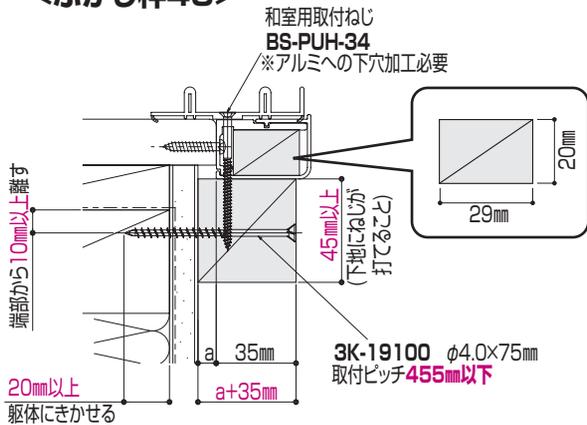


RC納まりの場合

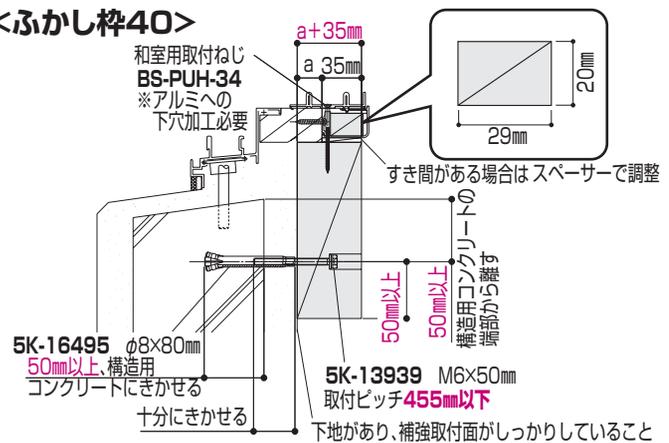
<ふかし枠25>



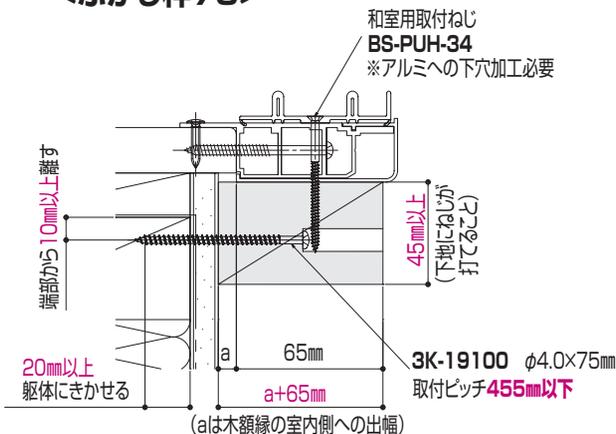
<ふかし枠40>



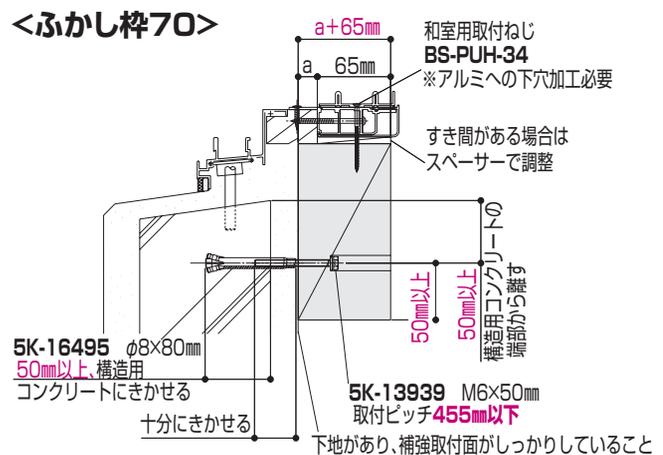
<ふかし枠40>



<ふかし枠70>



<ふかし枠70>



ふかし枠の補強方法：造作材での補強

● 床で支える補強を造作材とする場合

確認事項

下記①、②の項目をすべて満たしているか確認してください。

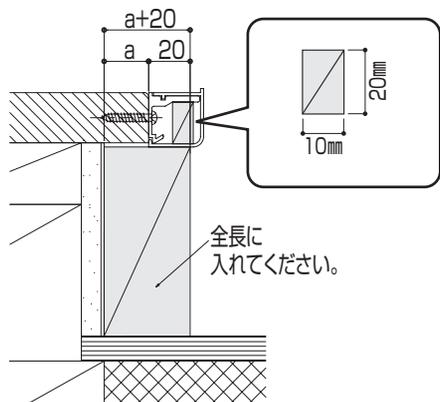
ひとつでもあてはまらない場合は、**障子脱落**のおそれがあるため、この補強方法での補強ができません。

他の補強方法(P.35)で補強してください。

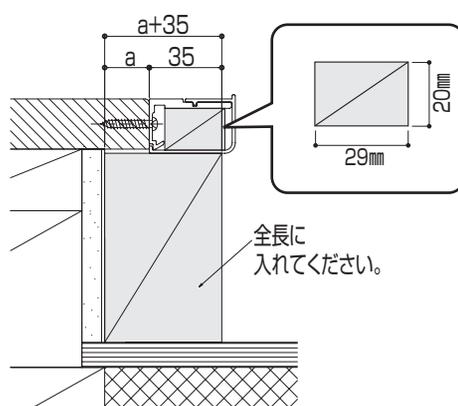
単位：mm

No.	項目	チェック欄
①	額縁見付(b寸法)が $b \geq 20$ であること	
②	床が商品の荷重を支えられること	

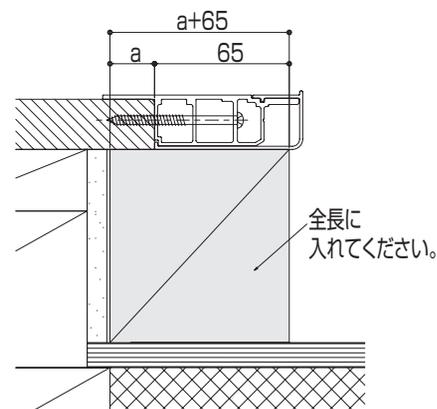
<ふかし枠25>



<ふかし枠40>

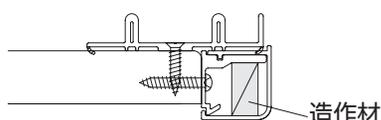


<ふかし枠70>

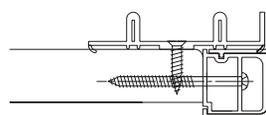


補強ふかし枠

<ふかし枠>



<補強ふかし枠>



補強ふかし枠の場合、ふかし枠下補強材は、ホロー形状になっているためふかし枠下枠内部の造作材は不要です。

※ふかし枠70は、補強ふかし枠70でなくても、ふかし枠下補強材はホロー形状なのでふかし枠下枠内部の造作材は不要です。

必要発注品

プラマードU本体 + ふかし枠または補強ふかし枠

※ 造作材は別途準備してください。
造作材はふかし枠下部全長に取付けてください。

46 開口部の確認（一般納まり）

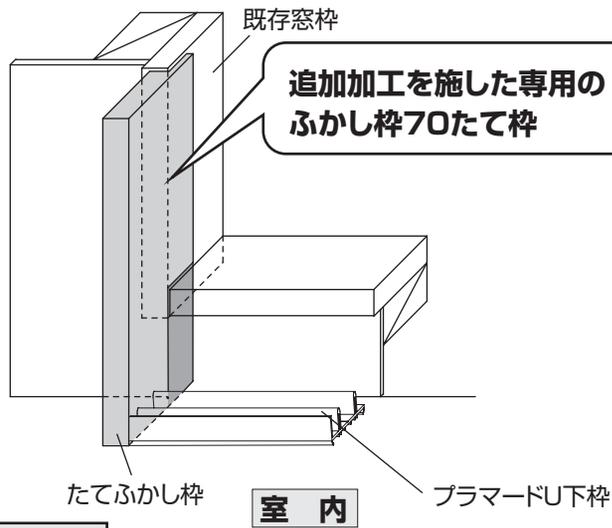
ふかし枠の補強方法：またぎ段差に取付ける場合

またぎ高さ $h < 200\text{mm}$ の場合、補強部品（束仕様）での補強はできません。その場合は、造作材で補強するか、たてふかし枠にまたぎ高さ分の切欠加工をほどこした「またぎ段差（ふかし枠70）」でご対応ください。

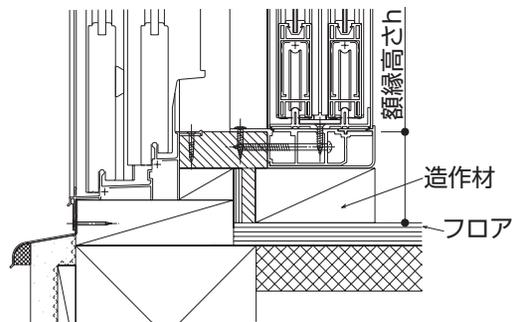
● 造作材で補強する場合

床から支える補強をしてください。
詳細は、P.45を参照してください。

● またぎ段差（ふかし枠70）を使用する場合



造作材での補強



商品概要

事前確認

現場調査

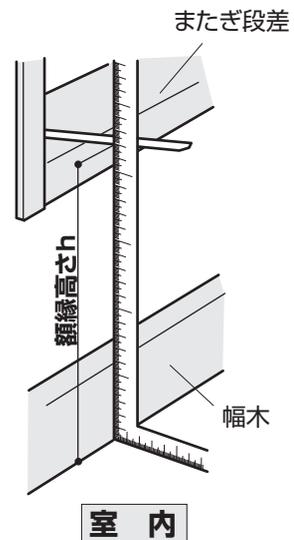
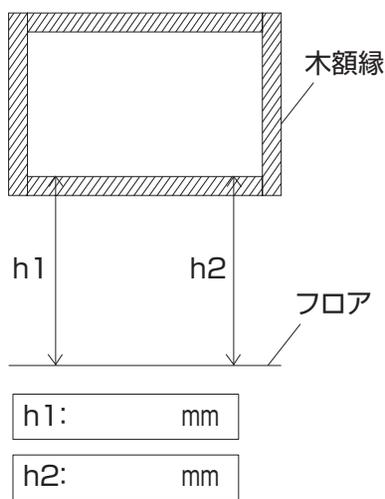
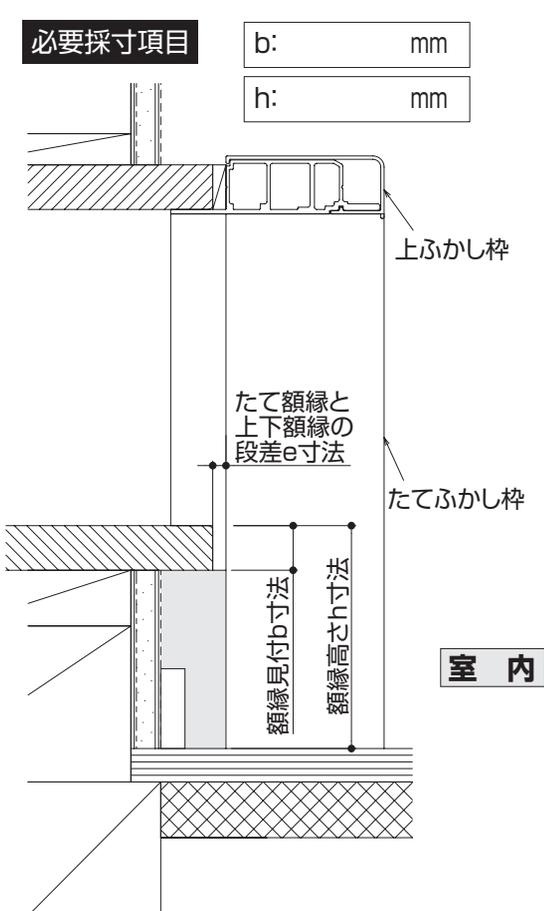
確認事項

■ 納まりの確認

- ① 下記の必要採寸項目を採寸してください。
額縁高さ（ h 寸法）は、図のように左端と右端の2箇所を採寸してください。

必要採寸項目

b:	mm
h:	mm



その他

ふかし枠の補強方法：またぎ段差に取付ける場合

② 下記の項目をすべて満たしているか確認してください。

ひとつでもあてはまらない場合は、またぎ段差(ふかし枠70)が取付けできなかつたり、**障子脱落のおそれがあります。**

他の補強方法(P.35)で補強してください。

単位：mm

No.	項目	チェック欄
①	額縁見付(b寸法)が $b \geq 20$ であること	
②	額縁高さ(h寸法)が $h \leq 200$ であること	
③	たて額縁と上下額縁の段差(e寸法)が $e \leq 10$ であること	

商品概要

事前確認

現場調査

その他

発注方法

2箇所採寸した額縁高さ(h寸法)のうち、最大h寸法をまたぎ段差高さとして発注してください。詳しくは弊社担当窓口までお問い合わせください。

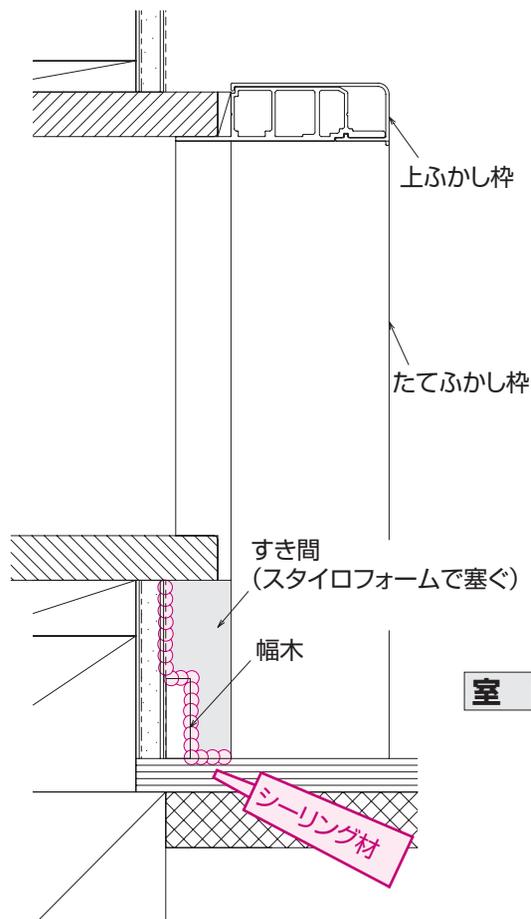
注意

たてふかし枠下部にすき間ができます。
下記の施工例を参考にすき間埋めのご準備と手配をしてください。

またぎ段差「すき間埋め」の施工例

すき間を調整材を貼ったスタイロフォームで塞ぐ例です。

詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「ふかし枠 またぎ段差(ふかし枠70)の場合」を参照してください。



用意していただくもの

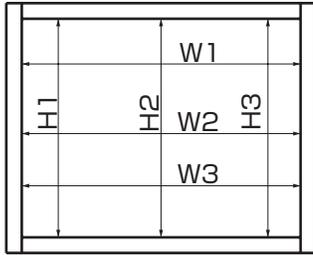
- スタイロフォーム (厚さ：20mm)…現地調達
- 調整材 (厚さ：1mm)…オプション品(P.13参照)
- シーリング材…オプション品(P.13参照)
- メンテチューブ…オプション品(P.13参照)
- 両面テープ…現地調達

48 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

開口寸法の測定

H1～H3およびW1～W3の最低3箇所を採寸し、**最小をW、H寸法**としてください。

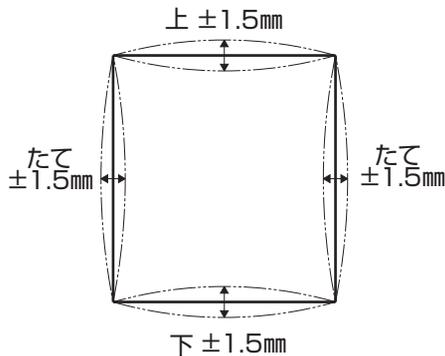
- H1～H3およびW1～W3の寸法差が3mm以下であることを確認してください。



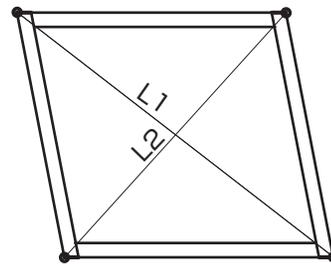
注意

- 採寸ミスがないように2度の測定確認をお願いします。
- メジャー測定やレーザー測定を行ってください。
- 採寸した**最小W、H寸法をそのまま発注**してください。それより小さい寸法で発注すると、施工後障子があたつくおそれがあります。

- 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。



- 枠の**対角差が3mm以内**であることを確認してください。



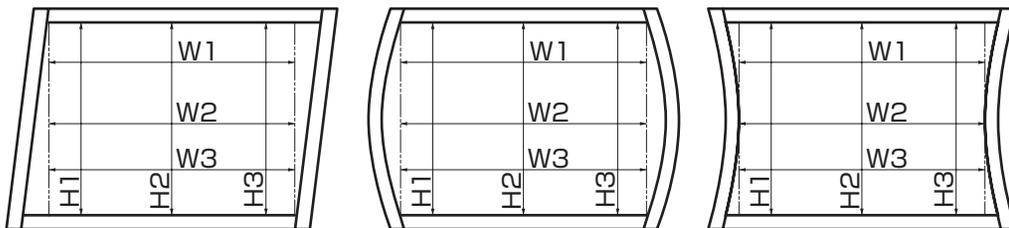
$$L1 - L2 \leq 3\text{mm}$$

注意

開口部の寸法差やたわみ量、対角差が範囲を超えている場合は、下図を参考に採寸し、枠との間に調整材や施工調整スペーサー、調整ライナー（ともにオプション品P.13参照）を入れて開口部を調整してください。

その際、枠と開口部にできたすき間は、シーリング材（オプション品P.13参照）で塞いでください。

開口部の調整方法の詳細については、P.74・75を参照してください。

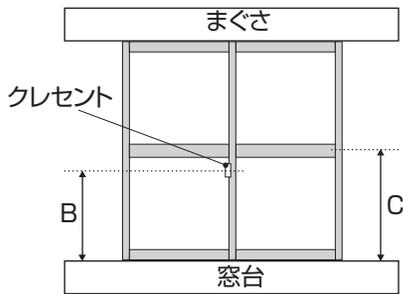


ポイント

レール端部スペーサー（オプション品P.15参照）を事前に手配しておくと、施工・調整時に障子のガタツキを抑えることができます。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「レール端部スペーサー」を参照してください。

各アイテムの注意事項：引違い窓

外窓と「プラマードU」のクレセント・中棧の位置をあわせたい場合は、**クレセント・中棧位置**を採寸してください。



<B：外窓クレセント位置>

窓台からクレセント取付中心位置

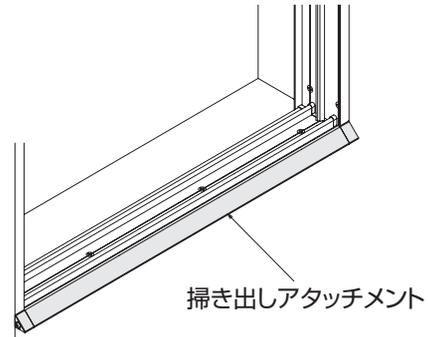
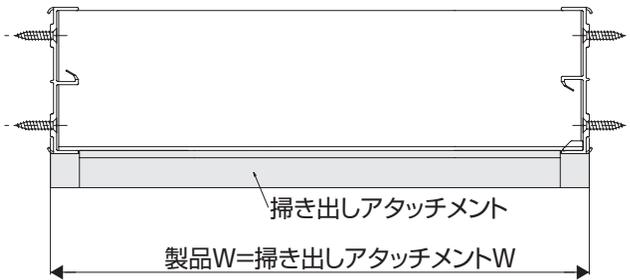
<C：外窓中棧位置>

窓台から中棧中心位置

※クレセント、中棧位置のオーダー条件については、P.70を参照してください。

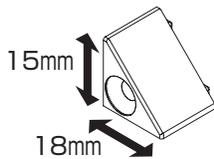
各アイテムの注意事項：掃き出しアタッチメント

掃き出しアタッチメントはプラマードUの製品Wにあわせて手配してください。



注意事項

①引違い窓以外の窓種には取付けできません。



内開き窓、FIX窓、開き窓テラスの下枠立ち上がり高さ(20・21)とあいません。

②ふかし枠突起部の納め方で掃き出しアタッチメントW寸法が異なります。

ふかし枠三方併用の場合の掃き出しアタッチメントW寸法に注意してください。

ふかし枠突起部カット無の場合

ふかし枠25・40と併用の場合：

掃き出しアタッチメントW=開口W-4

ふかし枠70と併用の場合：

掃き出しアタッチメントW=開口W-8

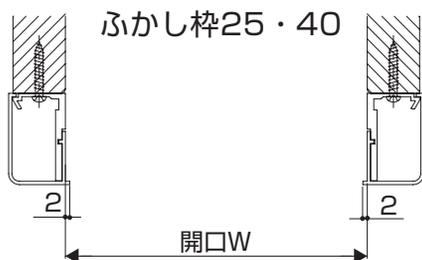
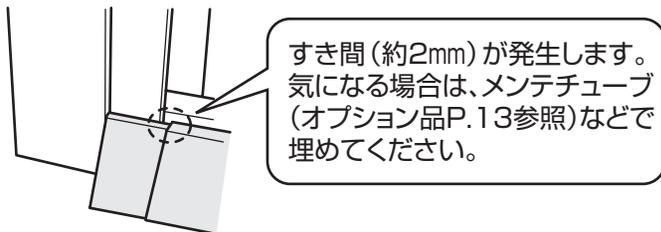
ふかし枠突起部カット有の場合

ふかし枠25・40と併用の場合：

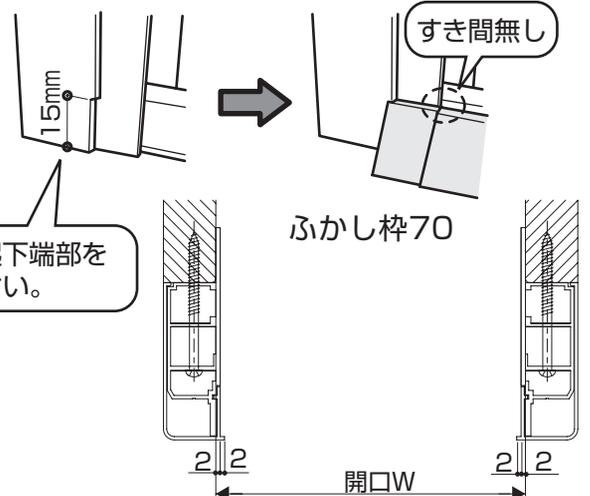
掃き出しアタッチメントW=開口W

ふかし枠70と併用の場合：

掃き出しアタッチメントW=開口W-4



左右たての突起下端部をカットしてください。



商品概要

事前確認

現場調査

その他

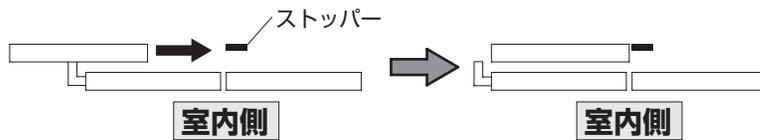
50 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：引違い窓 偏芯2枚建、3枚建、偏芯4枚建

外窓の割付けに合わせて、W1、W2、W3、W4の寸法を発注時に指示してください。

ポイント

- どの構成でも必ず内観左からW1、W2、W3、W4となります。
- 偏芯2枚建：製品W=障子W1+障子W2
3枚建：製品W=障子W1+障子W2+障子W3
偏芯4枚建：製品W=障子W1+障子W2+障子W3+障子W4 であること。
- 障子W1、障子W2、障子W3、障子W4はそれぞれすべて製作範囲内であること。
- 3枚建、偏芯4枚建の場合、外障子ストッパーはオプション(BS-PUH-37 下記参照)です。別途手配が必要になります。(偏芯2枚建は標準設定です。)



障子を開ける時、開けきっても、ストッパーで障子を奥までいかにないようにする。

〈3枚建、偏芯4枚建の場合〉

ストッパーは、オプションです。

ストッパーを取付ける場合は、

□BS-PUH-37を事前に

発注してください。

※記号の前の□に部品色を指示してください。

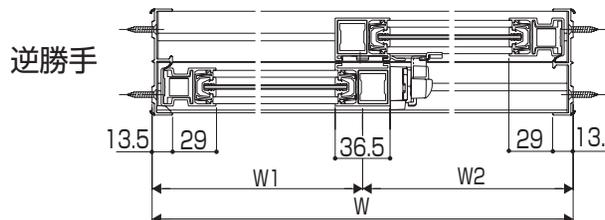
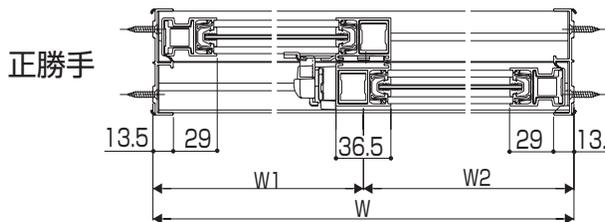
□BS-PUH-37 同梱部品一覧

姿 図		
品 名	ストッパー	皿タッピンねじ1種 (φ4×40)
品 番	K-30931	AF-4040D7
個 数	2	4

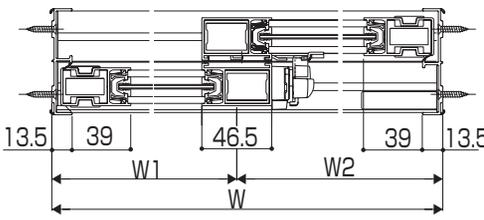
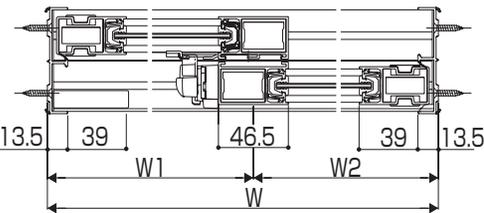
商品色	部品色
E2	G6
E3	P6
E9	EM
CM	BB
DC	E5
YW	WM

偏芯2枚建

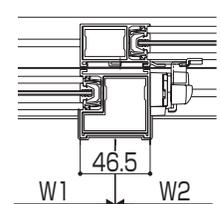
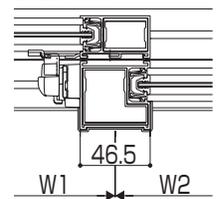
〈窓タイプ〉



〈テラスタイプ〉



●ランマ通しの場合 召合せ部

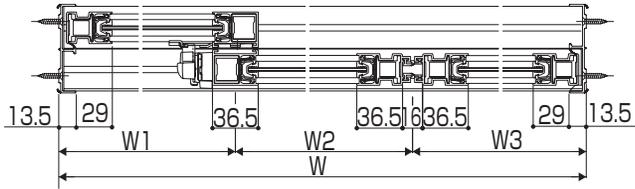


各アイテムの注意事項：引違い窓 偏芯2枚建、3枚建、偏芯4枚建

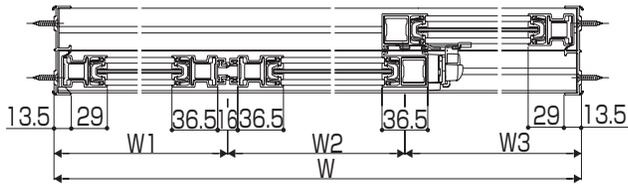
3枚建

〈窓タイプ〉

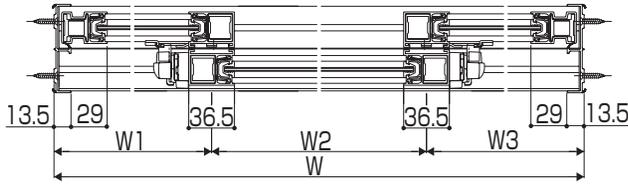
●突合せタイプ(外・内・内)



●突合せタイプ(内・内・外)

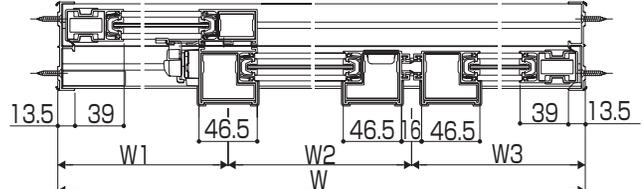


●両袖タイプ(外・内・外)

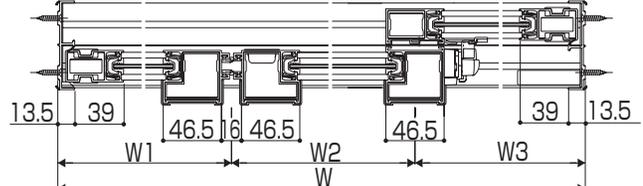


〈ランマ通しタイプ〉

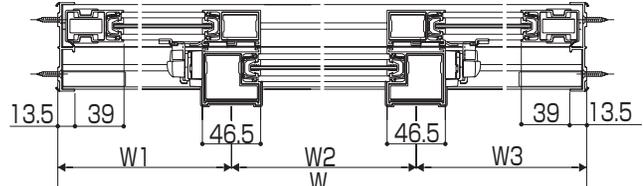
●突合せタイプ(外・内・内)



●突合せタイプ(内・内・外)

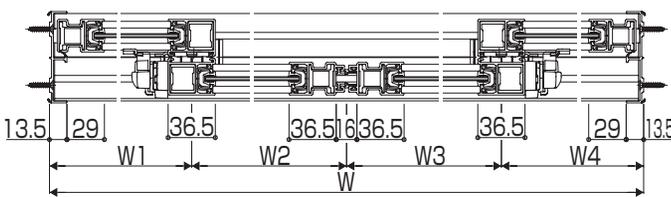


●両袖タイプ(外・内・外)

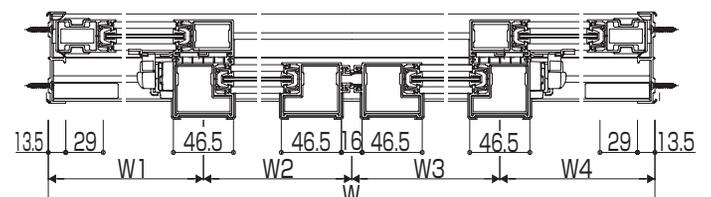


偏芯4枚建

〈窓タイプ〉



〈ランマ通しタイプ〉



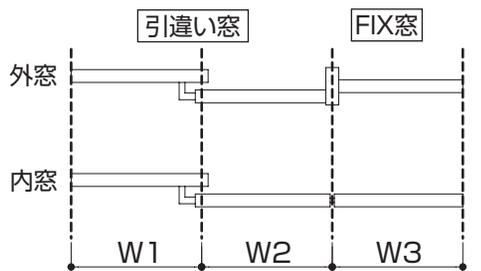
商品概要

事前確認

現場調査

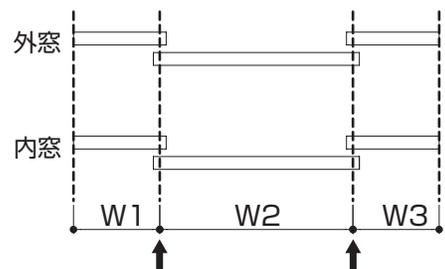
その他

対応例 例1：引違い窓+FIX連窓



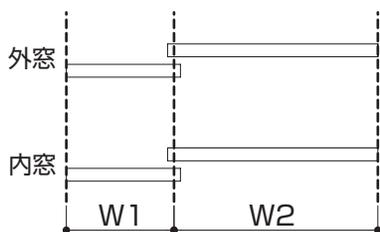
外窓の召合せの中心、方立の中心に内窓のW1、W2、W3の境をあわせる

例2：3枚建(両袖)



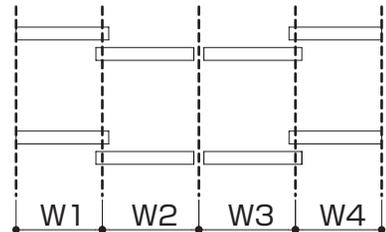
外窓の召合せの中心に内窓のW1、W2、W3の境をあわせる

例3：片引き窓



外窓の召合せの中心に内窓のW1、W2の境をあわせる

例4：引分け窓



外窓の召合せ、突合せの中心に内窓のW1、W2、W3、W4の境をあわせる

各アイテムの注意事項：引違い窓 後付 L 型引手

障子ストッパーの取付

外障子に引手を取付ける場合は、引手と召合せ框での指挟みを防止するため、障子ストッパー(BS-PUH-37オプション品P.46参照)を取付けてください。障子ストッパーは、内障子側の上下と外障子側の上下の計4個取付けてください。



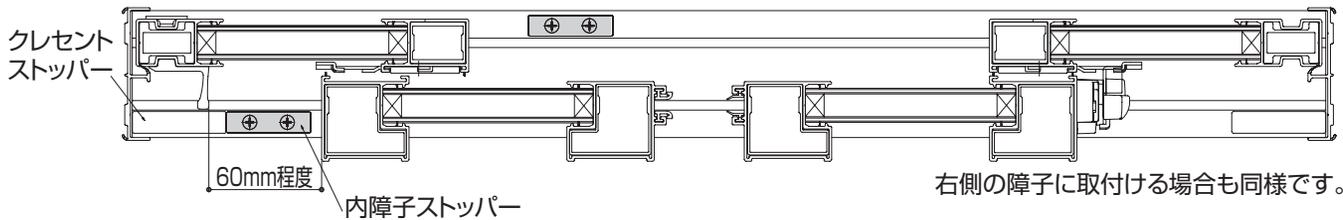
商品概要

<障子ストッパー取付位置>

●内障子ストッパー

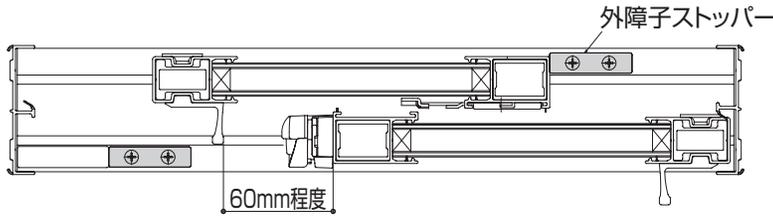
内障子ストッパーは、閉じた状態の外障子側引手と内障子召合せ框の間隔が60mm程度となるように取付けてください。

- ・クレセントストッパーは、窓タイプの場合は上枠にのみ、テラスタイプの場合は上下枠両方に取付けられています。

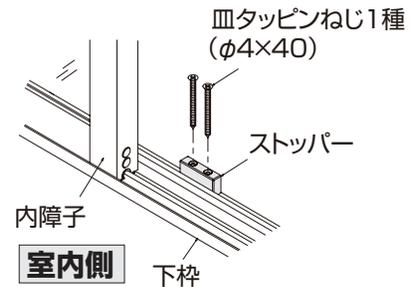


●外障子ストッパー

外障子ストッパーは、閉じた状態の内障子召合せ框と外障子側引手の間隔が60mm程度となるように取付けてください。



外障子下部ストッパー取付イメージ



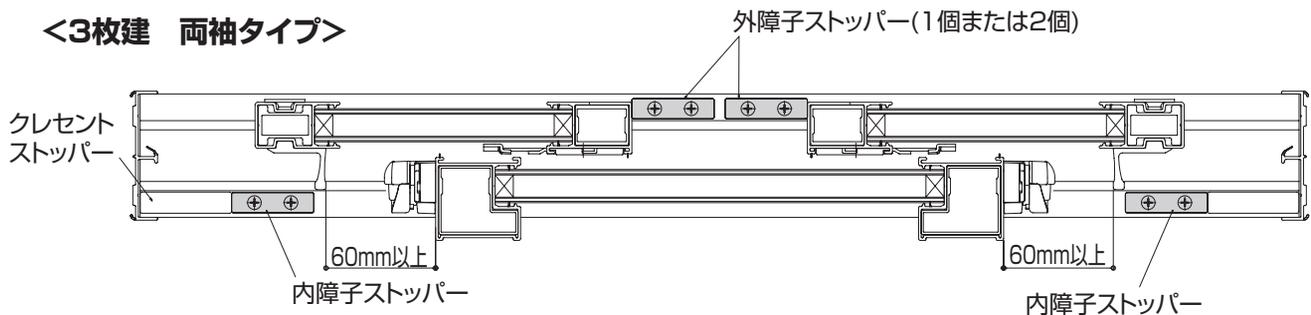
- ・偏芯2枚建や3枚建の一部では、上記の間隔になる前に障子が止まるため、障子ストッパーが不要になる場合があります。
- ・3枚建両袖タイプ、偏芯4枚建では、閉じた状態の内障子召合せ框と外障子側引手の間隔が60mm以上となるように取付けてください。

事前確認

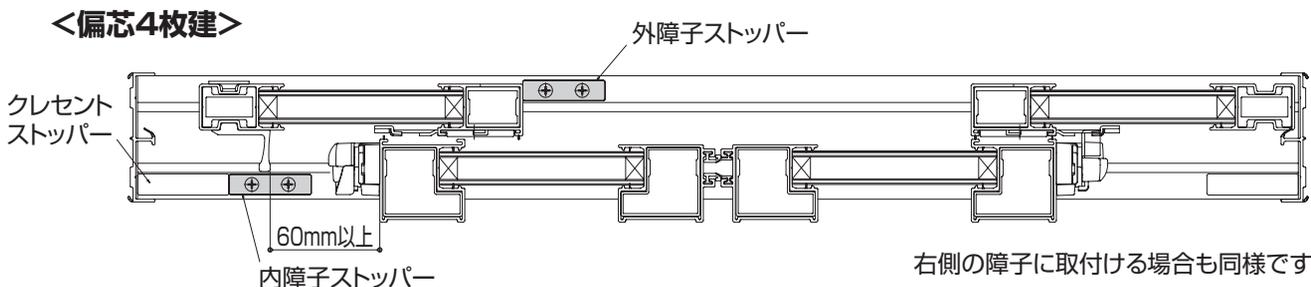
現場調査

その他

<3枚建 両袖タイプ>



<偏芯4枚建>



各アイテムの注意事項：連窓方立 / 連窓方立+ふかし枠

商品概要

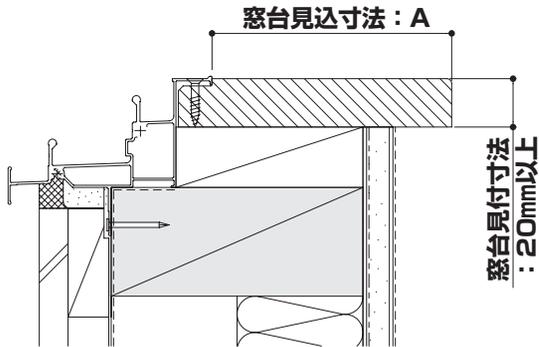
事前確認

現場調査

その他

取付条件

■窓台見込寸法：Aの確認



- 100 ≤ A → ふかし枠不要
 - 55 ≤ A < 100 → ふかし枠40を使用
 - 25 ≤ A < 55 → ふかし枠70を使用
- ※ふかし枠25は、非対応です。
※ふかし枠と併用する場合は、弊社担当窓口までお問い合わせください。

■窓台見付寸法の確認

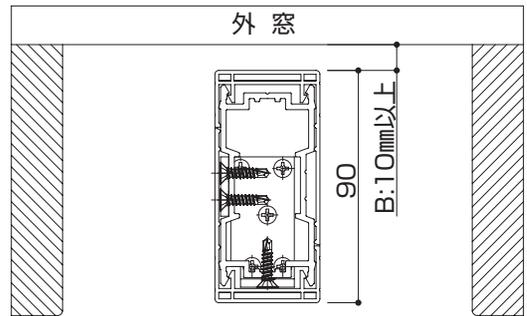
ブラケット取付けのため、20mm以上必要となります。

■B寸法の確認

方立取付の際、B寸法は10mm以上必要となります。

■窓種の確認

内開き窓・開き窓テラスの吊元側を方立側に配置することはできません。

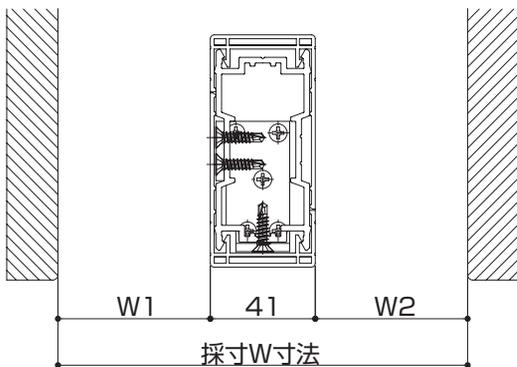


採寸

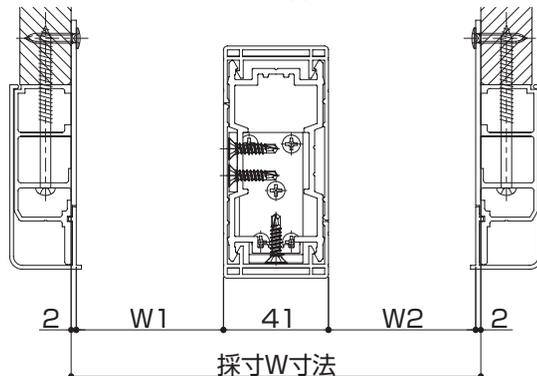
開口寸法の測定 (P.48) の通り採寸を行い、最小を採寸W、採寸H寸法としてください。

割付

<ふかし枠なし・ふかし枠40>



<ふかし枠70>



ふかし枠なし	採寸W寸法=W1+W2+41
ふかし枠40	採寸W寸法=W1+W2+41
ふかし枠70 三方	採寸W寸法=W1+W2+45
ふかし枠70 四方	採寸W寸法=W1+W2+45

となるように割付してください。

お願い

割付の情報は必ず施工者に伝えてください。

54 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：連窓方立 / 連窓方立+ふかし枠

発注寸法

ふかし枠なしの場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
方立左側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=採寸H寸法
方立右側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+41

ふかし枠40の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
方立左側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=採寸H寸法
方立右側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=採寸H寸法
ふかし枠40	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+41

ふかし枠70 三方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法-2
方立左側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=採寸H寸法-2
方立右側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=採寸H寸法-2
ふかし枠70 三方	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+45

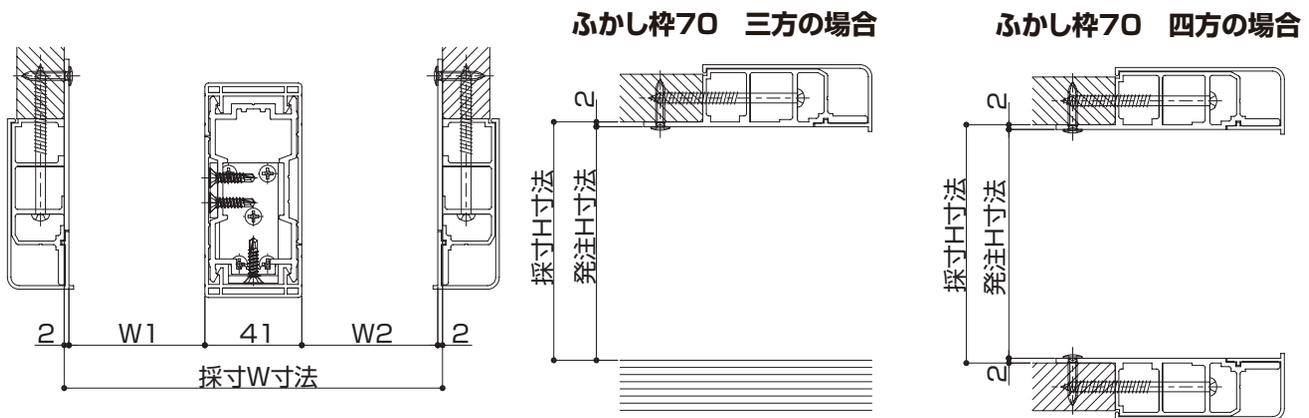
ふかし枠70 四方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法-4
方立左側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=採寸H寸法-4
方立右側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=採寸H寸法-4
ふかし枠70 四方	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+45

注意

ふかし枠70と併用する場合、ふかし枠70の厚み分発注寸法を小さくして手配する必要があります。



ポイント

- 方立・無目用ドリルねじ(オプション品P.15参照)を事前に手配していただくと、現地での下穴加工なしで連窓方立に本体枠を直接取付けすることができます。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「連窓方立」を参照してください。
- ふかし枠を併用する場合は、ふかし枠のコーナー部のすき間や方立の小口をふさぐ必要がありますのでメンテチューブ、調整材、両面テープ(ともにオプション品P.15参照)を事前に手配してください。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「ふかし枠 連窓方立と組み合わせる場合」を参照してください。

各アイテムの注意事項：段窓無目 / 段窓無目+ふかし枠

商品概要

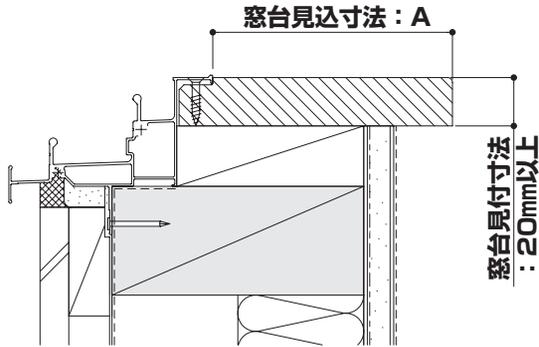
事前確認

現場調査

その他

取付条件

■窓台見込寸法：Aの確認



- 95 ≤ A → ふかし枠不要
- 53 ≤ A < 95 → ふかし枠40を使用
- 25 ≤ A < 53 → ふかし枠70を使用

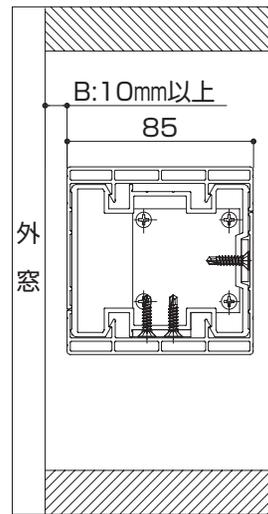
※ふかし枠25は、非対応です。
 ※ふかし枠と併用する場合は、弊社担当窓口までお問い合わせください。

■窓台見付寸法の確認

ブラケット取付けのため、20mm以上必要となります。

■B寸法の確認

無目取付の際、B寸法は10mm以上必要となります。

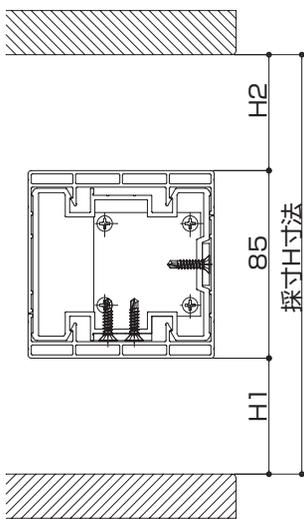


採寸

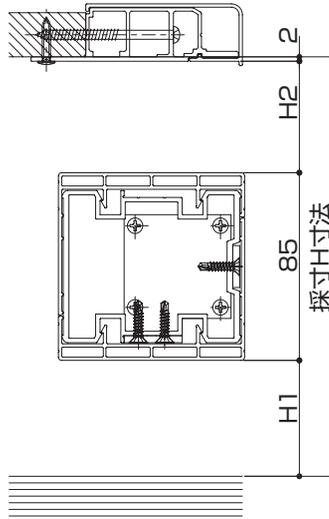
開口寸法の測定 (P.48) の通り採寸を行い、最小を採寸W、採寸H寸法としてください。

割付

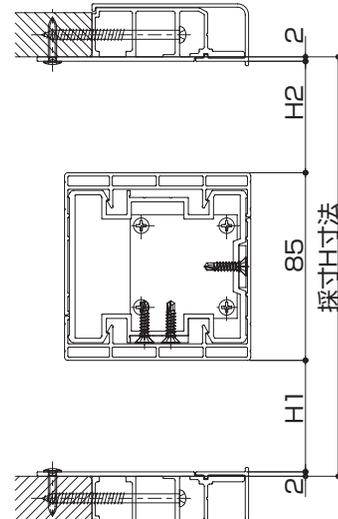
<ふかし枠なし・ふかし枠40>



<ふかし枠70 三方>



<ふかし枠70 四方>



ふかし枠なし	採寸H寸法=H1+H2+85
ふかし枠40	採寸H寸法=H1+H2+85
ふかし枠70 三方	採寸H寸法=H1+H2+87
ふかし枠70 四方	採寸H寸法=H1+H2+89

となるように割付してください。

お願い

割付の情報は必ず施工者に伝えてください。

56 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：段窓無目 / 段窓無目+ふかし枠

発注寸法

ふかし枠なしの場合

	発注W寸法	発注H寸法
段窓無目	発注W寸法=採寸W寸法	—
無目上側窓部	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=H1
無目下側窓部	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=H2

※ 採寸H寸法=H1+H2+85

ふかし枠40の場合

	発注W寸法	発注H寸法
段窓無目	発注W寸法=採寸W寸法	—
無目上側窓部	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=H1
無目下側窓部	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=H2
ふかし枠40	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸H寸法=H1+H2+85

ふかし枠70 三方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
段窓無目	発注W寸法=採寸W寸法-4	—
無目上側窓部	発注W寸法=採寸W寸法-4	発注H寸法=H1
無目下側窓部	発注W寸法=採寸W寸法-4	発注H寸法=H2
ふかし枠70 三方	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸H寸法=H1+H2+87

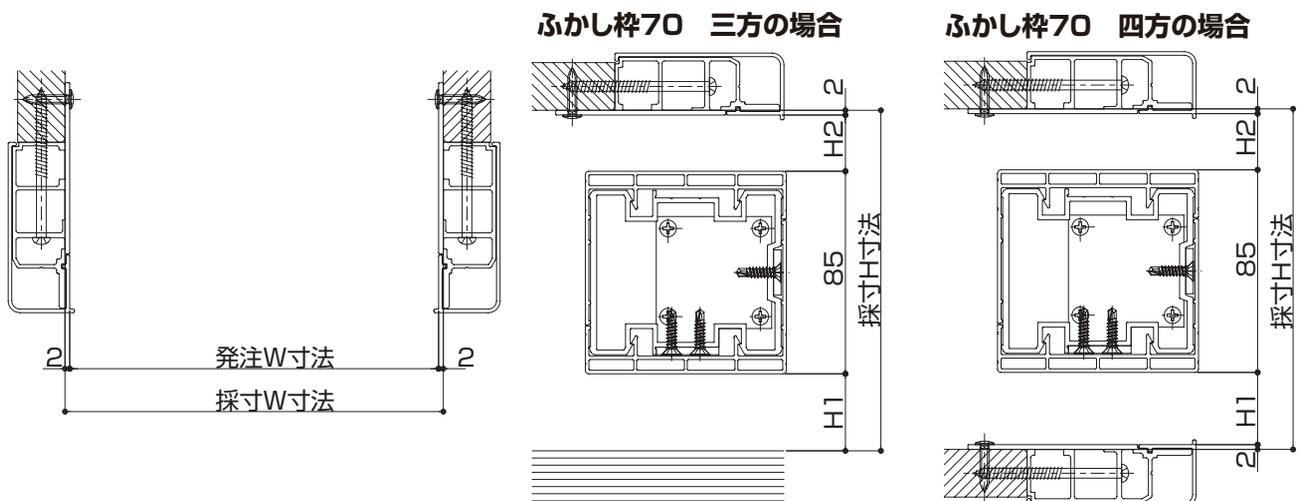
ふかし枠70 四方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
段窓無目	発注W寸法=採寸W寸法-4	—
無目上側窓部	発注W寸法=採寸W寸法-4	発注H寸法=H1
無目下側窓部	発注W寸法=採寸W寸法-4	発注H寸法=H2
ふかし枠70 四方	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸H寸法=H1+H2+89

注意

ふかし枠70と併用する場合、ふかし枠70の厚み分発注寸法を小さくして手配する必要があります。



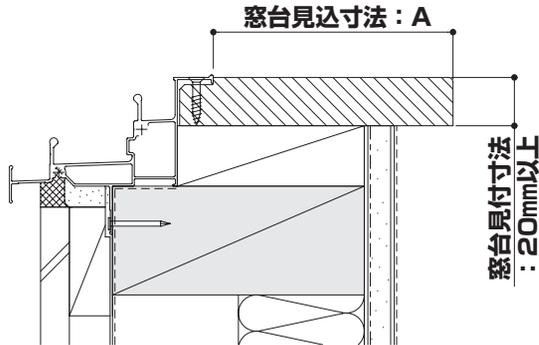
ポイント

- 方立・無目用ドリルねじ(オプション品P.15参照)を事前に手配していただくと、現地での下穴加工なしで段窓無目に本体枠を直接取付することができます。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「段窓無目」を参照してください。
- ふかし枠を併用する場合は、ふかし枠のコーナー部のすき間や方立の小口をふさぐ必要がありますのでメンテチューブ、調整材、両面テープ(ともにオプション品P.15参照)を事前に手配してください。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「ふかし枠 段窓無目と組み合わせる場合」を参照してください。

各アイテムの注意事項：連窓方立＋段窓無目 / 連窓方立＋段窓無目＋ふかし枠

取付条件

■窓台見込寸法：Aの確認



- 100 \leq A → ふかし枠不要
 55 \leq A<100 → ふかし枠40を使用
 25 \leq A<55 → ふかし枠70を使用

※ふかし枠25は、非対応です。

※ふかし枠と併用する場合は、弊社担当窓口までお問い合わせください。

■窓台見付寸法の確認

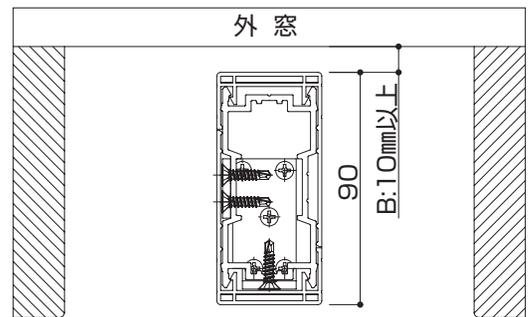
ブラケット取付けのため、20mm以上必要となります。

■B寸法の確認

方立取付の際、B寸法は10mm以上必要となります。

■窓種の確認

内開き窓・開き窓テラスの吊元側を方立側に配置することはできません。



採寸

開口寸法の測定(P.48)の通り採寸を行い、最小を採寸W、採寸H寸法としてください。

58 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：連窓方立+段窓無目 / 連窓方立+段窓無目+ふかし枠

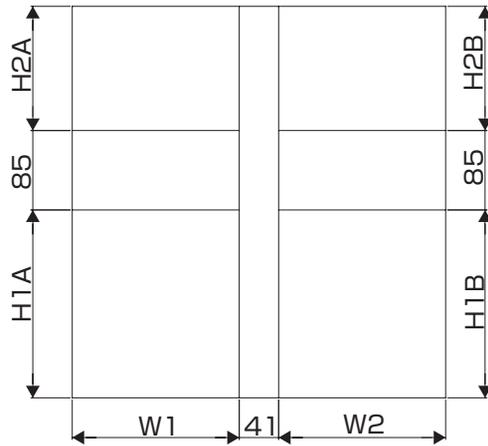
割 付

商品概要

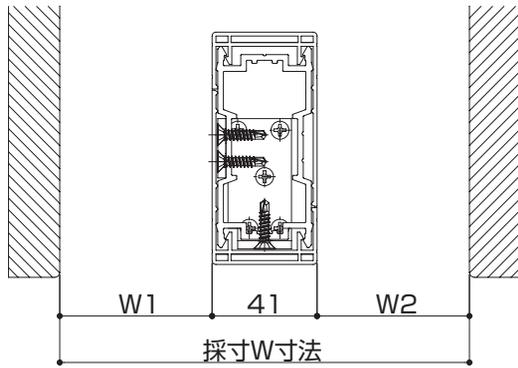
お願い

連段窓にする場合は、必ず方立通しにしてください。

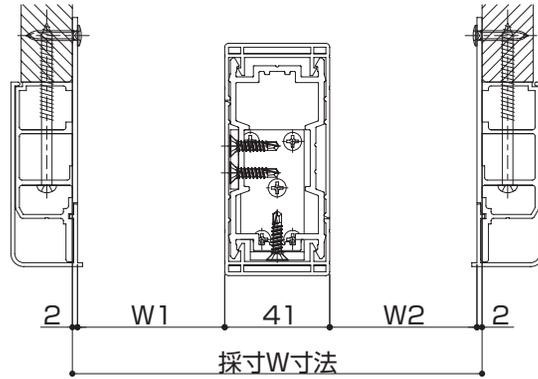
事前確認



<ふかし枠なし・ふかし枠40>

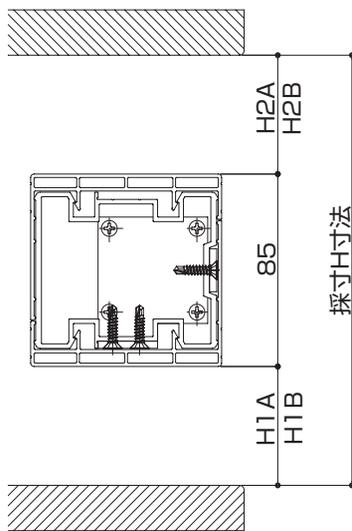


<ふかし枠70>

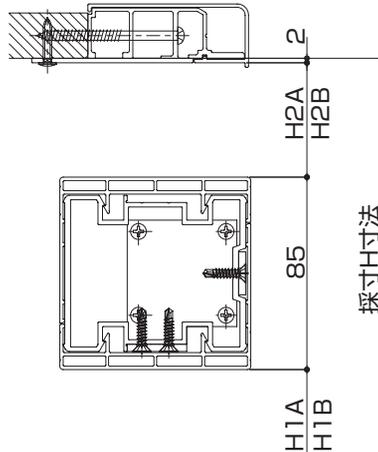


現場調査

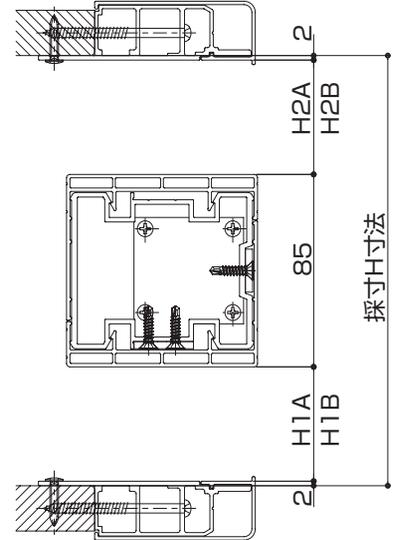
<ふかし枠なし・ふかし枠40>



<ふかし枠70 三方>



<ふかし枠70 四方>



その他

ふかし枠なし	採寸W寸法=W1+W2+41	採寸H寸法=H1A+H2A+85	採寸H寸法=H1B+H2B+85
ふかし枠40	採寸W寸法=W1+W2+41	採寸H寸法=H1A+H2A+85	採寸H寸法=H1B+H2B+85
ふかし枠70 三方	採寸W寸法=W1+W2+45	採寸H寸法=H1A+H2A+87	採寸H寸法=H1B+H2B+87
ふかし枠70 四方	採寸W寸法=W1+W2+45	採寸H寸法=H1A+H2A+89	採寸H寸法=H1B+H2B+89

となるように割付してください。

お願い

割付の情報は必ず施工者に伝えてください。

各アイテムの注意事項：連窓方立+段窓無目 / 連窓方立+段窓無目+ふかし枠

発注寸法

ふかし枠なしの場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
左段窓無目	発注W寸法=W1	—
右段窓無目	発注W寸法=W2	—
方立左側無目下側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H1A
方立左側無目上側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H2A
方立右側無目下側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H1B
方立右側無目上側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H2B

※ 採寸W寸法=W1+W2+41

※ 採寸H寸法=H1A+H2A+85

※ 採寸H寸法=H1B+H2B+85

ふかし枠40の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
左段窓無目	発注W寸法=W1	—
右段窓無目	発注W寸法=W2	—
方立左側無目下側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H1A
方立左側無目上側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H2A
方立右側無目下側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H1B
方立右側無目上側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H2B
ふかし枠40	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+41

※ 採寸H寸法=H1A+H2A+85

※ 採寸H寸法=H1B+H2B+85

ふかし枠70 三方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
左段窓無目	発注W寸法=W1	—
右段窓無目	発注W寸法=W2	—
方立左側無目下側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H1A
方立左側無目上側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H2A
方立右側無目下側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H1B
方立右側無目上側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H2B
ふかし枠40	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+45

※ 採寸H寸法=H1A+H2A+87

※ 採寸H寸法=H1B+H2B+87

ふかし枠70 四方の場合

	発注W寸法	発注H寸法
連窓方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
左段窓無目	発注W寸法=W1	—
右段窓無目	発注W寸法=W2	—
方立左側無目下側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H1A
方立左側無目上側窓部	発注W寸法=W1	発注H寸法=H2A
方立右側無目下側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H1B
方立右側無目上側窓部	発注W寸法=W2	発注H寸法=H2B
ふかし枠40	発注W寸法=採寸W寸法	発注H寸法=採寸H寸法

※ 採寸W寸法=W1+W2+45

※ 採寸H寸法=H1A+H2A+89

※ 採寸H寸法=H1B+H2B+89

60 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：連窓方立+段窓無目 / 連窓方立+段窓無目+ふかし枠

商品概要

事前確認

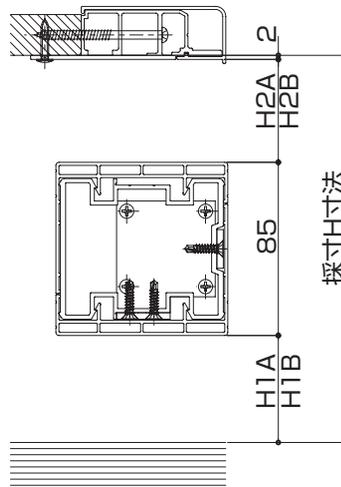
現場調査

その他

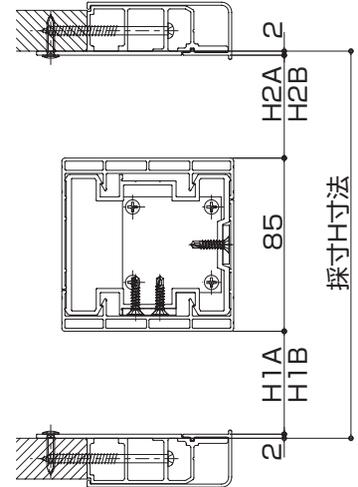
注意

ふかし枠70と併用する場合、ふかし枠70の厚み分発注寸法を小さくして手配する必要があります。

<ふかし枠三方>



<ふかし枠四方>



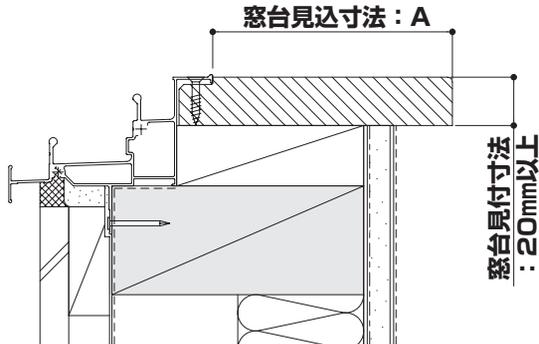
ポイント

- 方立・無目用ドリルねじ(オプション品P.15参照)を事前に手配していただくと、現地での下穴加工なしで連窓方立や段窓無目に本体枠を直接取付することができます。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「連窓方立+段窓無目」を参照してください。
- ふかし枠を併用する場合は、ふかし枠のコーナー部のすき間や方立の小口をふさぐ必要がありますのでメンテチューブ、調整材、両面テープ(ともにオプション品P.15参照)を事前に手配してください。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「ふかし枠 連窓方立+段窓無目と組み合わせる場合」を参照してください。

各アイテムの注意事項：コーナー方立 / コーナー方立+ふかし枠

取付条件

■窓台見込寸法：Aの確認



- 132 ≤ A → ふかし枠不要
- 92 ≤ A < 132 → ふかし枠40を使用
- 62 ≤ A < 92 → ふかし枠70を使用
- ※ふかし枠25は、非対応です。
- ※ふかし枠と併用する場合は、弊社担当窓口までお問い合わせください。

■窓台見付寸法の確認

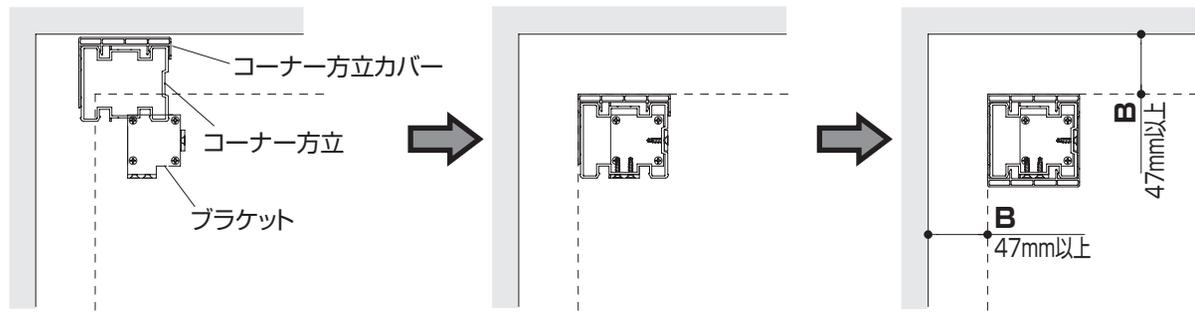
ブラケット取付けのため、20mm以上必要となります。

■B寸法の確認

コーナー方立取付の際、B寸法は47mm以上必要となります。

内窓コーナー方立必要寸法

コーナー方立を以下のように取付けるので、B寸法は47mm以上必要となります。



■窓種の確認

内開き窓・開き窓テラスの吊元側を方立側に配置することはできません。

■組み合わせ窓種の確認

○：対応可能組合せ
×：対応不可組合せ

	引違い	F I X	内開き	開き窓 テラス
引違い	○	○	○	○
F I X	○	○	×	×
内開き	○	×	×	×
開き窓 テラス	○	×	×	×

商品概要

事前確認

現場調査

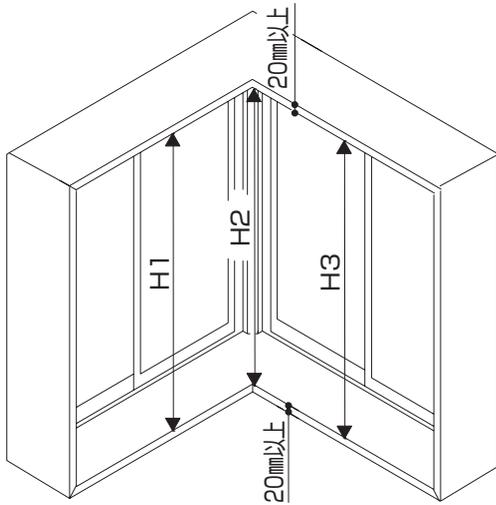
その他

62 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

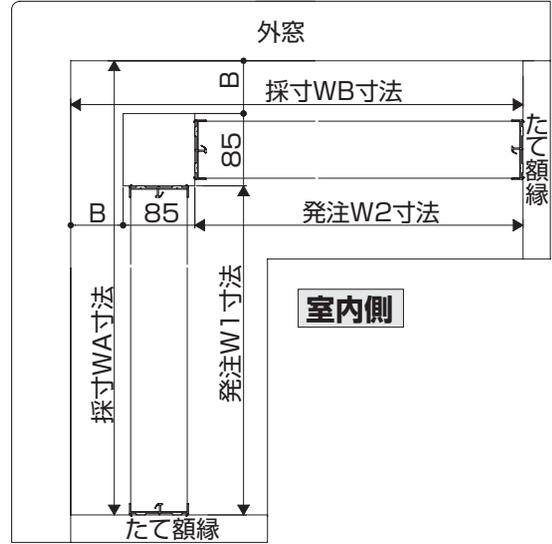
各アイテムの注意事項：コーナー方立 / コーナー方立+ふかし枠

採寸

ふかし枠なしの場合



室外側



室内側

H1～H3を採寸し、最小寸法を採寸H寸法としてください。

WA、WB寸法を最低3箇所測定し、最小寸法を採寸WA、WB寸法としてください。

発注寸法

ふかし枠なしの場合

	発注W寸法	発注H寸法
コーナー方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
方立左側窓部	発注W1寸法=採寸WA寸法-85-B	発注H寸法=採寸H寸法
方立右側窓部	発注W2寸法=採寸WB寸法-85-B	発注H寸法=採寸H寸法

商品概要

事前確認

現場調査

その他

各アイテムの注意事項：コーナー方立 / コーナー方立+ふかし枠

商品概要

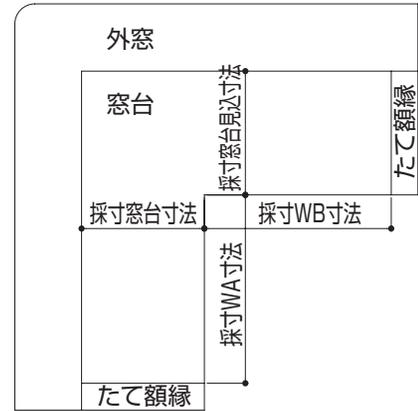
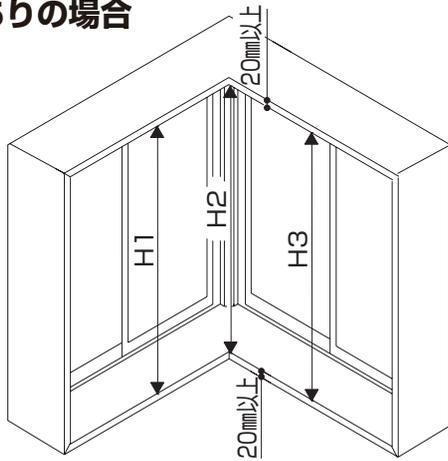
事前確認

現場調査

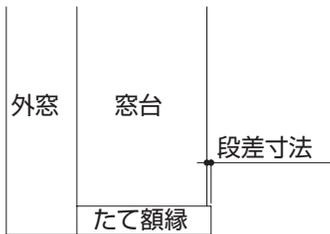
その他

採寸

ふかし枠ありの場合



額縁がたて勝ちになっている場合



たて額縁と窓台の段差寸法を採寸してください。

たて勝ちになっている時の窓台寸法、WA、WBは、

- 窓台寸法=採寸窓台寸法+段差寸法
- WA寸法=採寸WA-段差寸法
- WB寸法=採寸WB-段差寸法

H1～H3を採寸し、最小を採寸H寸法としてください。

WA、WB寸法を最低3箇所測定し、最小を採寸WA、WB寸法としてください。

発注寸法

ふかし枠40の場合

	発注W寸法	発注H寸法
コーナー方立	—	発注H寸法=採寸H寸法
方立左側窓部	発注W1寸法=採寸WA寸法-40	発注H寸法=採寸H寸法
方立右側窓部	発注W2寸法=採寸WB寸法-40	発注H寸法=採寸H寸法
コーナー突合せふかし枠40	発注W1寸法=採寸WA寸法-40	発注H寸法=採寸H寸法
	発注W2寸法=採寸WB寸法-40	

ふかし枠70の場合

	発注W寸法	発注H寸法
コーナー方立	—	発注H寸法=採寸H寸法-4
方立左側窓部	発注W1寸法=採寸WA寸法-72	発注H寸法=採寸H寸法-4
方立右側窓部	発注W2寸法=採寸WB寸法-72	発注H寸法=採寸H寸法-4
コーナー突合せふかし枠70	発注W1寸法=採寸WA寸法-70	発注H寸法=採寸H寸法
	発注W2寸法=採寸WB寸法-70	

64 開口寸法の測定・発注寸法の決定（一般納まり）

各アイテムの注意事項：コーナー方立 / コーナー方立+ふかし枠

商品概要

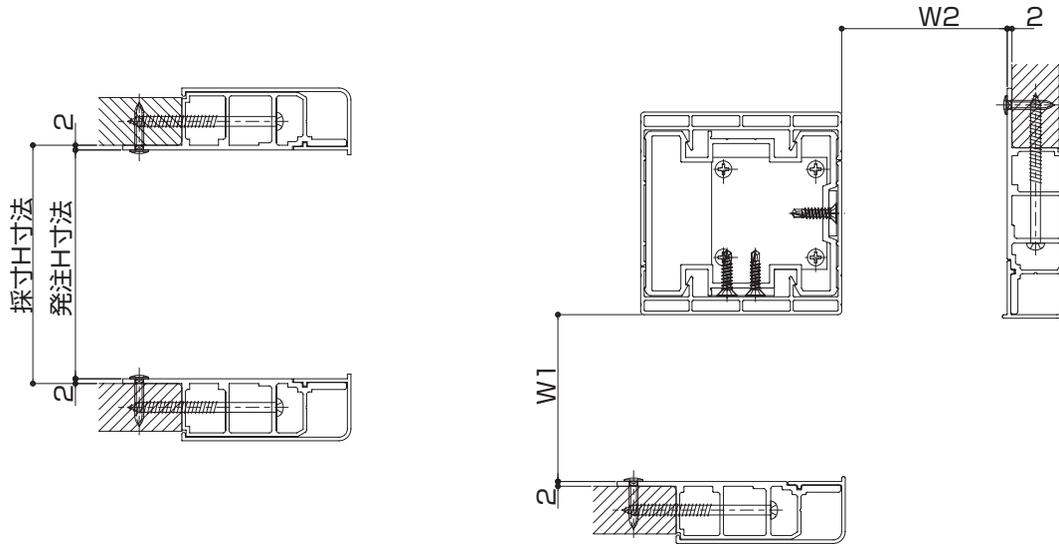
事前確認

現場調査

その他

注意

ふかし枠70と併用する場合、ふかし枠70の厚み分発注寸法を小さくして手配する必要があります。



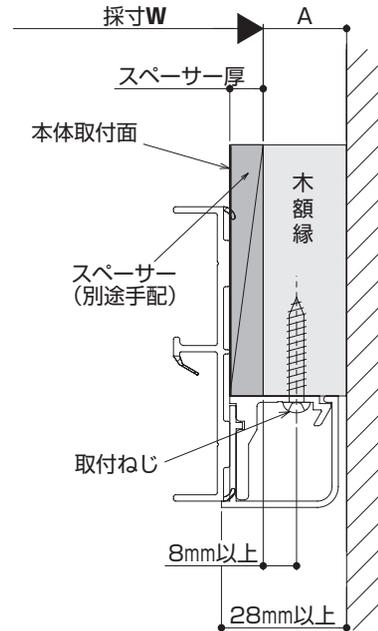
ポイント

方立・無目用ドリルねじ(オプション品P.15参照)を事前に手配していただくと、現地での下穴加工なしでコーナー方立に本体枠を直接取付することができます。
詳細はプラマードUマニュアル【施工・調整編】「コーナー方立」を参照してください。

各アイテムの注意事項：入隅部に取付ける場合

注意

- 入隅部にふかし枠25、40を取付ける場合は、本体取付面から壁面まで28mm以上必要です。入隅部にふかし枠70を取付ける場合は、本体取付面から壁面まで26mm以上必要です。寸法が足りない場合は、スペーサー（別途手配）を入れて本体取付面を調整してください。調整しないと、ふかし枠のカバー材が壁面と干渉して取付けできないおそれがあります。
- 発注時、スペーサー厚を考慮してください。
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサー厚)
- 片側のみにスペーサーを入れた場合、外窓の召合せ部と内窓の召合せ部が位置ずれします。位置ずれを回避する場合は、
 - ・ 左右均等にスペーサーを入れる
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサー厚×2)
 - ・ 内窓に偏芯タイプを採用する
(発注W寸法=採寸W寸法-スペーサー厚)
 のどちらかで回避してください。



商品概要

事前確認

現場調査

その他

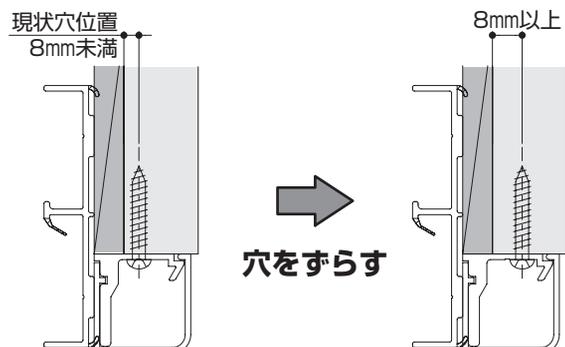
A寸法(木額縁見付寸法)を測定してください。



	ふかし枠25、40	ふかし枠70	取付方法
A寸法	$28 \leq A$	$26 \leq A$	そのまま取付け可能です。
	$24 \leq A < 28$	$24 \leq A < 26$	スペーサーが必要です。
	$20 \leq A < 24$	$20 \leq A < 24$	スペーサーが必要です。 ふかし枠補強材(アルミ)の取付穴をずらす必要があります。

A寸法(木額縁見付寸法) $20 \leq A < 24$ の場合

ふかし枠補強材(アルミ)を取付けるねじ位置は、**木額縁端部より8mm以上離れるように取付けてください。**
8mm未満だと、木額縁が割れるおそれがあります。
8mm未満の場合、穴をずらす必要があるため、下穴加工してねじ留めしてください。



66 開口部の確認 (浴室納まり)

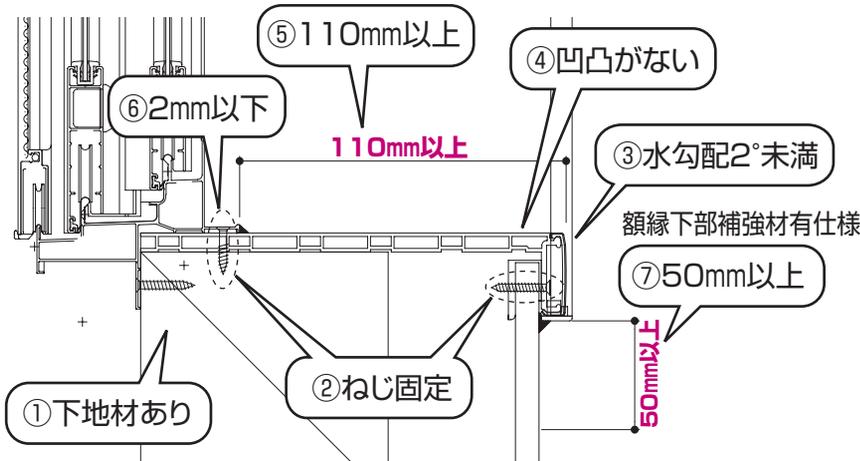
開口部の確認

ユニットバス納まりの場合

下記の①～⑦の項目について確認してください。

No.	項目	項目を満たさない場合
①	下地材があること※1 (外窓がアングル付枠の場合は、下地材がピッチで入ってたり、出入り方向に対して入っていること)	取付けできません。
②	樹脂額縁が2箇所(アングル部、見付面部)でねじ固定されていること	アングル部でのねじ固定が確認できない場合 →取付けできません。 見付面部でのねじ固定が確認できない場合 →額縁下部補強材有仕様を使用してください。
③	下地材の水勾配が2°未満であること	調整材(オプション品P.15参照)で下枠が水平になるように取付けてください。
④	樹脂額縁に凹凸がないこと	取付けできません。
⑤	アングルから額縁先端まで110mm以上あること	取付けできません。
⑥	既設アングル立上がり寸法(樹脂額縁上面から既設アングル立上がり寸法最高点まで)が2mm以下であること	取付けできません。

※1 下地材は下地センサーなどを用いて確認してください。

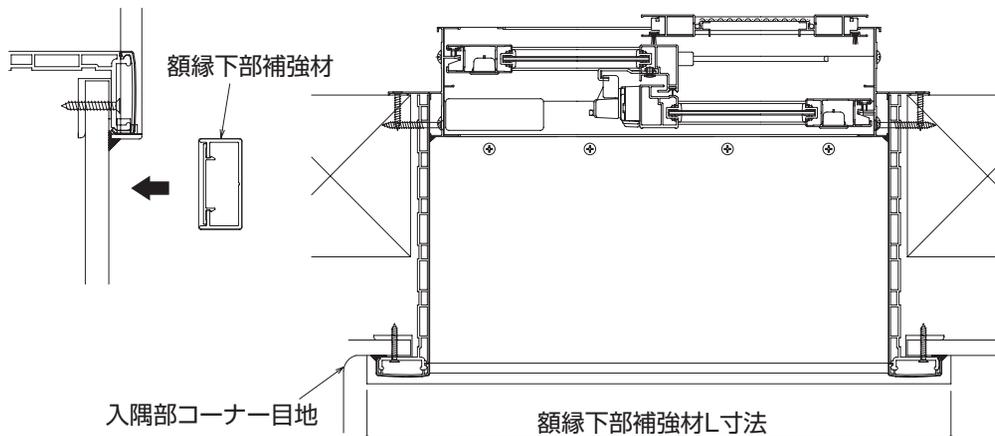


額縁下部補強材有仕様

項目②の樹脂額縁が見付面部でねじ固定されていることが確認できない場合、額縁下部補強材有仕様を使用してください。

補強材が取付可能かどうか下記の⑦について確認してください。

No.	項目	項目を満たさない場合
⑦	下樹脂額縁の下部に50mm以上の空間があること (浴槽や手すりがないこと)	取付けできません。



商品概要

事前確認

現場調査

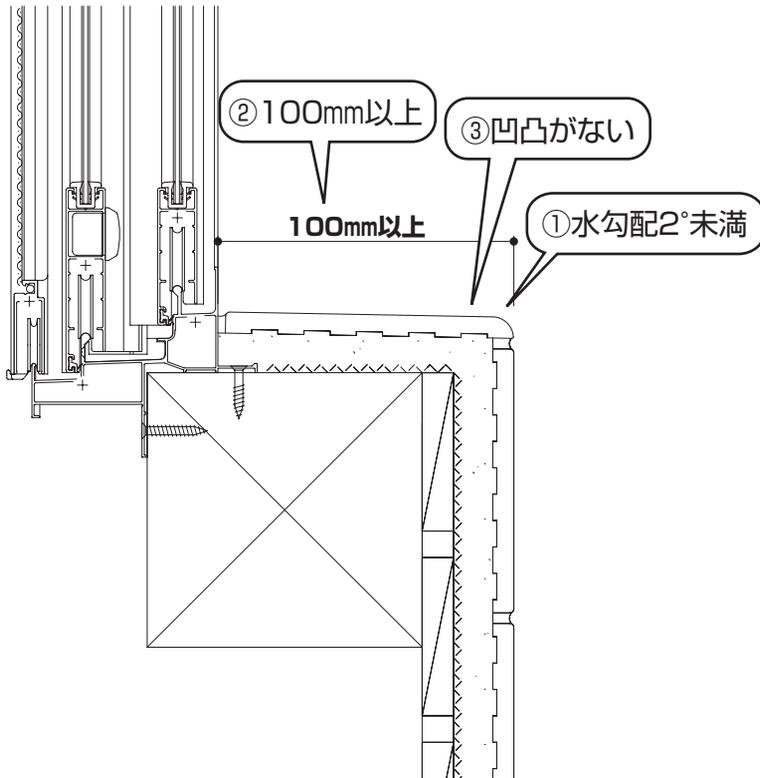
その他

開口部の確認

タイル納まりの場合

下記の①～④の項目について確認してください。

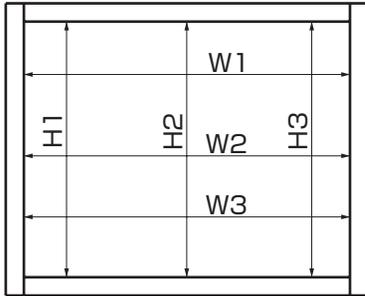
No.	項目	項目を満たさない場合
①	下地材の水勾配が2°未満であること	調整材(オプション品P.15参照)で下枠が水平になるように取付けてください。
②	枠の内面から100mm以上であること	取付けできません。
③	額縁開口部に凹凸がないこと	取付けできません。



開口寸法の測定

H1～H3およびW1～W3の最低3箇所を採寸し、**最小寸法をW、H寸法**としてください。

- H1～H3およびW1～W3の寸法差が3mm以下であることを確認してください。



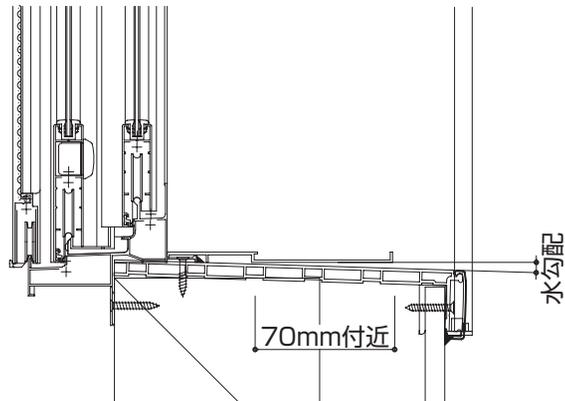
注意

- 採寸ミスがないように2度の測定確認をお願いします。
- メジャー測定やレーザー測定を行ってください。
- 採寸した**最小W、H寸法をそのまま発注**してください。
それより小さい寸法で発注すると、施工後障子がかたつくおそれがあります。

水勾配がある場合の採寸時の注意

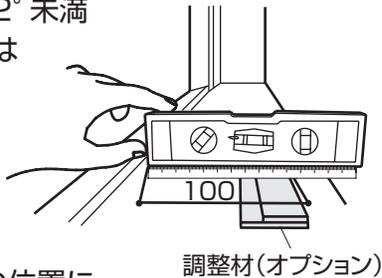
- 水勾配が2°未満 → 内窓を取付ける位置(外窓のアンクルから70mm付近)で採寸してください。
- 水勾配が2°以上 → 下枠調整方法を参照し、下面を水平に調整した開口で採寸してください。

水勾配が2°以上で、下面を調整せずに室内側の開口を採寸した場合、障子が吊込めない可能性があります。



ポイント

約100mmの位置で調整材厚さが3mm以下なら、2°未満なので調整は不要です。



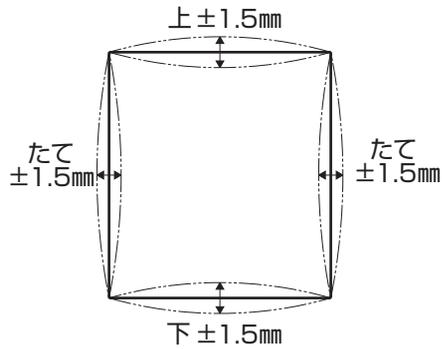
約100mmの位置に調整材を重ねて調整してください。

注意

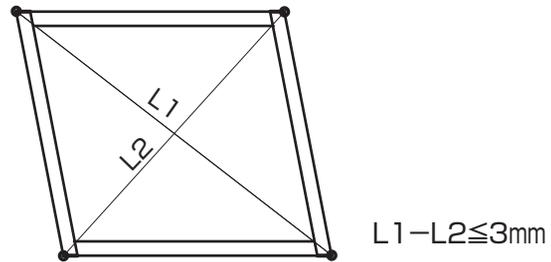
- 調整材を使用する場合、施工時に調整材と下地(窓台)を固定する両面テープを準備してください。
住友スリーエム VHBテープ Y-4922

開口寸法の測定

- 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。

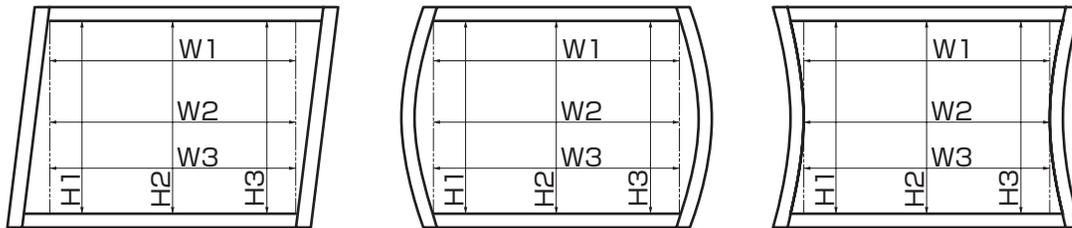


- 枠の対角差が3mm以内であることを確認してください。



注意

開口部の寸法差やたわみ量、対角差が範囲を超えている場合は、下図を参考に採寸し、枠との間に調整材を両面テープ(住友スリーエム VHBテープ Y-4922)で貼付けて調整してください。その際、枠と開口部にできたすき間は、シーリング材(オプション品P.15参照)で塞いでください。



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

その他

	各アイテム操作部品位置	P.72
	開口部の操作方法例	P.74
	干渉確認ツール	P.77
	プラマードU 現場調査シート	P.93

72 各アイテム操作部品位置

クレセント・中棧 標準位置

単位：mm

商品概要

事前確認

現場調査

その他

引違い窓			
開口H	クレセント標準位置	引手位置 テラスサイズ (1401≦H)	中棧位置 テラスサイズ (1401≦H)
250≦H<300	125	-	-
300≦H<400	150		
400≦H<500	200		
500≦H<600	250		
600≦H<700	300		
700≦H<800	350		
800≦H<900	400		
900≦H<1000	450		
1000≦H<1100	500		
1100≦H<1200	550		
1200≦H<1300	600		
1300≦H<1400	650		
1400≦H<1500	700		
1500≦H<1600	750	740	815
1600≦H<1700	800	790	865
1700≦H<1800	850	840	915
1800≦H<1900			
1900≦H<2000			
2000≦H<2100			
2100≦H<2200			
2200≦H<2300			
2300≦H<2400			
2400≦H≦2450			

引違い窓(2枚建)		
開口H	戸先錠標準位置	オーダー可能戸先錠位置
250≦H<300	95	-
300≦H<400	120	95~120
400≦H<500	170	95~170
500≦H<600	220	125~220
600≦H<700	270	175~270
700≦H<800	320	225~320
800≦H<900	370	275~370
900≦H<1000	420	325~420
1000≦H<1100	470	375~470
1100≦H<1200	520	425~520
1200≦H<1300	570	475~570
1300≦H≦1400	620	525~620
1401≦H<1500	670	500~670,775~930
1500≦H<1600	720	535~720,825~1000
1600≦H<1700	770	675~970※
1700≦H<1800	840	600~620,725~1020
1800≦H<1900	840	635~670,775~1070
1900≦H<2000	840	670~720,825~1115
2000≦H<2100	840	700~970,1075~1115※
2100≦H<2200	840	735~1020
2200≦H≦2260	840	755~1070

※H=1600、2000のときは、776~824へのオーダー不可



■オーダー可能クレセント位置 (標準クレセントの場合)

H	オーダー可能クレセント位置
250≦H<1187	122≦B≦H-122
1187≦H<1401	122≦B≦1065
1401≦H≦2450	260≦B≦1126

※中棧付で中棧の位置を指定しない場合は、上記に加えてオーダー可能中棧位置条件②を満たしてください。

■オーダー可能クレセント位置 (ボタン錠付きクレセントの場合)

H	オーダー可能クレセント位置
250≦H<322	取付不可
322≦H<1265	122≦B≦H-200
1265≦H<1401	122≦B≦1065
1401≦H≦2450	260≦B≦1126

※中棧付で中棧の位置を指定しない場合は、上記に加えてオーダー可能中棧位置条件②を満たしてください。

■オーダー可能中棧位置

中棧有りの場合は、上記オーダー可能クレセント・戸先錠位置と、下記条件①②を全て満たしてください。

H	条件① オーダー可能中棧位置
1401≦H<1531	267≦C≦H-164
1531≦H≦2450	267≦C≦1367



H	条件② クレセント・戸先錠と中棧の距離		
	標準クレセントの場合	ボタン錠付きクレセントの場合	戸先錠の場合
1401≦H≦2450	C-B≦65またはB-C≦202	65≦C-B≦114 またはC-B≦175 またはB-C≦202	C-E≦65またはE-C≦202

※B:製品H下部よりクレセント取付中心までの寸法
 ※E:製品H下部より戸先錠取付中心までの寸法
 ※C:製品H下部より中棧取付中心までの寸法

※クレセント位置オーダー時、引手位置はクレセント位置に連動します。
 室内側引手位置=B-10
 室外側引手位置=B-127
 ※戸先錠位置オーダー時、引手位置は戸先錠位置に連動します。
 室外側引手位置=E-117

戸先錠・把手・ハンドル 標準位置

単位：mm

FIX窓	
開口H	ハンドル高さ
200≦H< 205	100
205≦H< 210	105
210≦H< 220	90
220≦H< 300	100
300≦H< 400	150
400≦H< 500	200
500≦H< 600	250
600≦H< 700	300
700≦H< 800	350
800≦H< 900	400
900≦H<1000	450
1000≦H<1100	500
1100≦H<1200	550
1200≦H<1300	600
1300≦H<1400	650
1400≦H<1500	700
1500≦H<1600	750
1600≦H<1700	800
1700≦H<1800	850
1800≦H<1900	
1900≦H<2000	
2000≦H<2100	
2100≦H<2200	
2200≦H<2300	
2300≦H<2400	
2400≦H≦2450	

内開き窓		
H	ハンドル標準位置	オーダー可能ハンドル位置
434≦H<940	H/2	160≦B≦H-160
940≦H≦1560	H/2	H-780≦B≦780

開き窓テラス		
H	ハンドル標準位置	オーダー可能ハンドル位置
1270≦H≦2200	H/2	H-1100≦B≦1100

※B:製品H下部よりハンドル取付中心までの寸法



商品概要

事前確認

現場調査

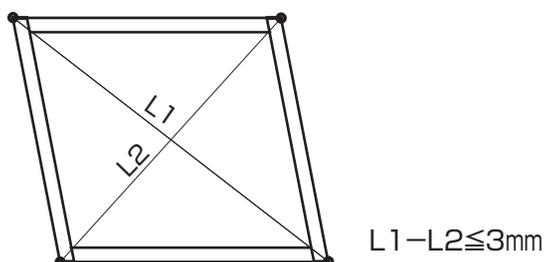
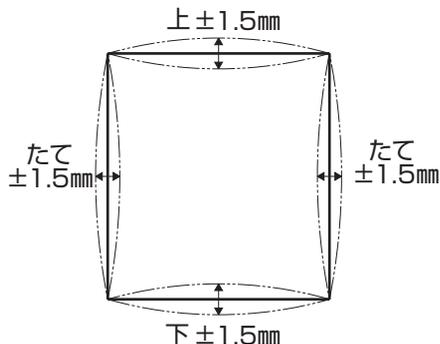
その他

開口部の調整方法例

商品概要

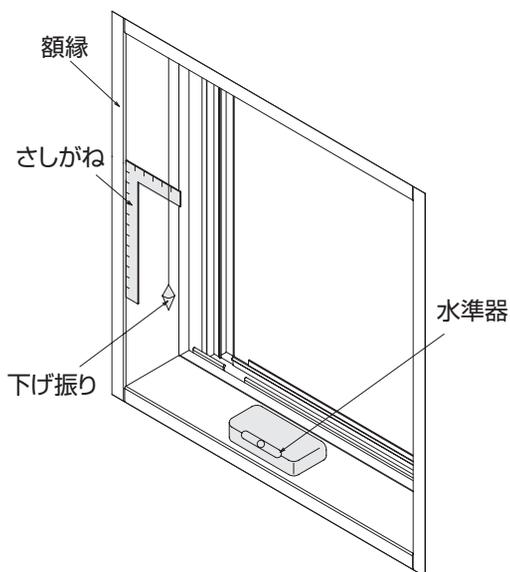
- 施工時にすき間がある場合、シーリング材で塞ぎます。
- 開口部のたわみ量や対角差が限度を超えている場合は、枠との間に調整材、施工調整スペーサー（ともにオプション品P.15参照）を入れて調整します。その際、できたすき間は、シーリング材（オプション品P.15参照）で塞ぎます。

事前確認



1 開口部の確認

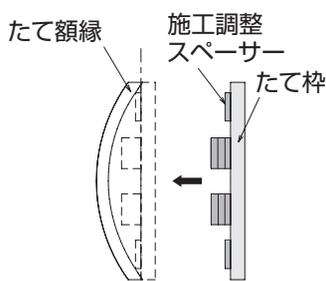
現場調査



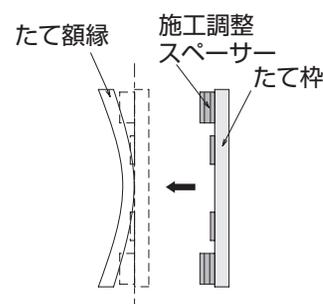
その他

2 施工調整スペーサー（オプション品 P.15参照）の貼付

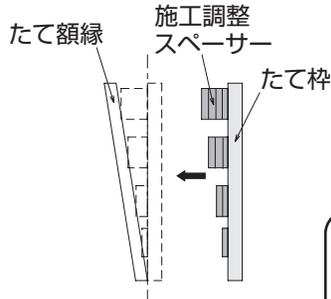
■ソリ（フクレ）の場合



■ソリ（ツツミ）の場合

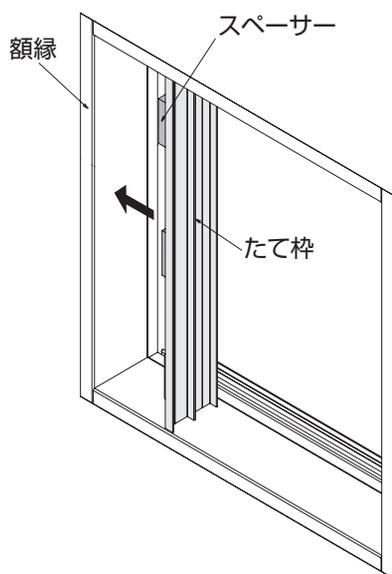


■対角差の場合

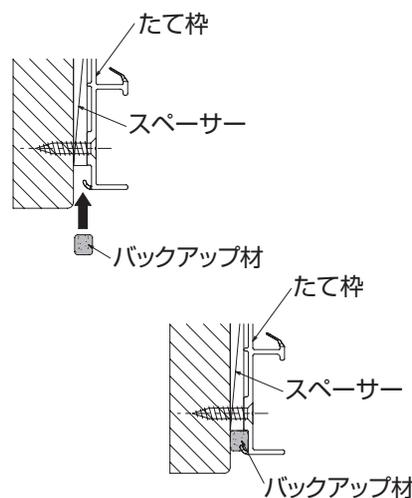
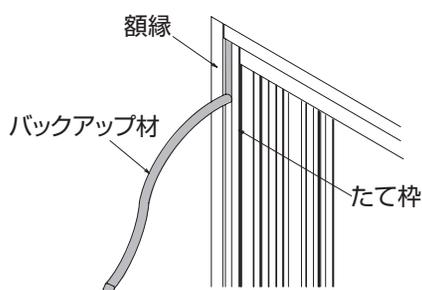


すき間にあわせて
スペーサーの厚み
を調整してください。

3 たて枠の取付



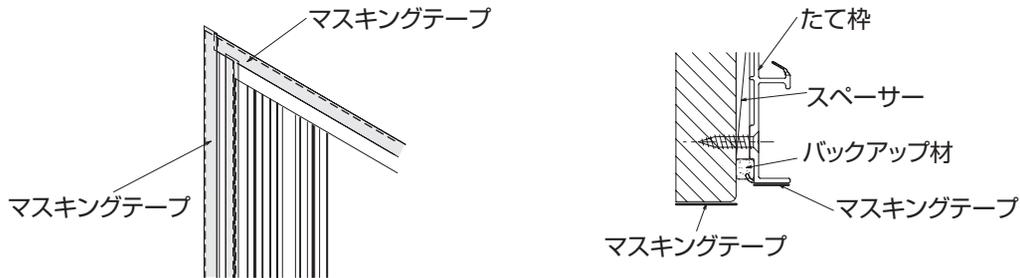
4 バックアップ材の挿入



開口部の調整方法例

⑤ マスキングテープの貼付

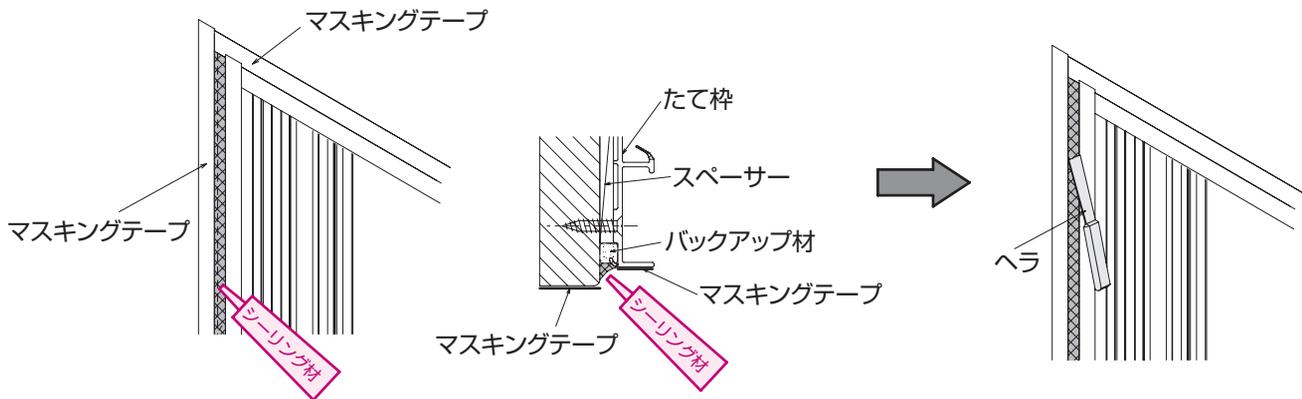
よごれ防止のため、マスキングテープを額縁と枠に貼ってください。



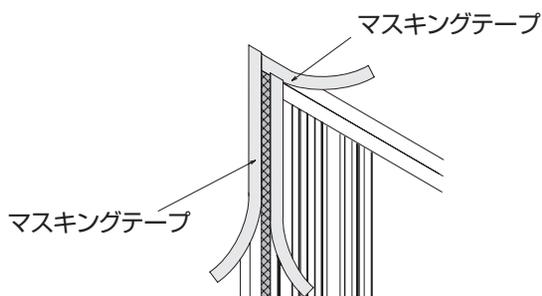
⑥ シーリング

① 額縁と枠のすき間にシーリング材(オプション品 P.15参照)を充てんしてください。

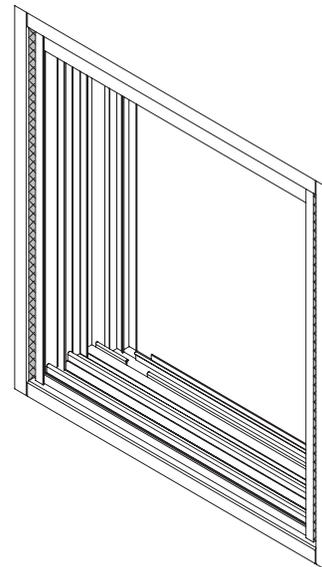
② ヘラで余分なシーリング材を落してください。



⑦ マスキングテープの取外し



⑧ 完了

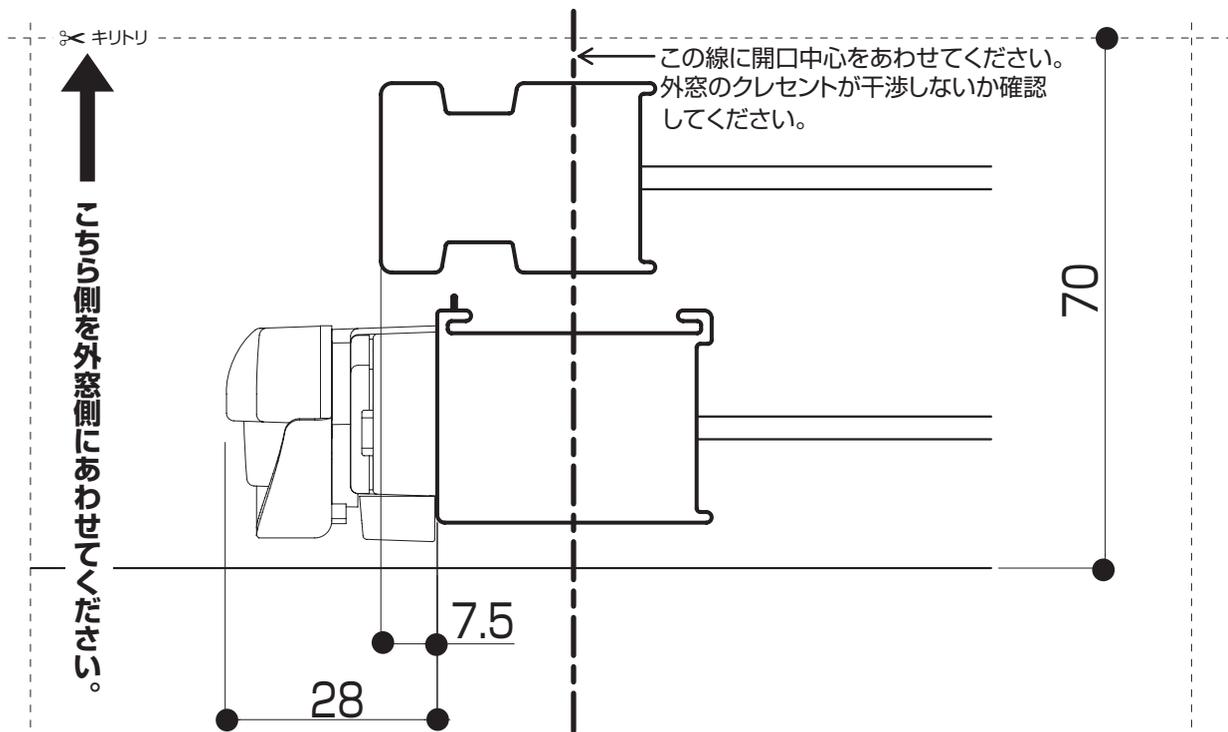


<MEMO>

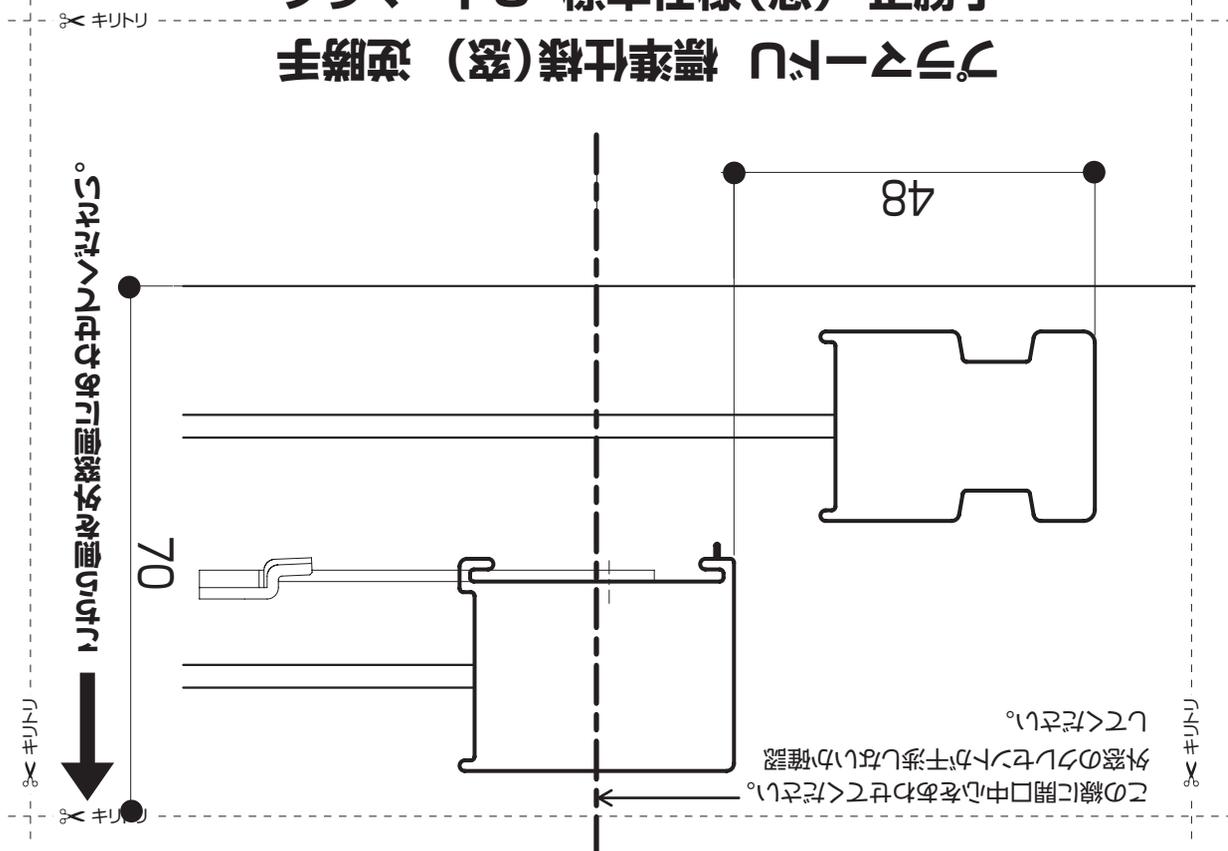
A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

標準仕様（窓タイプ）

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。



プラマードU 標準仕様(窓) 正勝手 手組窓 (窓) 斜付取付用 ノート



商品概要

事前確認

現場調査

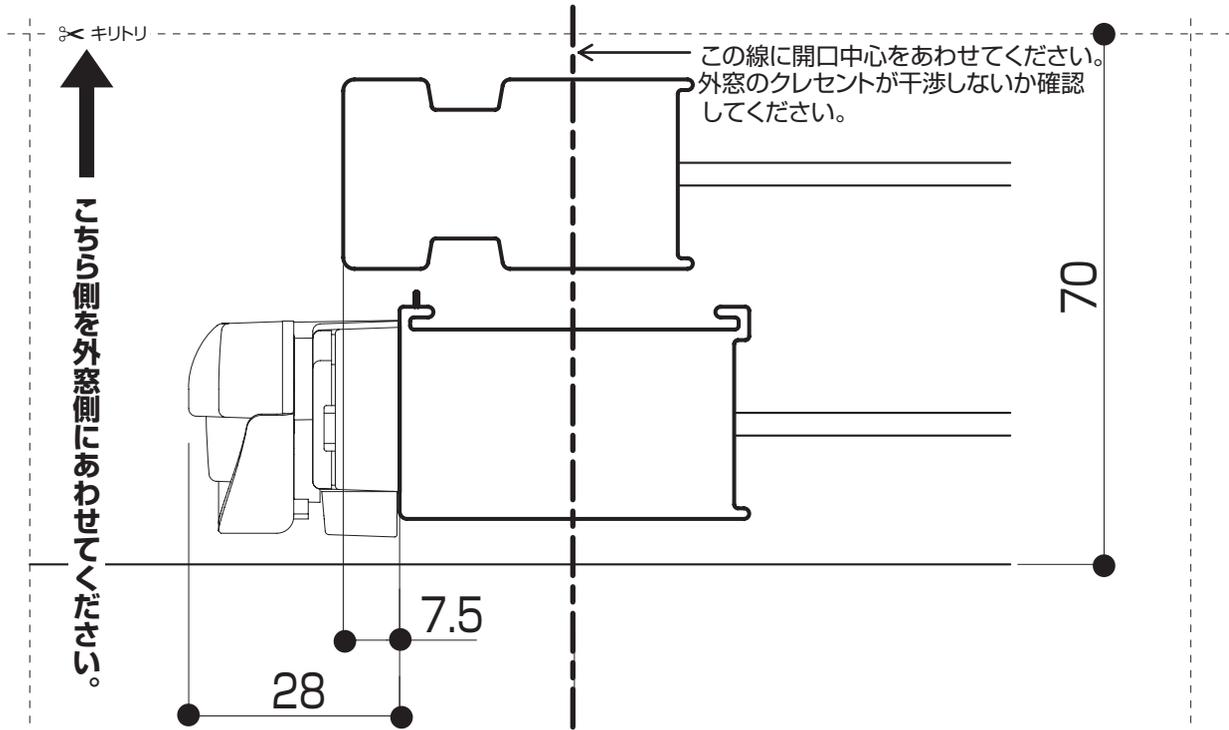
その他

<MEMO>

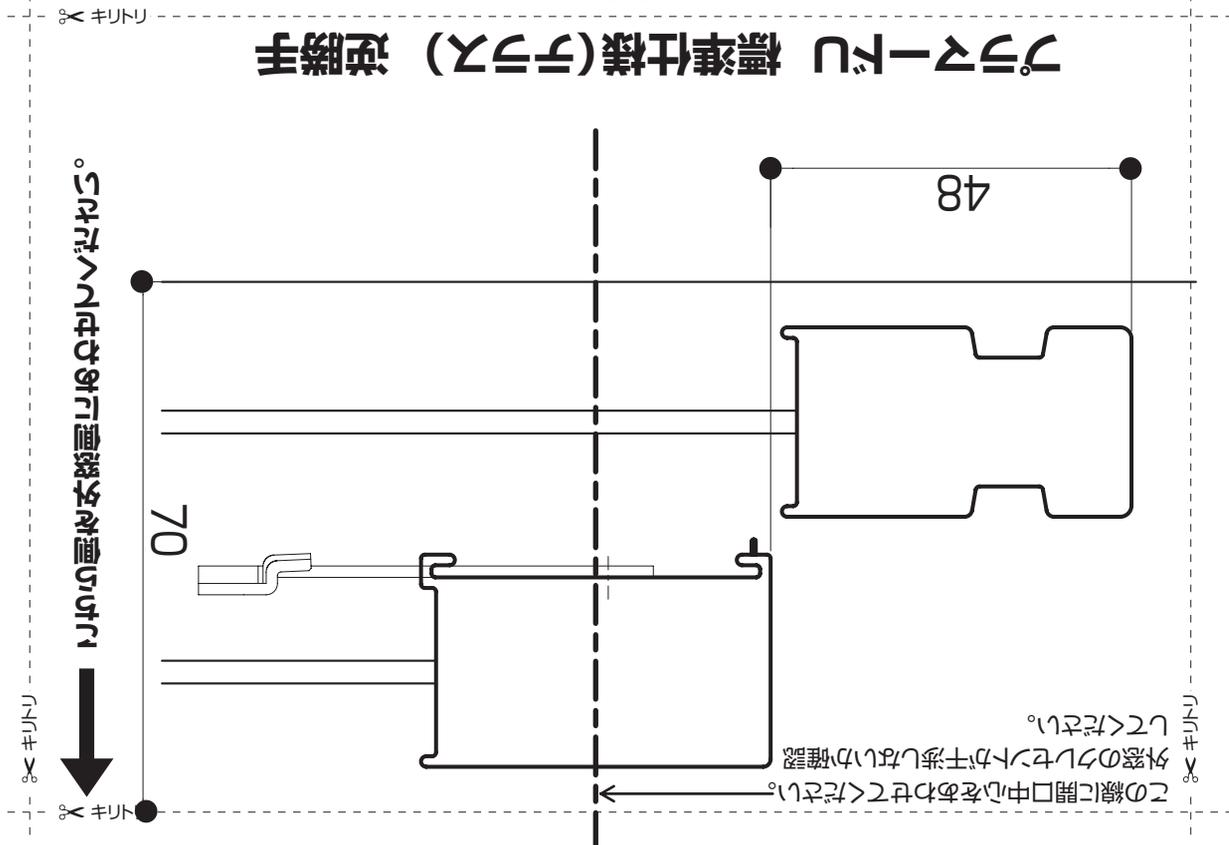
A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

標準仕様 (テラスタイプ)

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。



プラマードU 標準仕様(テラス) 正勝手 プラマードU 標準仕様(テラス) 逆勝手



商品概要

事前確認

現場調査

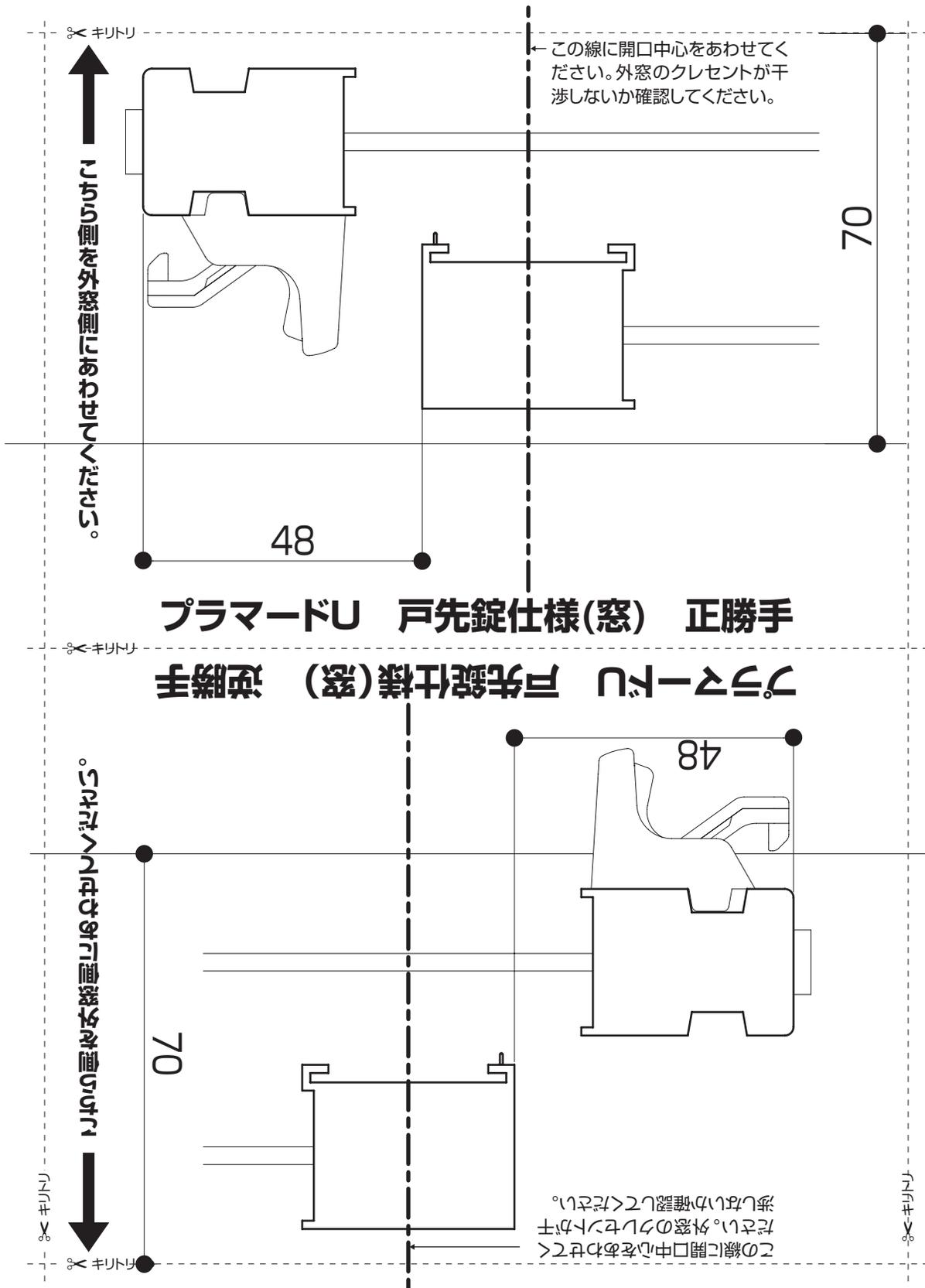
その他

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

戸先錠仕様 (窓タイプ)

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。



商品概要

事前確認

現場調査

その他

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.



戸先錠仕様 (テラス・ランマ通しタイプ)

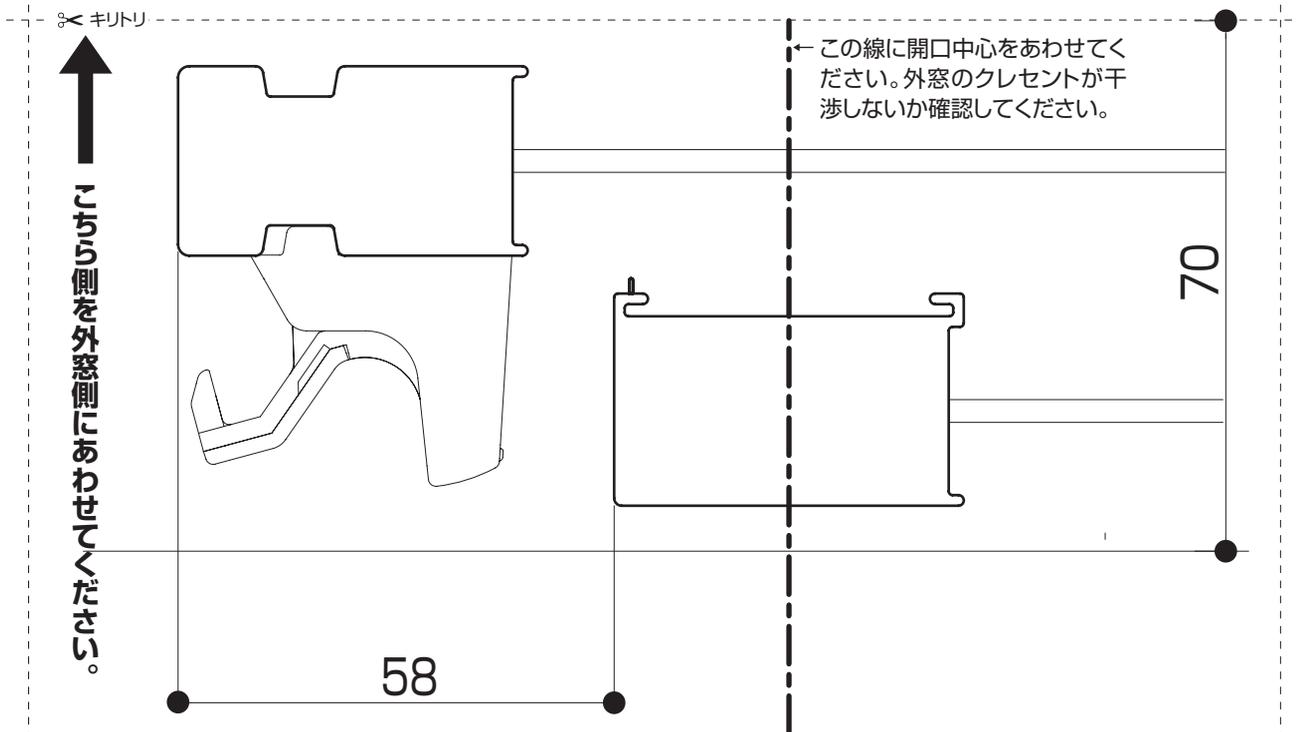
表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。

商品概要

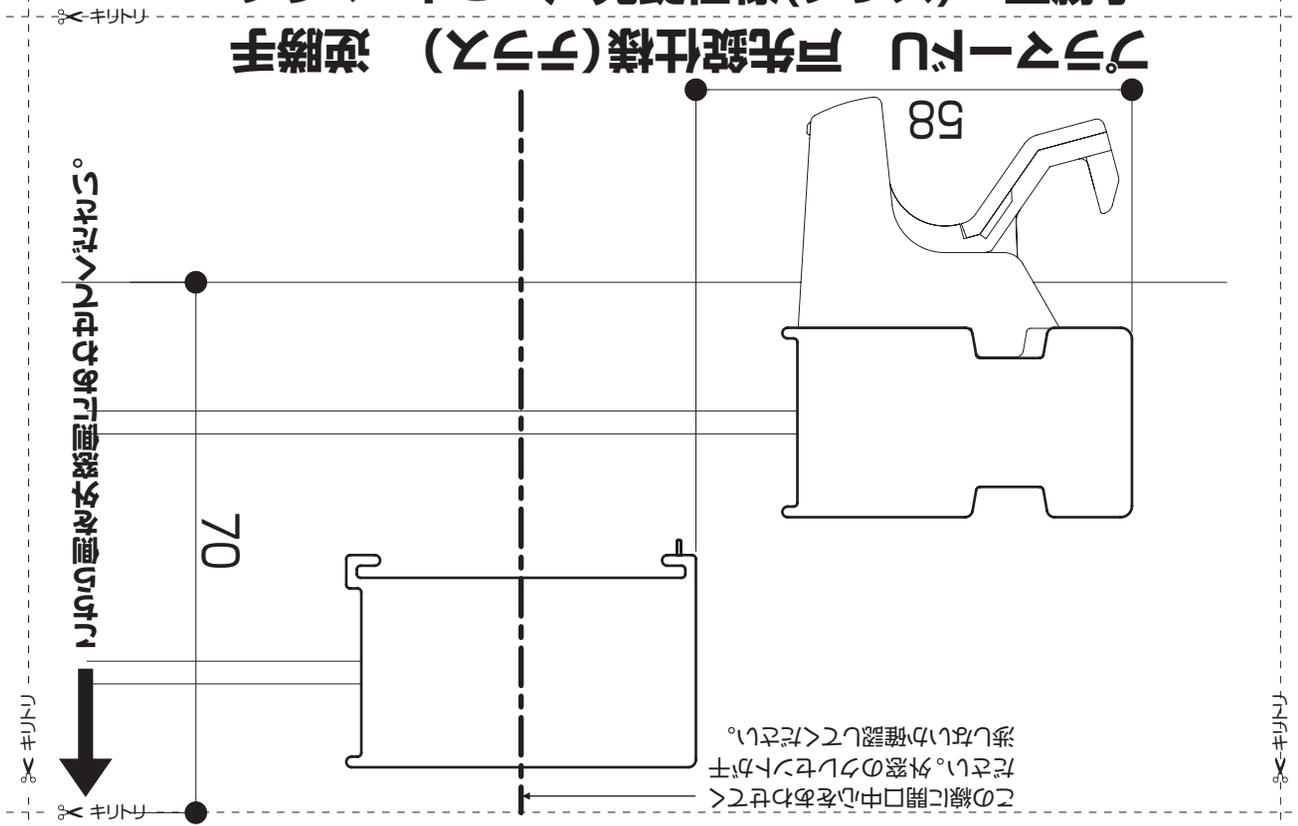
事前確認

現場調査

その他



プラマードU 戸先錠仕様(テラス) 正勝手 プラマードU 戸先錠仕様(テラス) 逆勝手



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

浴室仕様

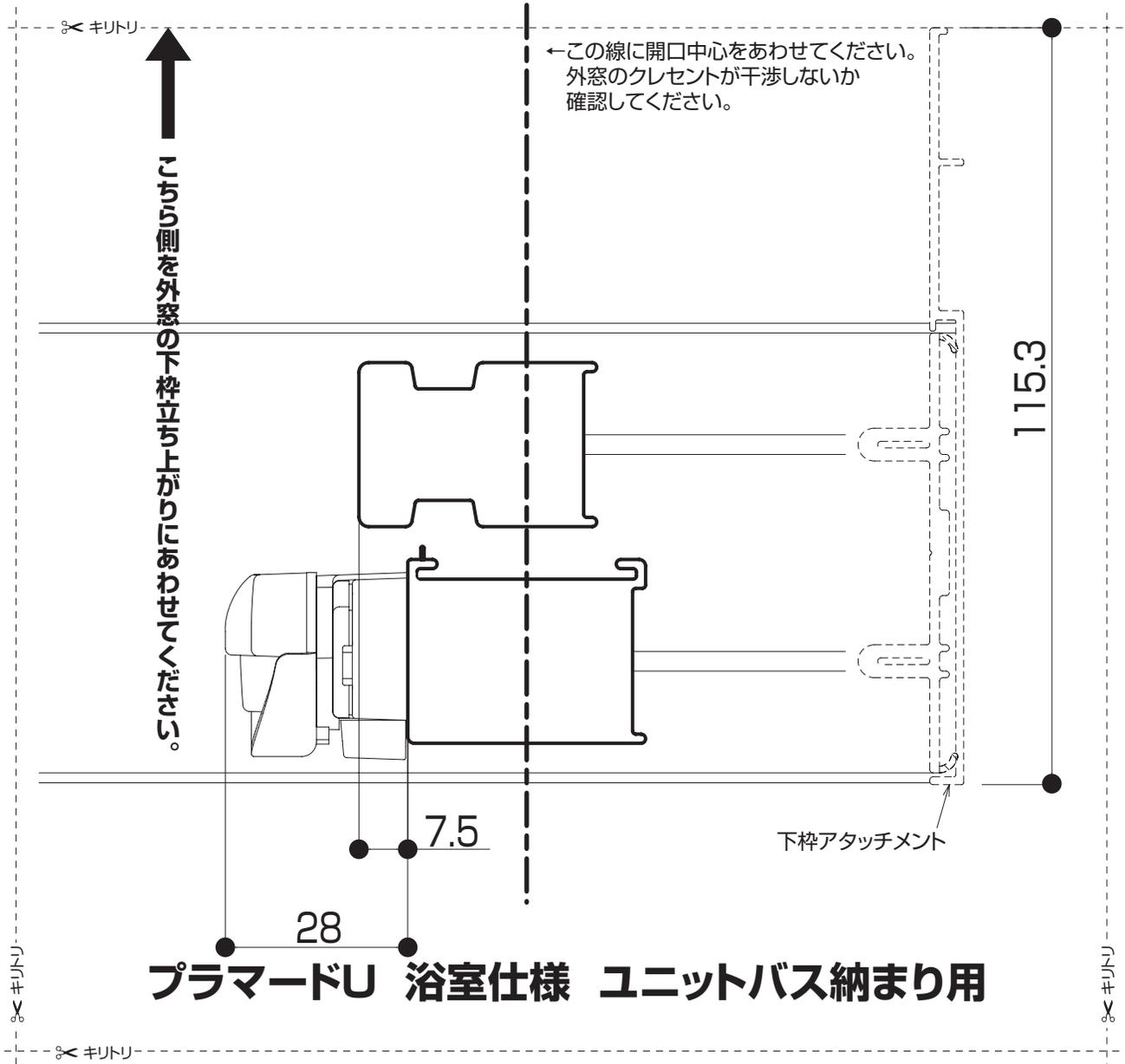
表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。

商品概要

事前確認

現場調査

その他

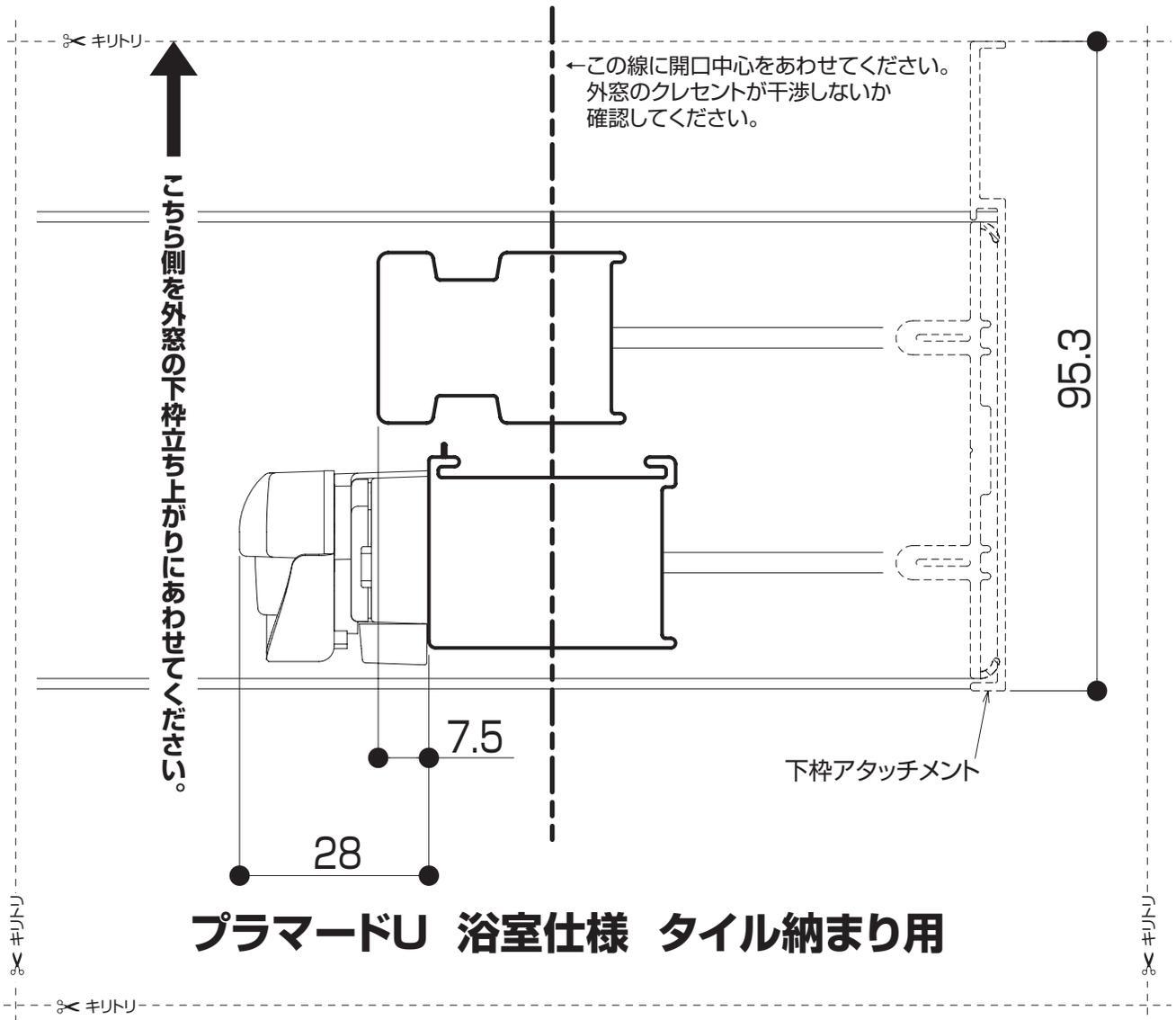


<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

浴室仕様

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。



商品概要

事前確認

現場調査

その他

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

後付L型引手（窓タイプ）

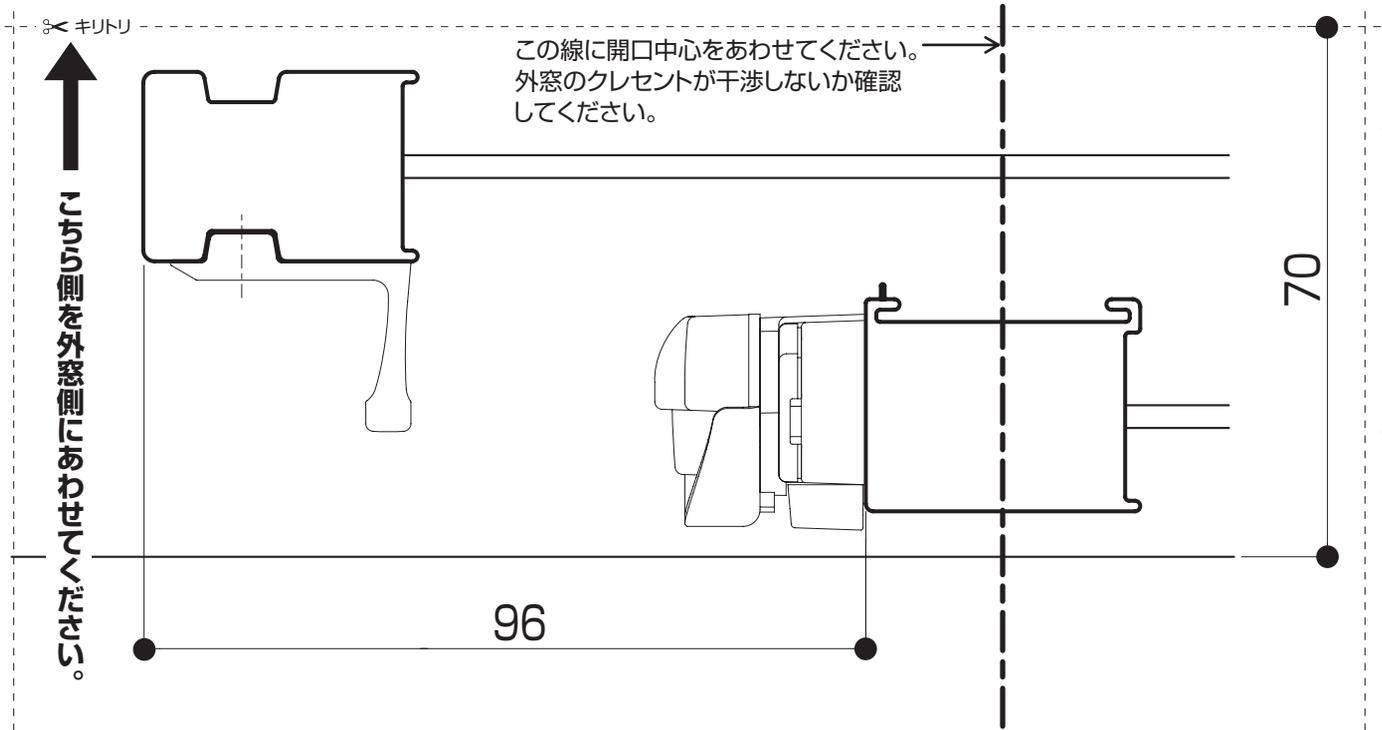
表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。

商品概要

事前確認

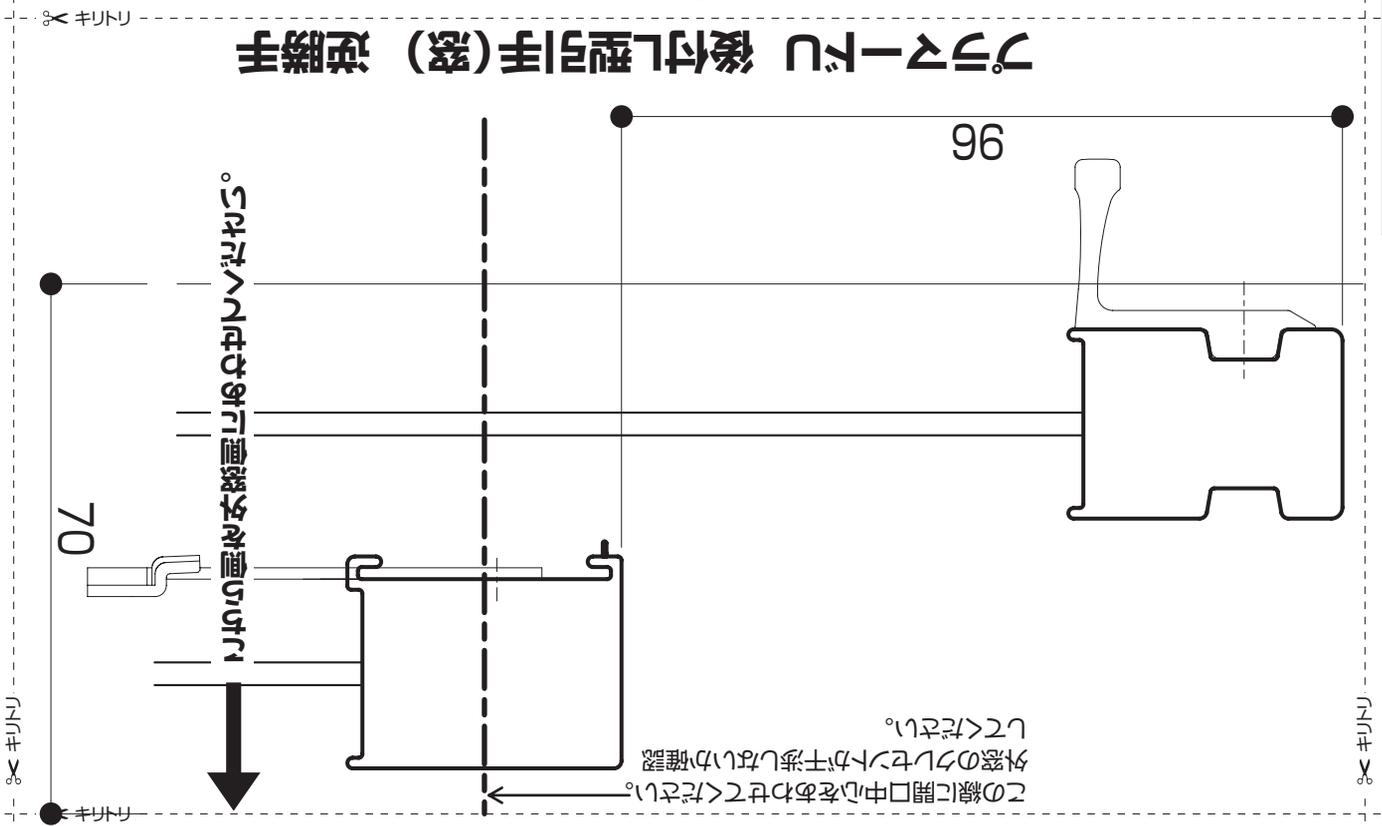
現場調査

その他



プラマードU 後付L型引手(窓) 正勝手

プラマードU 後付L型引手(窓) 逆勝手

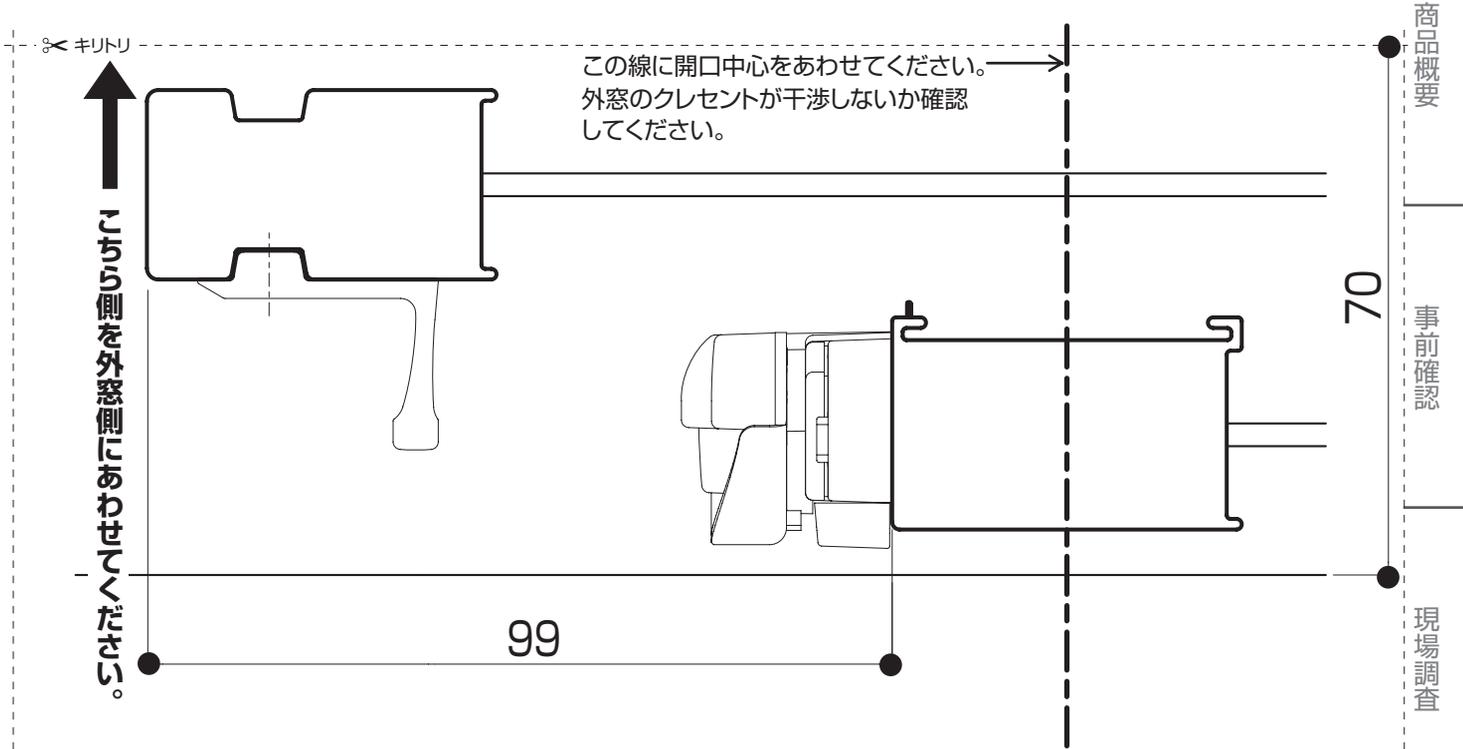


<MEMO>

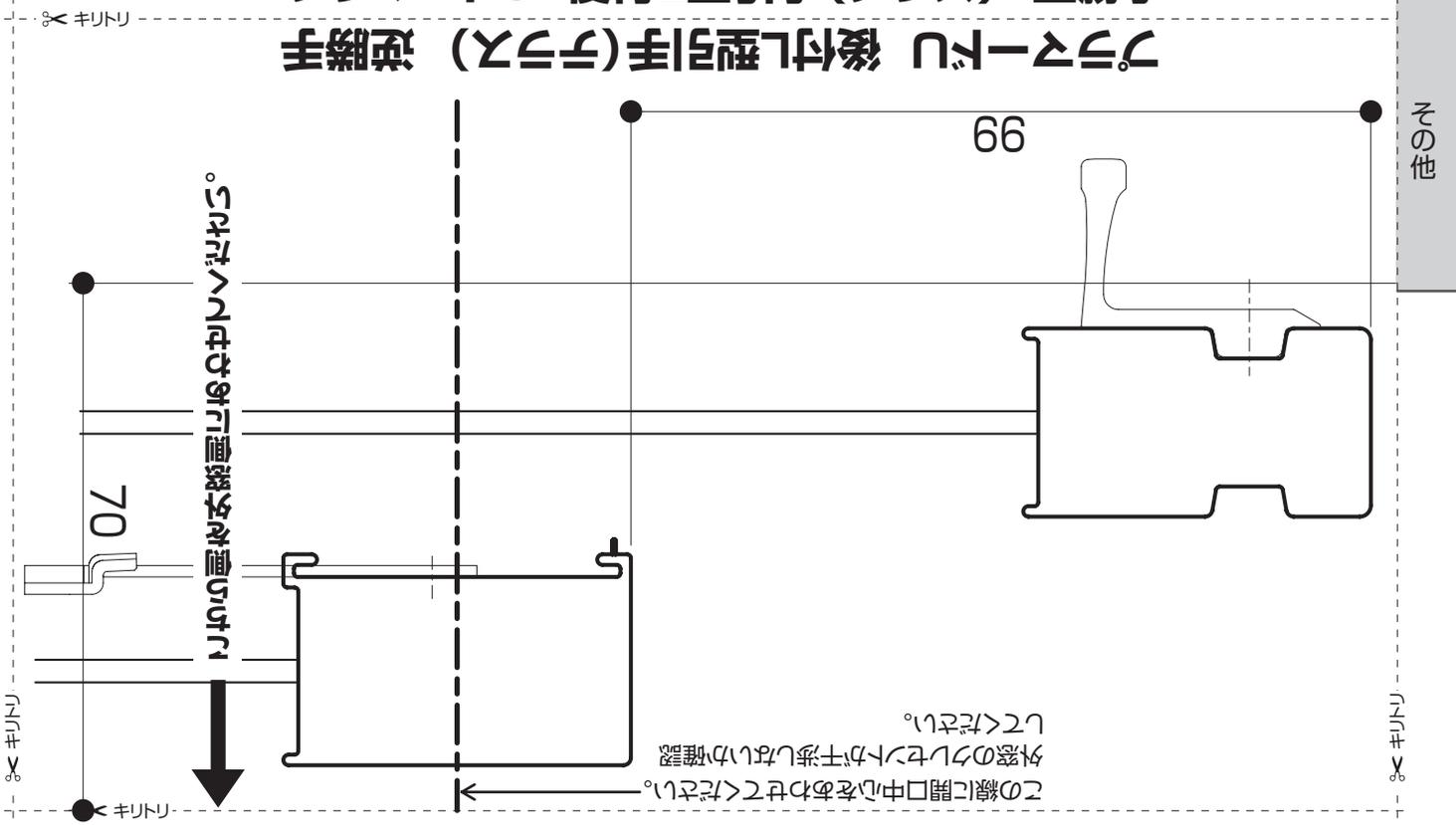
A series of horizontal dashed lines for writing.

後付L型引手 (テラスタイプ)

表示通りに印刷されていることを確認の上、使用してください。



プラマードU 後付L型引手(テラス) 正勝手 プラマードU 後付L型引手(テラス) 逆勝手



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

2017.9

エコ内窓 プラマードU 現場調査シート	引違い窓(2枚建)・FIX窓・内開き窓・開き窓テラス	調査実施日	納入希望日
顧客様名(コード)	()	電話番号	担当者様名
送り先名(コード)	()	送り先住所	発注No.
現場名		現場住所	工務店様名

No.	①窓種	吊元	商品色	W	H	数量	納入形態	⑤ガラス	化粧廻線		単板ガラス用組子	連窓方式(本)	コーナー方式(本)	段窓無目(本)	中段位置	クレセント戸先錠位置オーダー	
									幅	高さ							
1	L	L	YW	E2		ノック	ノック		三方	75 mm	荒開					標準	
		R	DC	E9		完成品	完成品		四方	100 mm	横窓吹寄					オーダー	
2	L	L	YW	E2		ノック	ノック		三方	75 mm	荒開					標準	
		R	DC	E9		完成品	完成品		四方	100 mm	横窓吹寄					オーダー	
3	L	L	YW	E2		ノック	ノック		三方	75 mm	荒開					標準	
		R	DC	E9		完成品	完成品		四方	100 mm	横窓吹寄					オーダー	
4	L	L	YW	E2		ノック	ノック		三方	75 mm	荒開					標準	
		R	DC	E9		完成品	完成品		四方	100 mm	横窓吹寄					オーダー	
5	L	L	YW	E2		ノック	ノック		三方	75 mm	荒開					標準	
		R	DC	E9		完成品	完成品		四方	100 mm	横窓吹寄					オーダー	

※内開き窓・開き窓テラス 内観基準で吊元が左→L吊元が右→R

※化粧廻線と継ぎ材はセット

※ノックダウンの場合でも必ず記載

※化粧廻線と継ぎ材はセット

※ノックダウンの場合でも必ず記載

※化粧廻線と継ぎ材はセット

①窓種

N	引違い窓 戸先錠仕様(H<332) 正(左)勝手	1	透明3mm
L	引違い窓 戸先錠仕様 正(左)勝手	3	型4mm
M	引違い窓 戸先錠仕様 正(左)勝手	4	透明5mm
O	引違い窓 戸先錠仕様(H<332) 逆(右)勝手	30	透明5mm
P	引違い窓 戸先錠仕様 逆(右)勝手	15	防犯合わせ
9	引違い窓 戸先錠仕様(H<332)	5	和紙調3mm
1	引違い窓	6	和紙調5mm
A	引違い窓(H>2,260)	7	透明3+AA+3mm
B	引違い窓 間仕切り用下枠	8	透明4+AA+3mm
G	引違い窓(4枚建) 窓合せ専用外部引手付(H>2,260)	40	透明4+AA+4mm
H	引違い窓(4枚建) 窓合せ専用外部引手付(H>2,260)	45	透明5+AA+3mm
I	引違い窓(4枚建) 間仕切り用下枠 窓合せ専用外部引手付(H>2,260)	69	和室用(横窓吹寄格子)
J	引違い窓(4枚建) 間仕切り用下枠 窓合せ専用外部引手付(H>2,260)	50	格子入り透明
2	内開き窓	55	格子入り透明
3	FIX窓	59	すりガラス+AA+3mm
8	開き窓テラス	23	透明3+AA+3mm (ブルー)
E	掃き出しアタッチメント	24	透明3+AA+4mm(ブルー)

②ガラス

44	透明4+AA+4mm (ブルー)	58	格子入りすり板(ブルー)
49	透明4+AA+5mm (ブルー)	57	格子入りすり板(ブルー)
60	すりガラス+AA+5mm (ブルー)	61	すりガラス+AA+3mm (ブルー)
9	透明3+AA+3mm (ブルー)	62	すりガラス+AA+3mm (ブルー)
13	透明3+AA+3mm (ブルー)	63	すりガラス+AA+3mm (ブルー)
11			

Eコ内窓 プラマードU 現場調査シート		浴室仕様 引違い窓		調査実施日	納入希望日
顧客様名 (コード)	()	電話番号	()	担当者様名	担当
送り先名 (コード)	()	送り先住所	()	発注No.	
現場名		現場住所		工務店様名	

※引違い窓の枚数Y/Wのみの設定

No.	①窓種	障子枚数	商品色	W	H	数量	納入形態	②ガラス	額縁下部補強材		調整材		シーリング材		箱	
									寸法	色	色	数量	色	色		
1		2	YW				ノック	完成品	YW	E2	H2	S1				
									E3	E9	YB	YK				
									DC	CM	YW	YK				
2		2	YW				ノック	完成品	YW	E2	H2	S1				
									E3	E9	YB	YK				
									DC	CM	YW	YK				

※ノックダウンの場合でも必ず記載

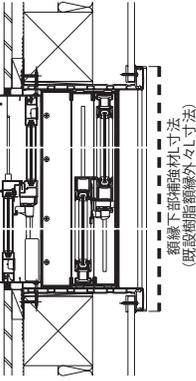
①窓種	浴室仕様引違い窓(2枚建) タイル納まり	額縁下部補強材有仕様	調整材		シーリング材	
			色	数量	色	数量
C	浴室仕様引違い窓(2枚建) タイル納まり		YW	E2	H2	S1
D	浴室仕様引違い窓(2枚建) ユニットバス納まり		E3	E9	YB	YK
F	浴室仕様引違い窓(2枚建) ユニットバス納まり		DC	CM	YW	YK
	額縁下部補強材有仕様		YW	E2	H2	S1
	額縁下部補強材無仕様		E3	E9	YB	YK
			DC	CM	YW	YK

②ガラス	
1	透明3mm
3	型4mm
2	透明5mm
単板	強化透明4mm
16	強化型4mm
17	強化型4mm
18	スチロール樹脂板4mm
7	複層透明3+A+3mm
8	複層型4+A+3mm
19	強化複層透明3+A+4mm
20	強化複層型3+A+4mm

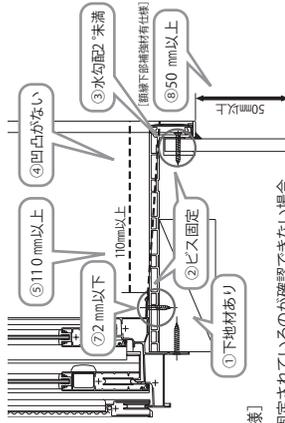
ユニットバス納まり

- ① 下図のように、下地材があること(外窓がアンガル付枠の場合、下地材がピッチが入っていたり、出入り方向に対して入っていること)
- ② 樹脂センサーなどを用いて、下地材があることを確認してください
- ③ 樹脂額縁が2ヶ所(アンガル部、見付け面)でビス固定されていること
- ④ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
- ⑤ 樹脂額縁に凹凸がないこと
- ⑥ アンガルから額縁先端まで110 mm以上であること
- ⑦ 開口の狂いが3 mm以下であること(図1~3)
- ⑧ 既設アンガルの立上り寸法が2 mm以下であること(樹脂額縁上面から既設アンガル立上りが寸法最高点まで)

タイル納まり



- ③ 下額縁の水勾配は、2°未満であること
- ④ 開口の狂いが3 mm以下であること(図1~3)
- ⑤ 樹脂額縁に凹凸がないこと
- ⑥ 枠の内面から100 mm以上あること

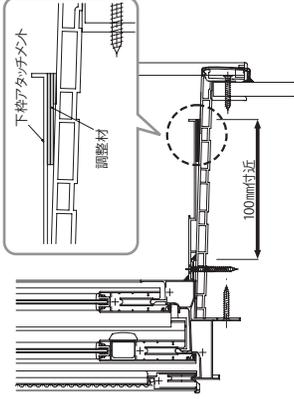


- 【額縁下部補強材有仕様】
- ① 下地材あり
 - ② ビス固定
 - ③ 水勾配2°未満
 - ④ 凹凸がない
 - ⑤ 110 mm以上
 - ⑥ 50 mm以上
 - ⑦ 2 mm以上
 - ⑧ 10 mm以上

- 図1のH1~H3およびW1~W3の寸法差が3mm以下であることをご確認ください。
 - 上下左右のたわみが図2に示す範囲内であることをご確認ください。
 - 図3の対角差が3 mm以下であることをご確認ください。
- ※浴室乾燥機等、浴室内が高温になるときは、障子の開閉を避けてください。面材の反りにより開閉できないことがあります。

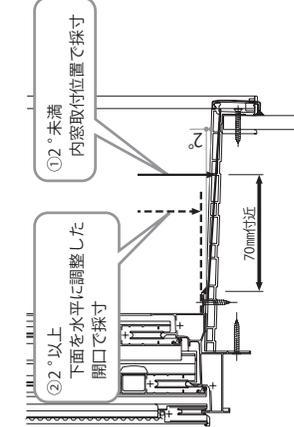
浴室仕様 下枠調整方法 水勾配2°の目安

水勾配が2°以上の場合は、調整材(オプション)などを用いて、下枠アタッチメントを取付けてください。
 ※水勾配2°の目安は外窓アンガル部から100 mm付近で調整材(オプション)を3枚重ねて(3 mm)下枠アタッチメントがほぼ水平になる角度です。



浴室仕様採寸時の注意点

下図のように、水勾配がある場合
 ① 2°未満→内窓を取付ける位置(70mm付近)で採寸してください。
 ② 2°以上→下面を水平に調整した開口で採寸してください。
 ※水勾配が2°以上で、下面を調整せずに室内側の開口を採寸した場合、障子が吊り込めない可能性があります。



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing.

